

第2章 アンケート調査結果(5歳児保護者)

(1) あなたの世帯のことについてうかがいます

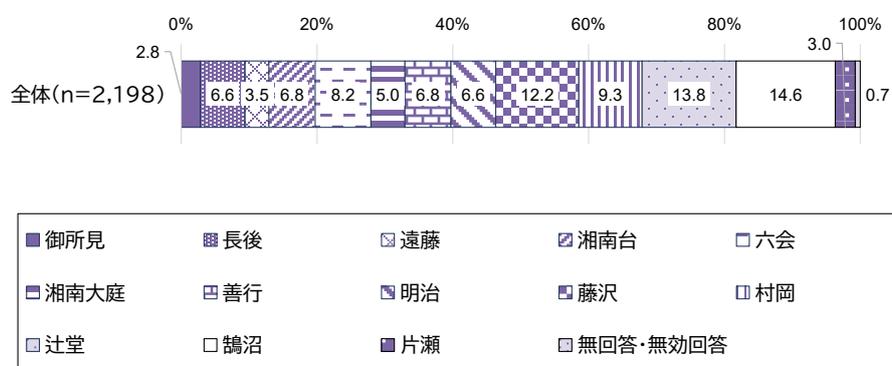
ア 居住地区

居住地区についてみると、「鶴沼」が14.6%と最も多く、以下、「辻堂」が13.8%、「藤沢」が12.2%と続いていた。

【5歳児保護者問1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 2-1 居住地区 (単純集計)



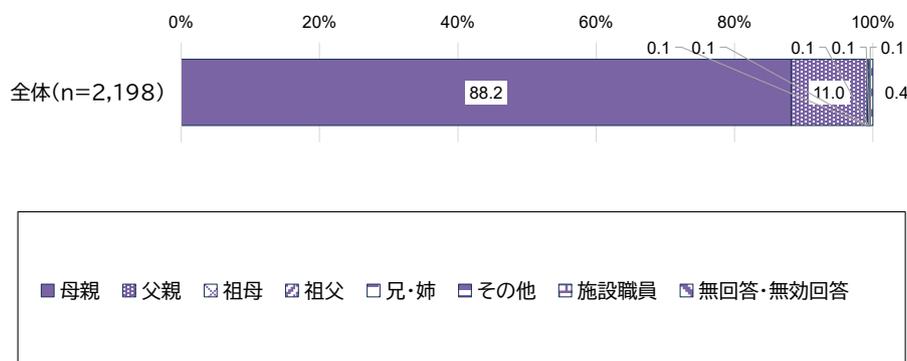
イ 回答者の子どもとの続柄

回答者の子どもとの続柄についてみると、「母親」が88.2%、「父親」が11.0%であった。

【5歳児保護者問2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 2-2 回答者の子どもとの続柄 (単純集計)



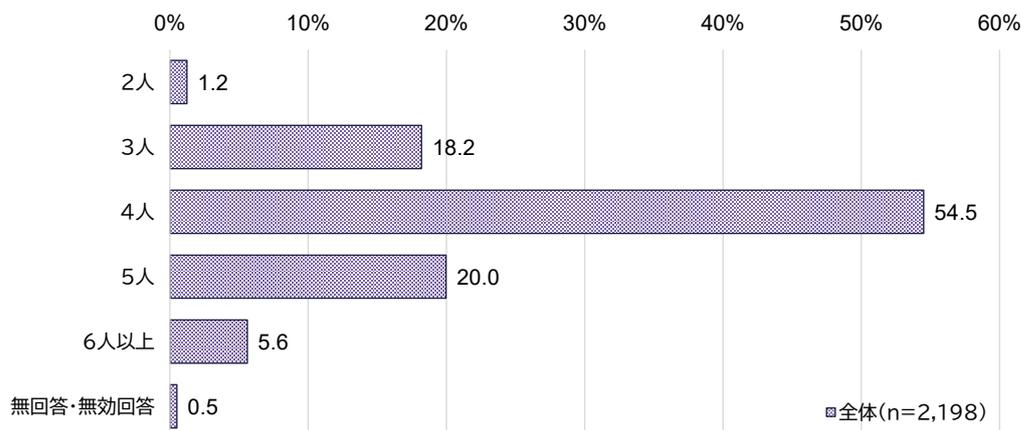
ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもを含めて同居している人数をみると、「4人」が54.5%と最も多くなっており、次いで、「5人」が20.0%、「3人」が18.2%となっていた。

【5歳児保護者問 3-1】

あなたと、宛名のお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 2-3 同居人数 (単純集計)



エ 介護・介助が必要な方の有無

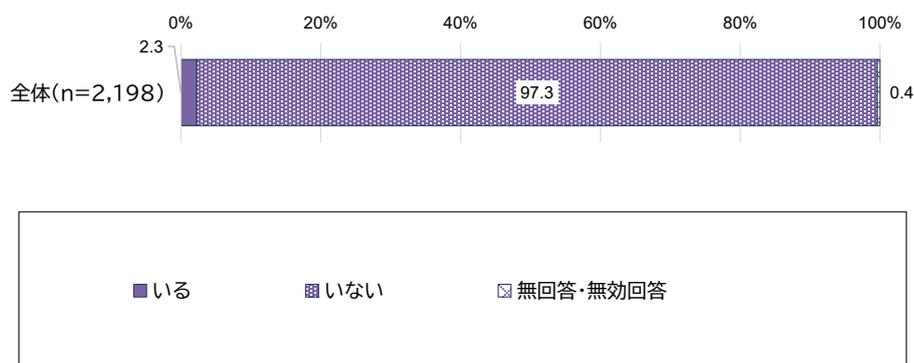
介護または介助が必要な方の有無についてみると、全体では、「いる」が2.3%、「いない」が97.3%であった。

困窮層(n=59)では、「いる」が8.5%、「いない」が88.1%となっていた。

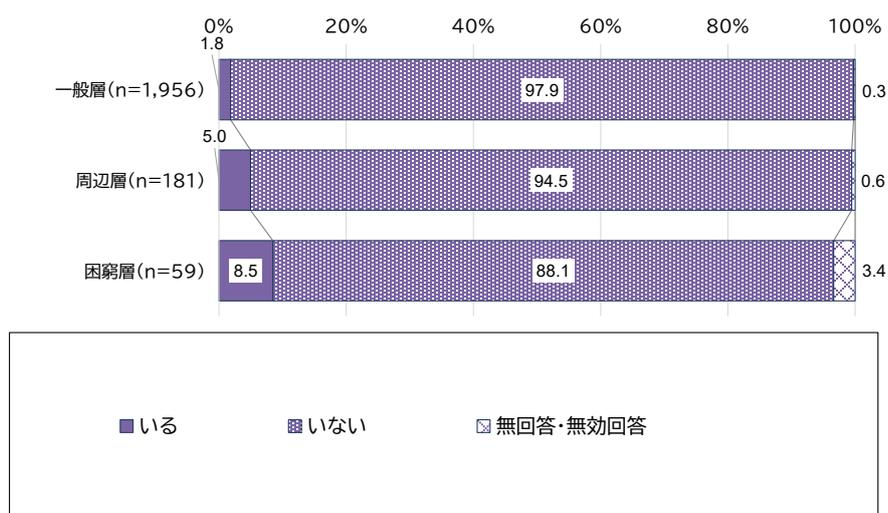
【5歳児保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助が必要な方がいますか。(単一回答)

図表 2-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



図表 2-5 介護・介助が必要な方の有無（生活困難層別クロス集計）



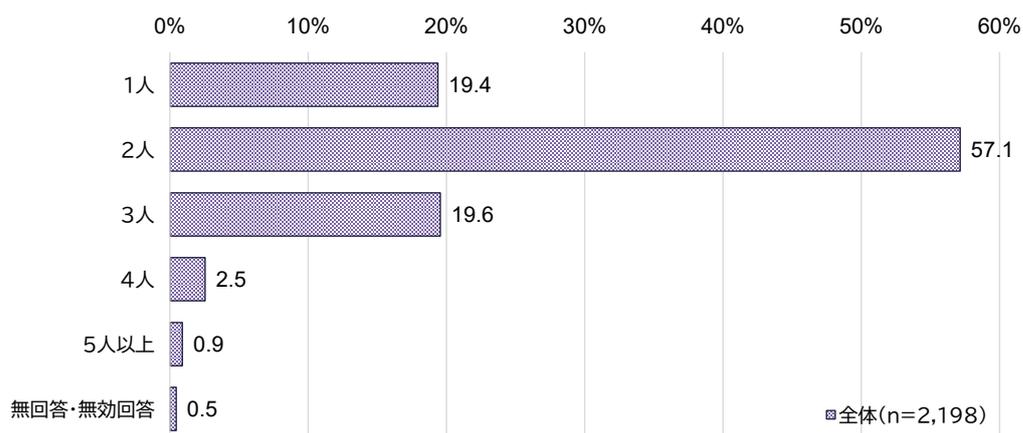
オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 57.1%と最も多くなっており、以下、「3人」が 19.6%、「1人」が 19.4%となっていた。

【5歳児保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 2-6 同居している家族の子どもの人数（単純集計）



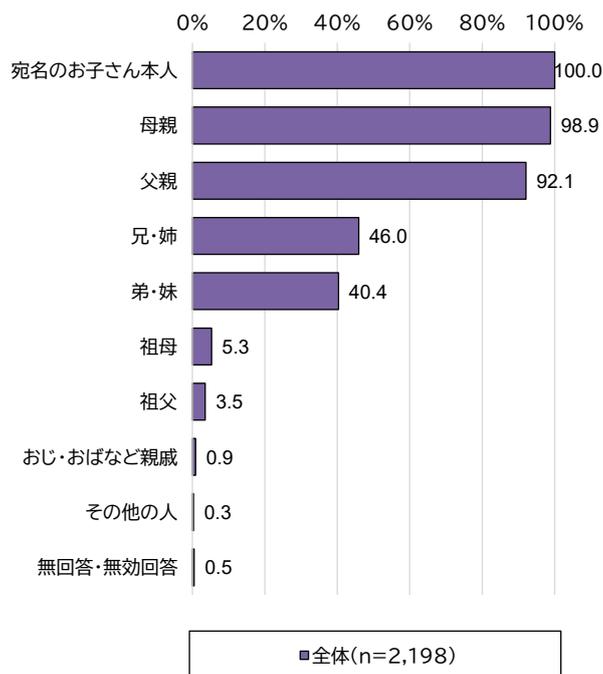
カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄についてみると、「母親」と同居している方が98.9%、「父親」と同居している方が92.1%、「兄・姉」と同居している方が46.0%であった。

【5歳児保護者問3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 2-7 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が 35.6%と最も多く、次いで、「専業主婦」が 26.3%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 25.8%となっていた。

前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は、今回調査は 35.6%、前回調査は 24.3%で、11.3 ポイント増加し、「専業主婦」と回答した割合は、今回調査は 26.3%、前回調査は 41.1%で、14.8 ポイント減少した。

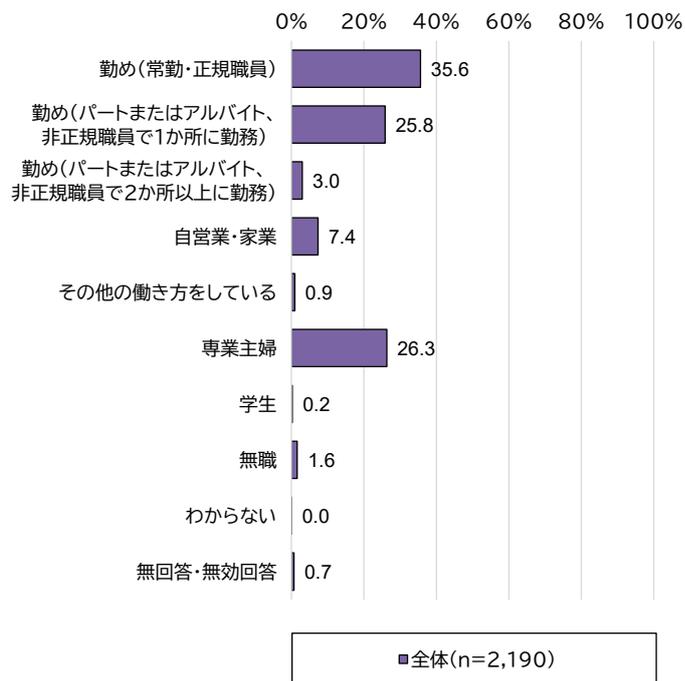
ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 45.8%と最も多く、以下、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 31.9%、「専業主婦」が 8.3%であった。

困窮層(n=58)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 36.2%と最も多く、「専業主婦」が 22.4%、「勤め(常勤・正規職員)」が 20.7%であった。

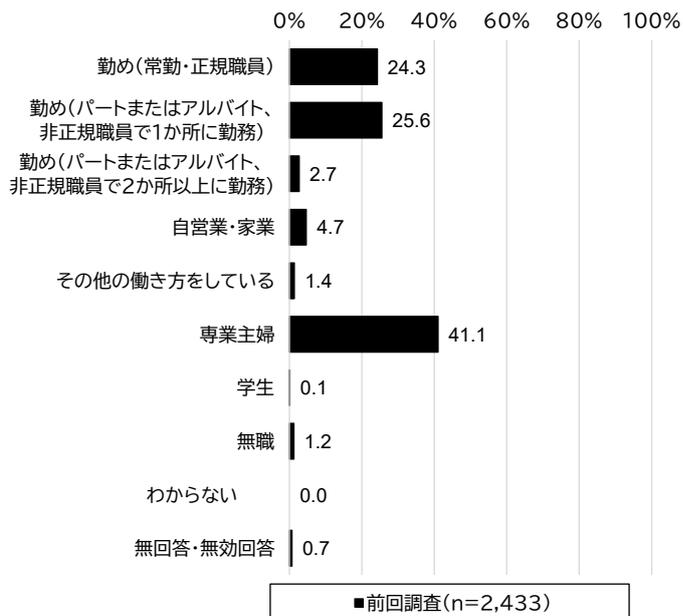
【5 歳児保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

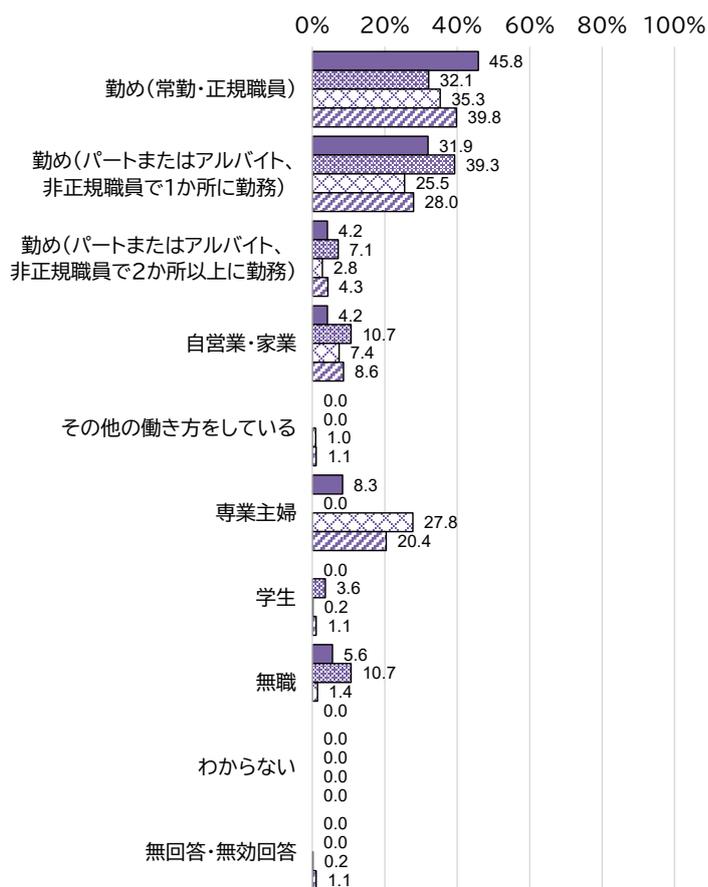
図表 2-8 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 2-9 母親の現在の就業状況（前回調査 単純集計）

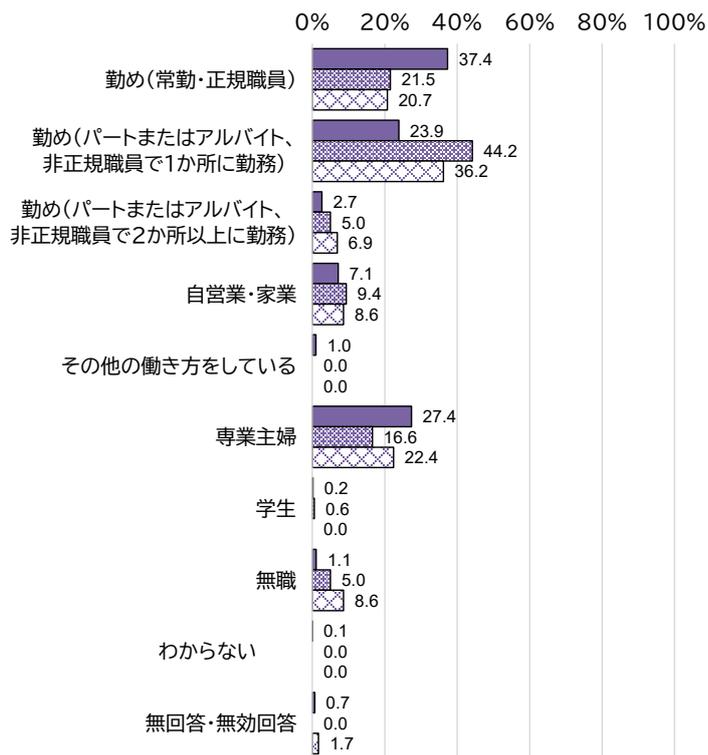


図表 2-10 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=72) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=28)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-11 母親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,949) ▨周辺層(n=181) ▩困窮層(n=58)

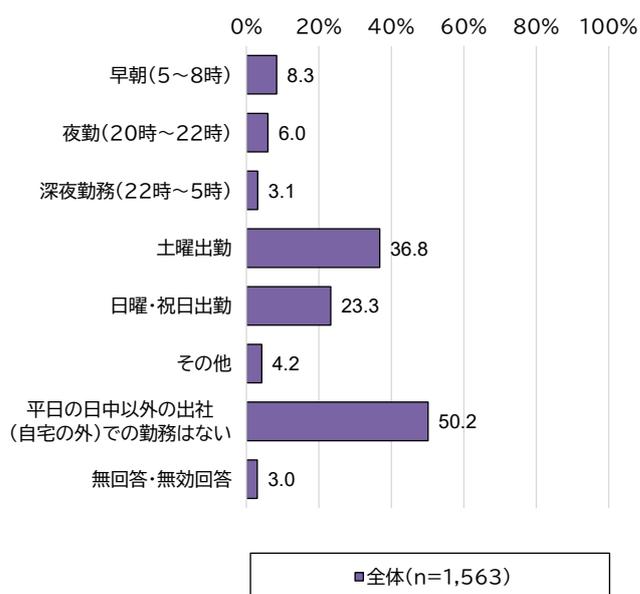
イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、全体では、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 50.2%と最も多く、次いで、「土曜出勤」がある方が 36.8%、「日曜・祝日出勤」がある方が 23.3%となっていた。

【5 歳児保護者問 4-1】

問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 2-12 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



ウ 父親の就業状況

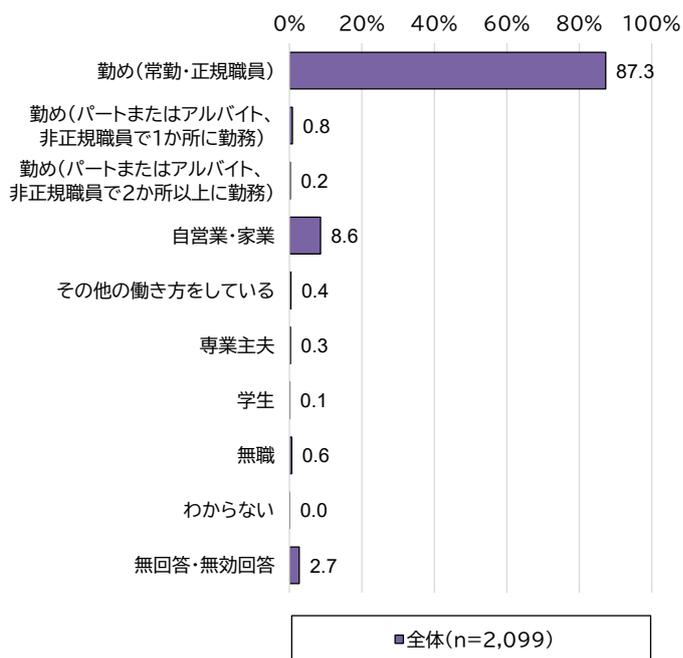
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が87.3%と最も多く、次に、「自営業・家業」が8.6%となっていた。

困窮層(n=44)では、「勤め(常勤・正規職員)」が68.2%と最も多く、「自営業・家業」が20.5%となっていた。

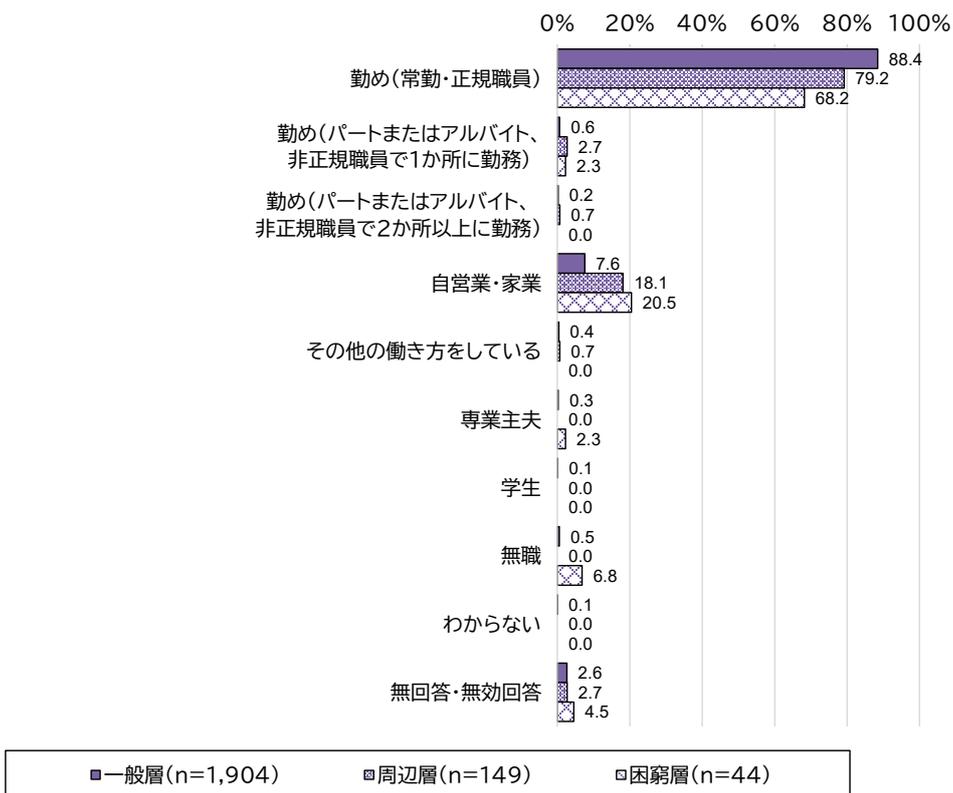
【5歳児保護者問5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 2-13 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 2-14 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、全体では、「土曜出勤」がある方が45.1%と最も多く、以下、「日曜・祝日出勤」がある方が39.2%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が35.9%と続いていた。

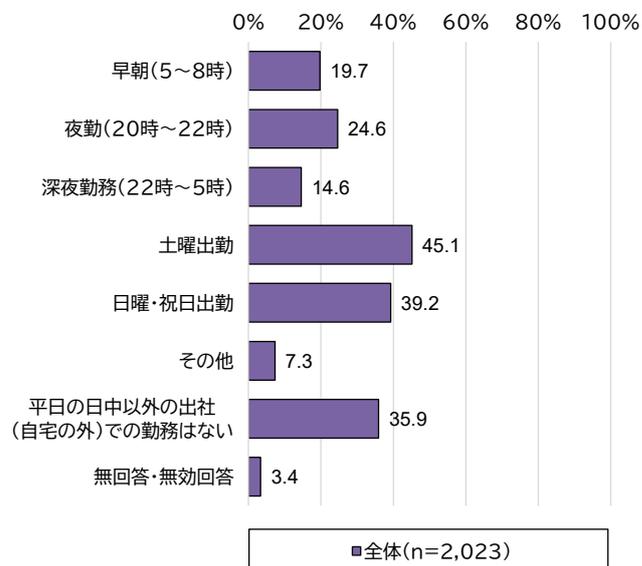
困窮層(n=39)では、「土曜出勤」がある方が71.8%と最も多く、続いて、「日曜・祝日出勤」がある方が61.5%、「早朝(5～8時)」の勤務がある方が38.5%となっていた。

生活満足 低位(n=142)では、「土曜出勤」がある方が58.5%と最も多く、次に「日曜・祝日出勤」がある方が53.5%、「夜勤(20時～22時)」がある方が31.7%と続いていた。

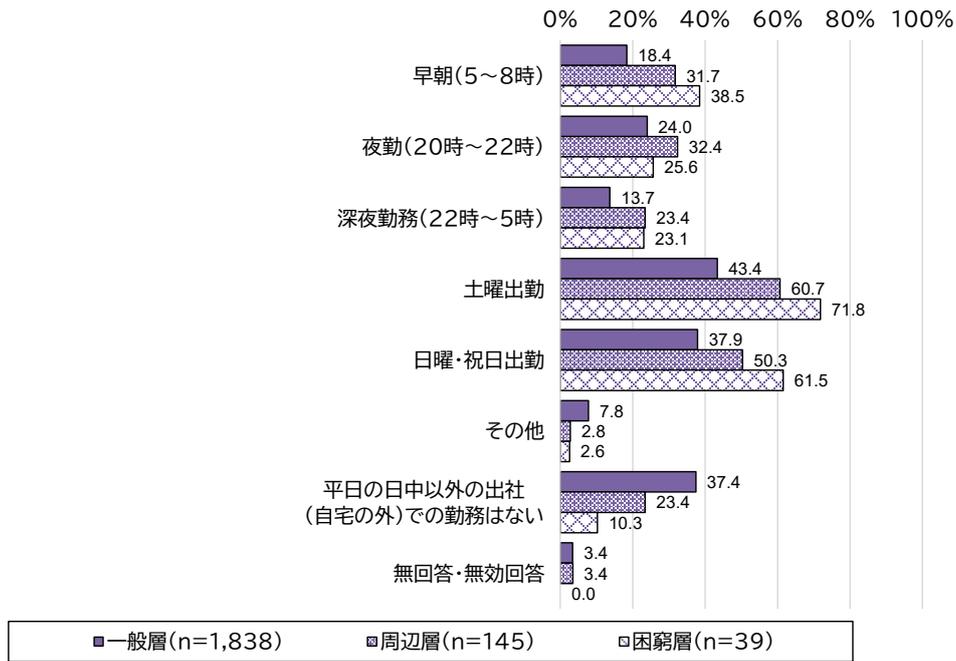
【5歳児保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

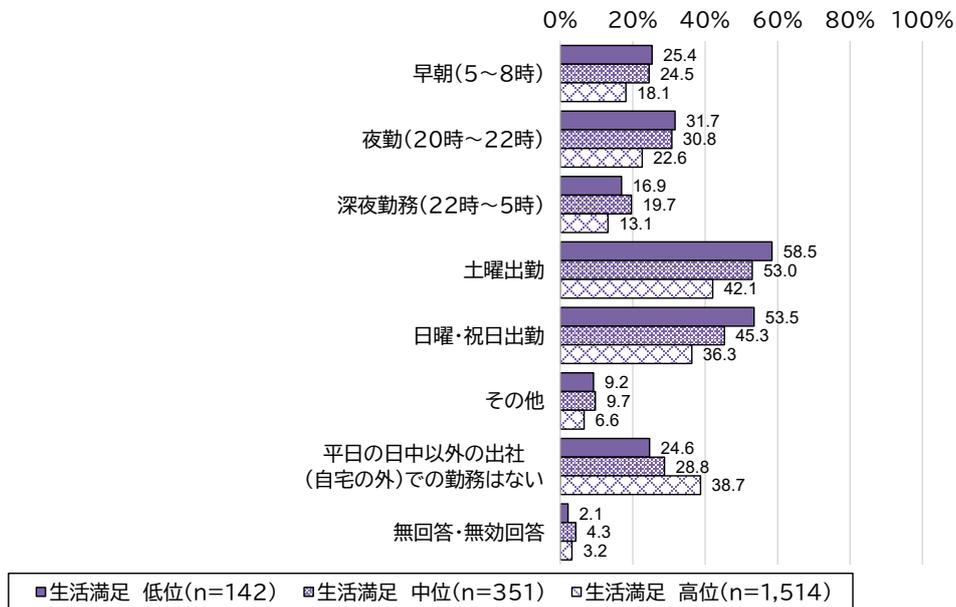
図表 2-15 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



図表 2-16 父親の平日の日中以外のお仕事の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-17 父親の平日の日中以外のお仕事の有無（生活満足度別クロス集計）



(3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

ア 平日の朝食の摂取状況

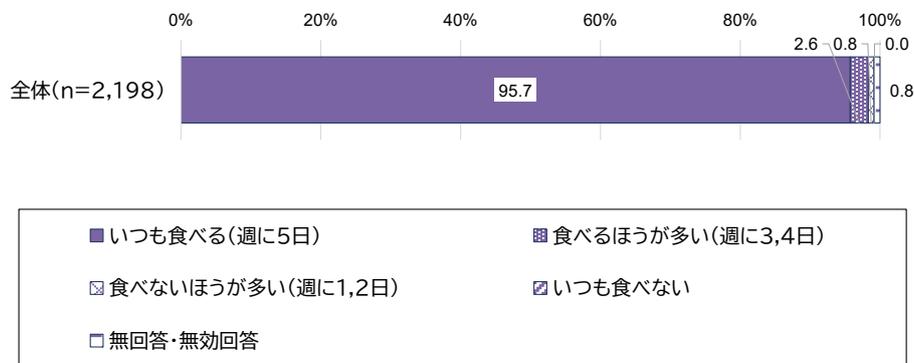
調査票の宛名の子どもを平日の朝食の摂取についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が95.7%と最も多く、次いで、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が2.6%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が0.8%となっていた。

困窮層(n=59)では、「いつも食べる(週に5日)」が86.4%と最も多く、次に、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が11.9%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が1.7%と続いていた。

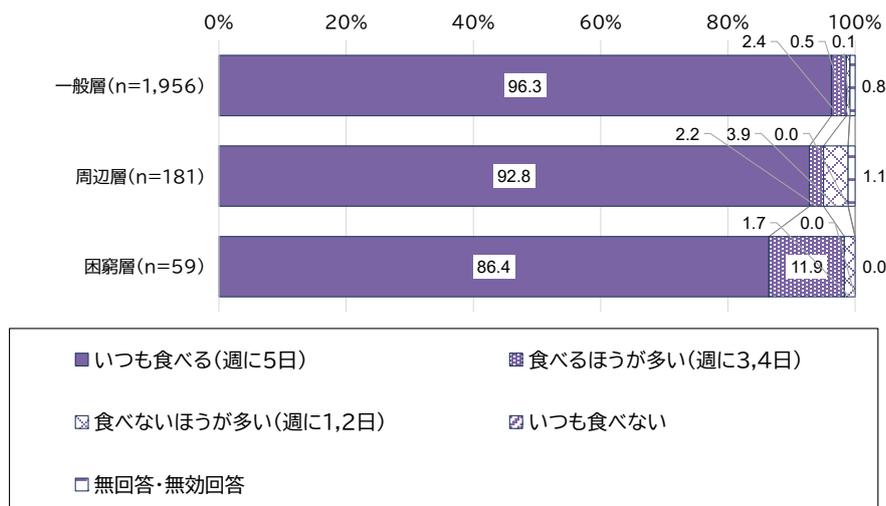
【5歳児保護者問6】

お子さんは、平日に毎日朝ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 2-18 回答者の子どもの平日の朝食の摂取 (単純集計)



図表 2-19 回答者の子どもの平日の朝食の摂取 (生活困難層別クロス集計)



イ 平日の朝食を大人と食べる頻度

子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が 62.1%と最も多く、次に「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 13.6%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 12.6%となっていた。

前回調査と比較すると、「いつも食べる(週に5日)」と回答した割合は、今回調査は 62.1%、前回調査は 67.9%で、5.8 ポイント減少した。

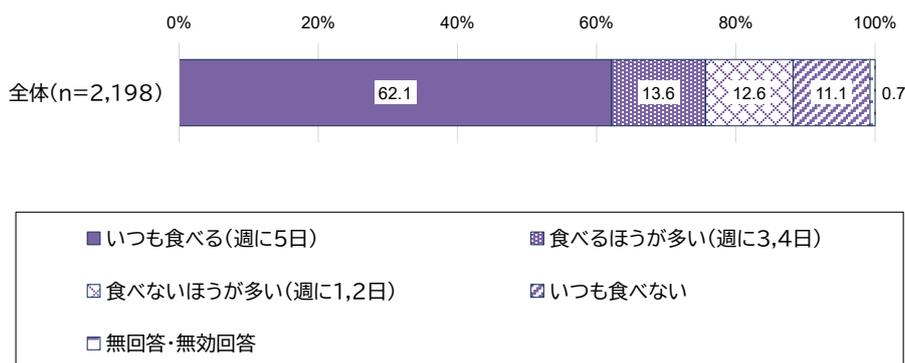
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いつも食べる(週に5日)」が 49.3%と最も多く、以下、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 21.3%、「食べるほうが多い(週に3,4日)」と「いつも食べない」がそれぞれ 14.7%となっていた。

生活満足 低位(n=181)については、「いつも食べる(週に5日)」が 53.0%と最も多く、以下、「いつも食べない」が 18.8%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 16.0%となっていた。

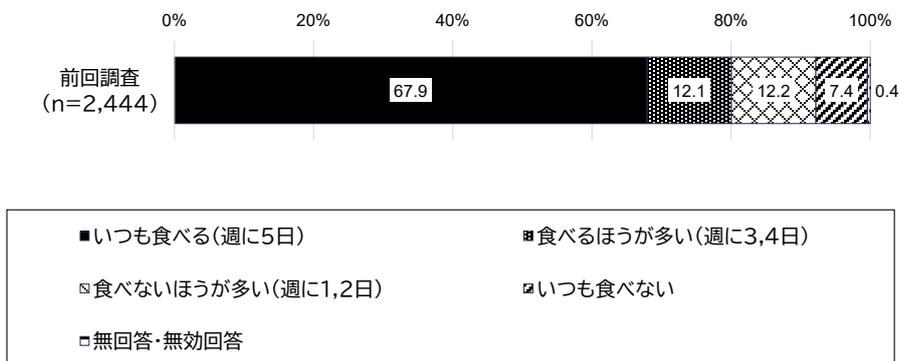
【5 歳児保護者問 7】

お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に朝ごはんを食べていますか。(単一回答)

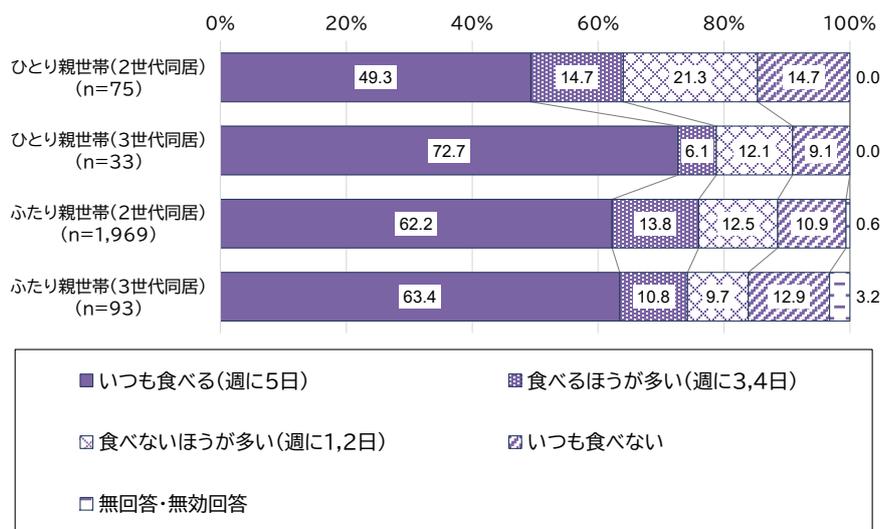
図表 2-20 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度 (単純集計)



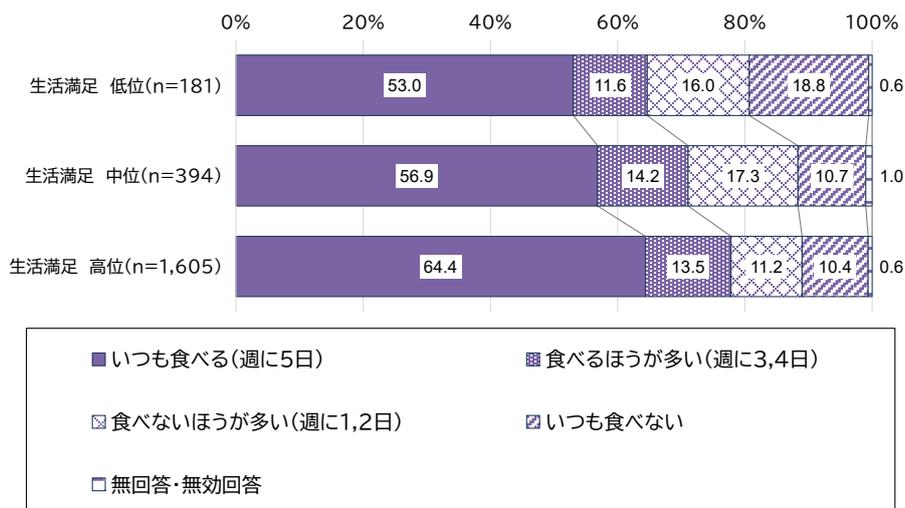
図表 2-21 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度 (前回調査 単純集計)



図表 2-22 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-23 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度（生活満足度別クロス集計）



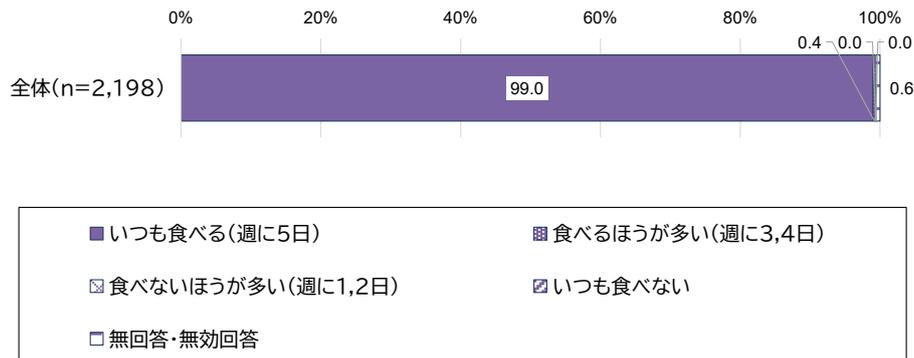
ウ 平日の夕食の摂取状況

子どもの平日の夕食の摂取についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が 99.0%と最も多く、次に「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 0.4%となっていた。

【5 歳児保護者問 8】

お子さんは、平日に毎日夕ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 2-24 回答者の子どもの平日の夕食の摂取 (単純集計)



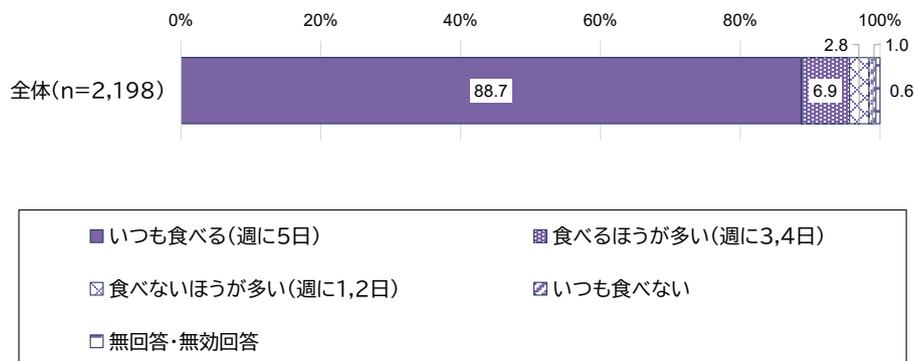
エ 平日の夕食を大人と食べる頻度

子どもが平日の夕食を大人と一緒に食べる頻度についてみると、「いつも食べる(週に5日)」が 88.7%と最も多く、以下、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 6.9%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 2.8%となっていた。

【5 歳児保護者問 9】

お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に夕ごはんを食べていますか。(単一回答)

図表 2-25 回答者の子どもが平日の夕食を大人と一緒に食べる頻度 (単純集計)



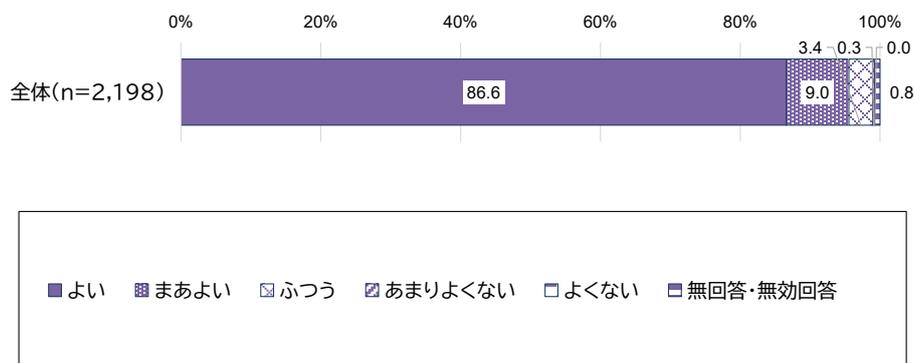
オ 健康状態

健康状態についてみると、「よい」が 86.6%、「まあよい」が 9.0%であった。

【5 歳児保護者問 10】

お子さんの健康状態についてうかがいます。(単一回答)

図表 2-26 回答者の子どもの健康状態 (単純集計)



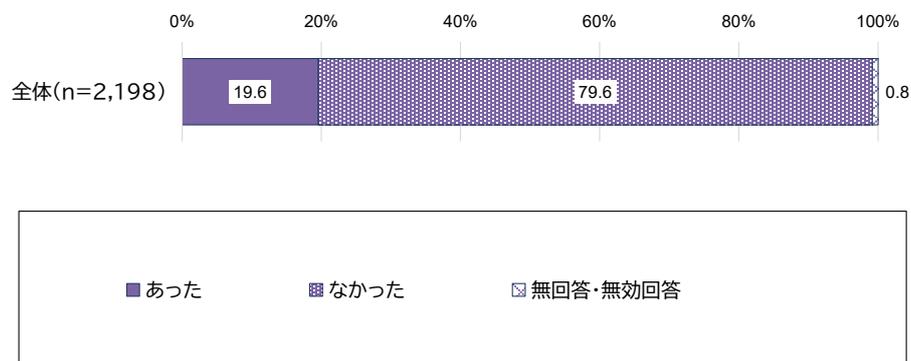
カ 過去 1 年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去 1 年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験についてみると、「あった」が 19.6%、「なかった」が 79.6%であった。

【5 歳児保護者問 11】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(単一回答)

図表 2-27 過去 1 年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



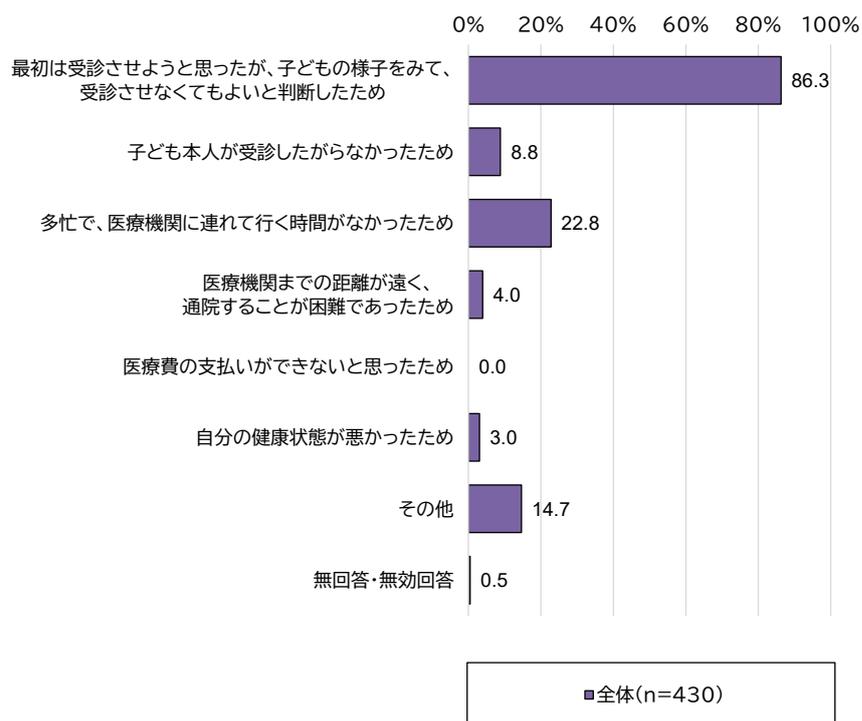
キ 医療機関を受診させなかった理由

問 11 で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初を受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が 86.3%と最も多く、次いで、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が 22.8%であった。

【5 歳児保護者問 11-1】

問 11 で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

図表 2-28 医療機関を受診させなかった理由 (単純集計)



ク 発達に関する医師の診断

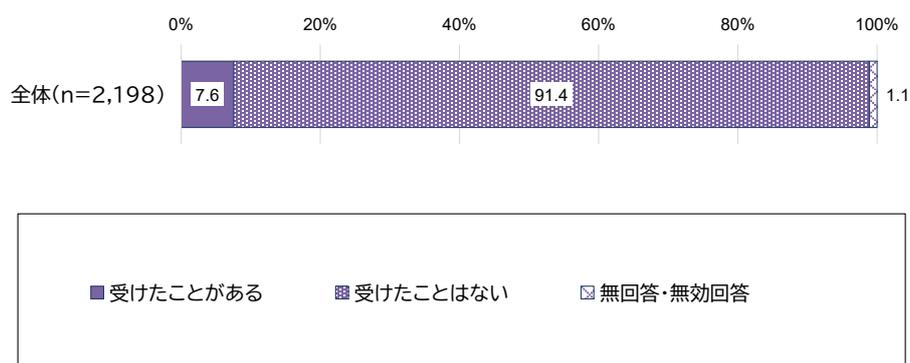
子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、全体では、「受けたことがある」が7.6%、「受けたことはない」が91.4%と回答していた。

生活満足 低位(n=181)では、「受けたことがある」が13.3%、「受けたことはない」が86.2%となっていた。

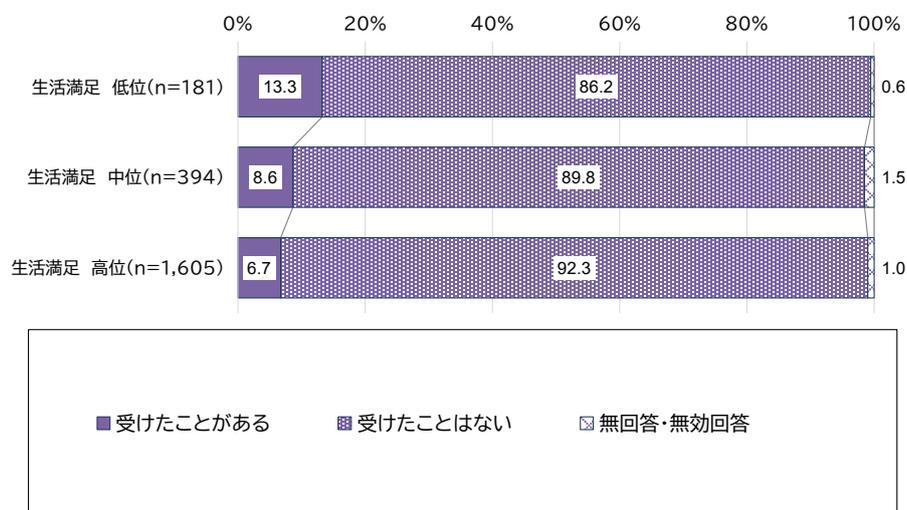
【5歳児保護者問12】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

図表 2-29 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



図表 2-30 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (生活満足度別クロス集計)



ケ 医師の診断結果

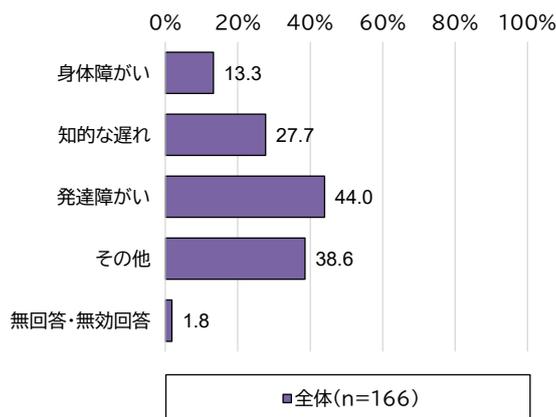
問 12 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した回答者に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、全体では「発達障がい」が 44.0%と最も多く、「知的な遅れ」が 27.7%との回答であった。

生活満足 低位(n=24)では、「発達障がい」が 66.7%と最も多く、「知的な遅れ」が 41.7%であった。

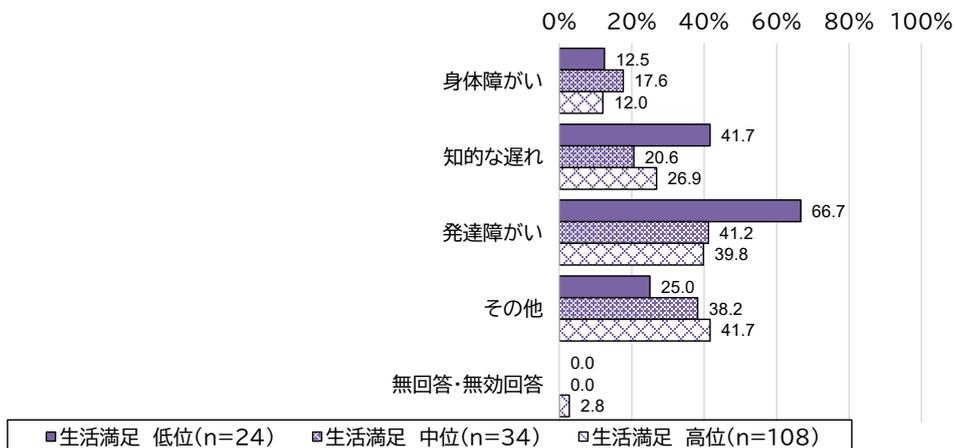
【5 歳児保護者問 12-1】

問 12 で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

図表 2-31 医師の診断結果（単純集計）



図表 2-32 医師の診断結果（生活満足度別クロス集計）



コ 虫歯の状態

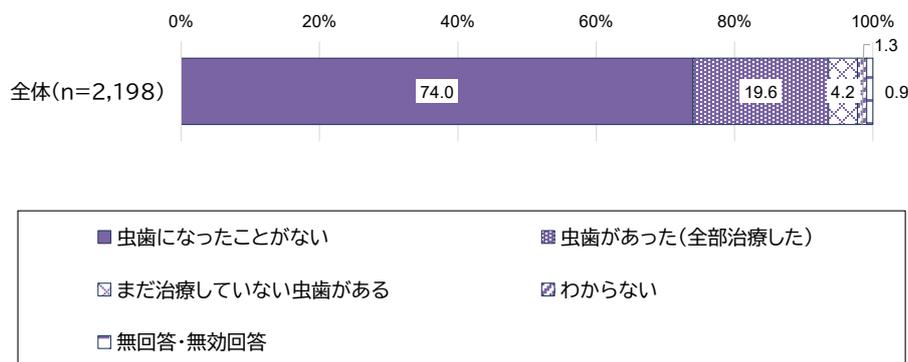
子どもの虫歯の状態についてみると、全体では、「虫歯になったことがない」が 74.0%、「虫歯があった(全部治療した)」が 19.6%、「まだ治療していない虫歯がある」が 4.2%との回答であった。

困窮層(n=59)では、「虫歯になったことがない」が 64.4%、「虫歯があった(全部治療した)」が 20.3%、「まだ治療していない虫歯がある」が 10.2%であった。

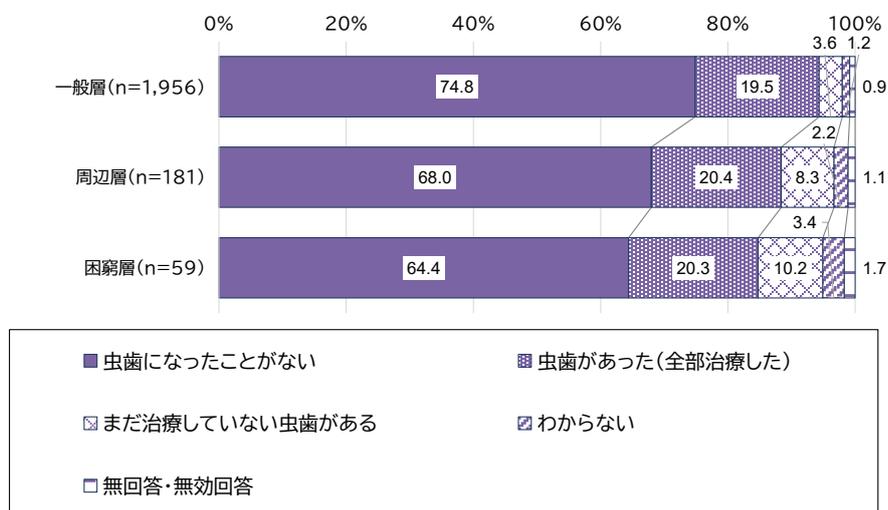
【5 歳児保護者問 13】

お子さんの虫歯の状態について教えてください。(単一回答)

図表 2-33 回答者の子どもの虫歯の状態 (単純集計)



図表 2-34 回答者の子どもの虫歯の状態 (生活困難層別クロス集計)



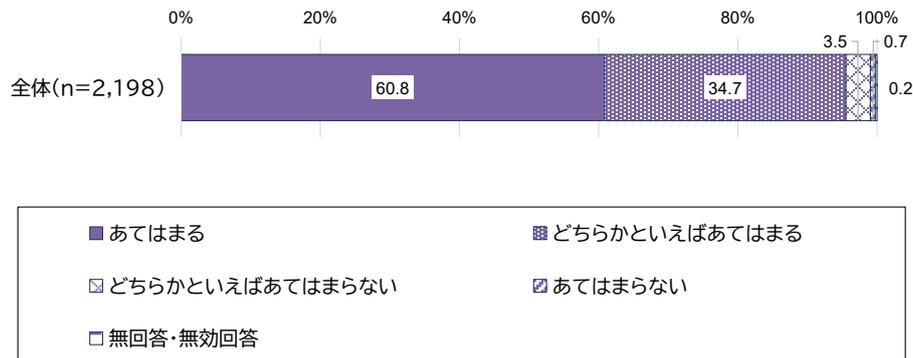
サ 子どもとの関わり

「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」についてみると、「あてはまる」が 60.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 34.7%であった。

【5 歳児保護者問 14A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-35 「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」の実施状況 (単純集計)



「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」についてみると、全体では、「あてはまる」が 27.1%、「どちらかといえばあてはまる」が 41.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あてはまる」が 13.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 44.0%であった。

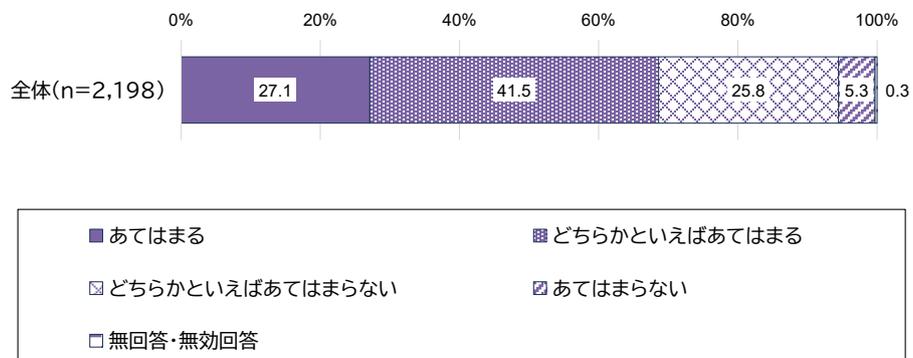
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 10.2%、「どちらかといえばあてはまる」が 33.9%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 13.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 30.9%であった。

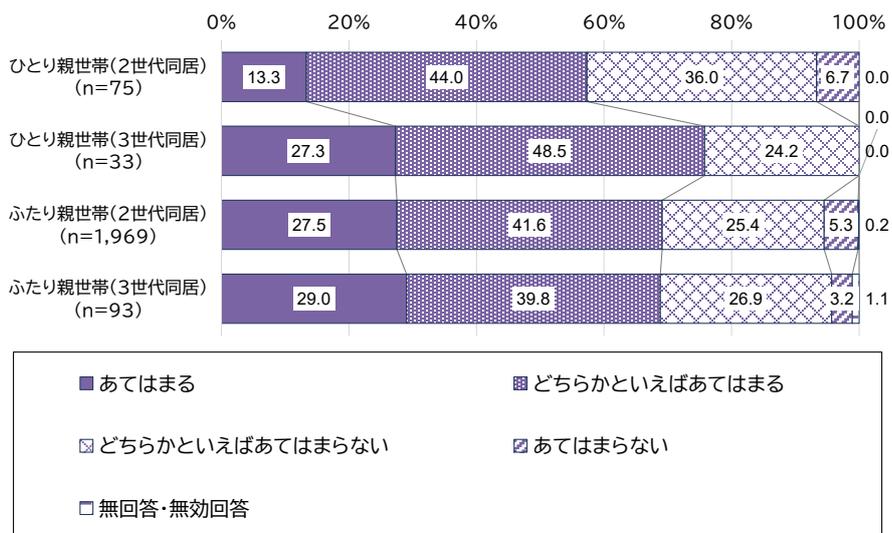
【5 歳児保護者問 14B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

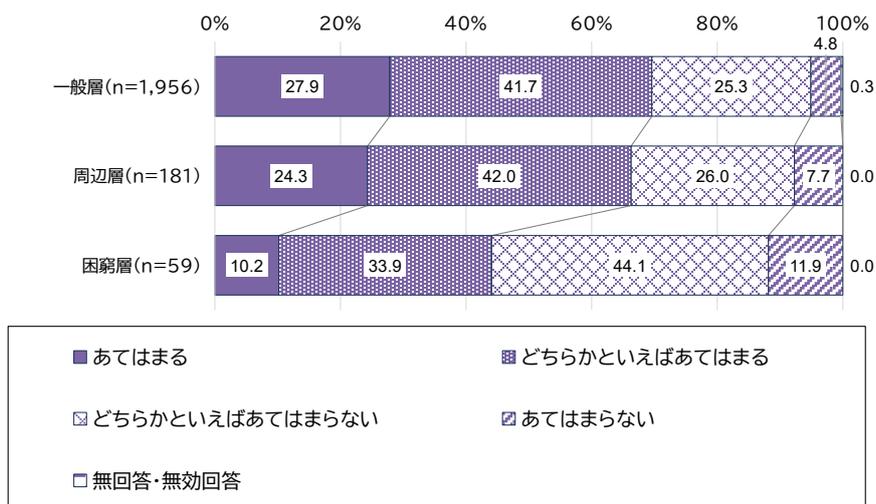
図表 2-36 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況(単純集計)



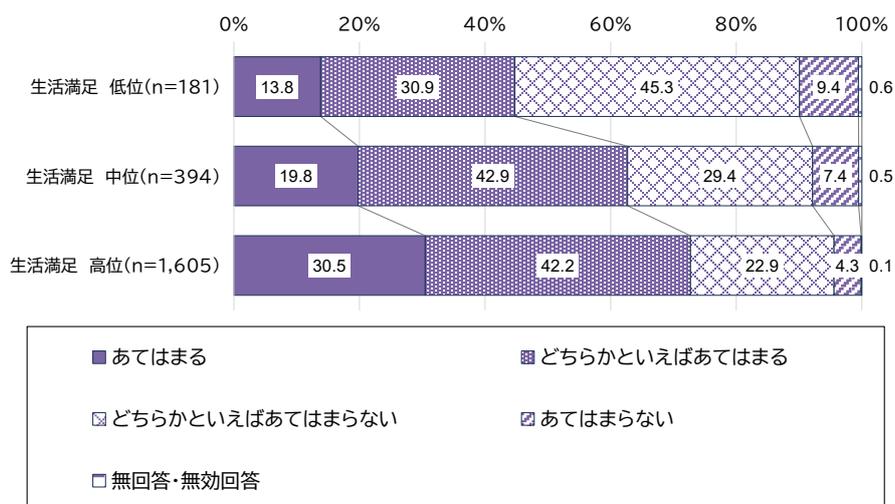
図表 2-37 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-38 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-39 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

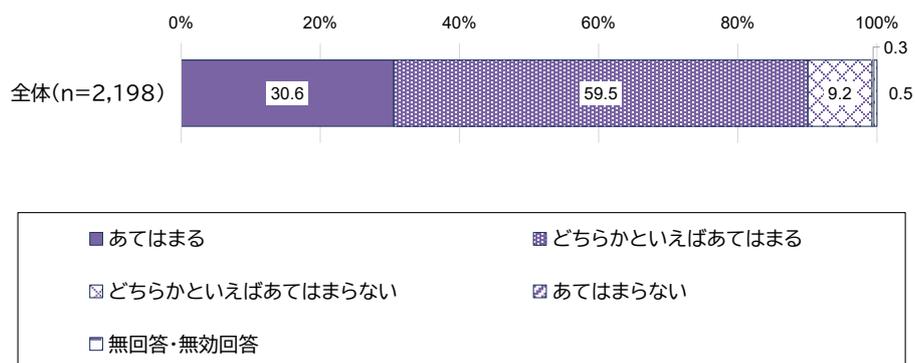


「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」についてみると、全体では「あてはまる」が 30.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 59.5%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 18.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 57.5%であった。

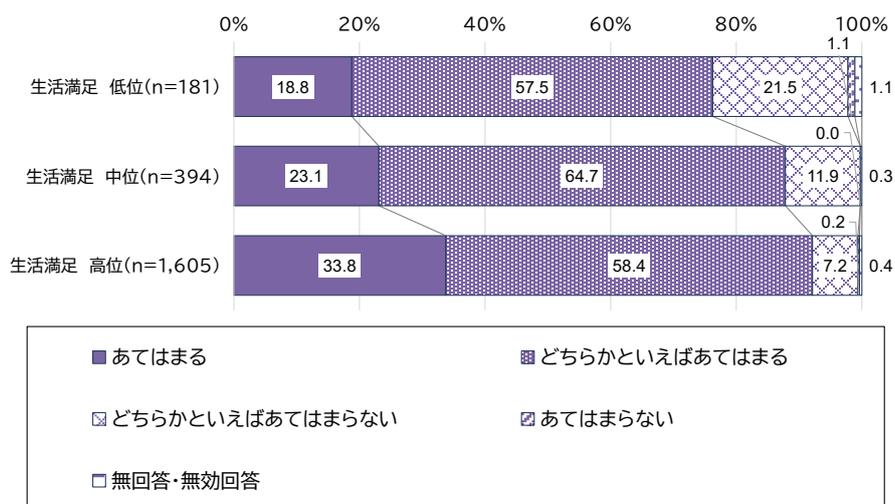
【5 歳児保護者問 14C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-40 「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」の実施状況（単純集計）



図表 2-41 「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

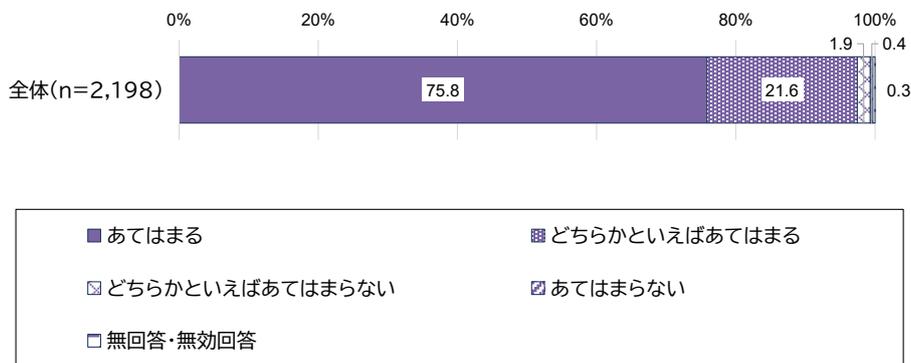


「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」についてみると、全体では「あてはまる」が 75.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 21.6%であった。
 困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 47.5%、「どちらかといえばあてはまる」が 39.0%であった。

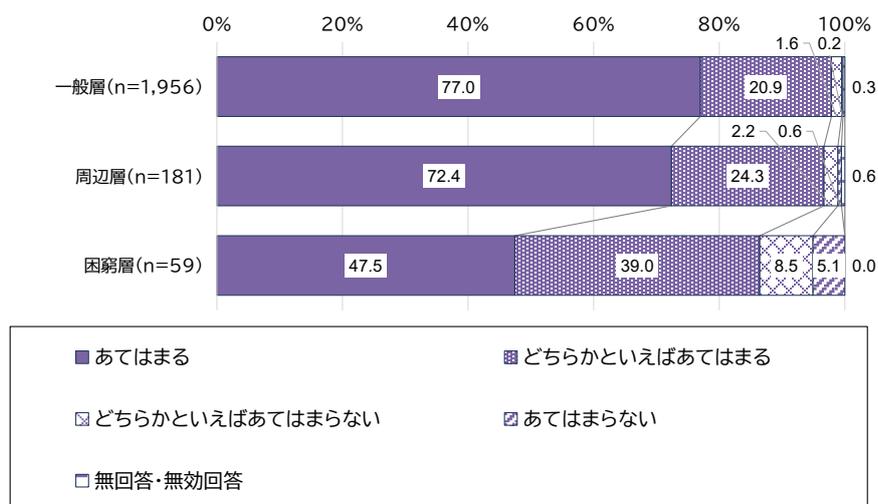
【5 歳児保護者問 14D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-42 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（単純集計）



図表 2-43 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）

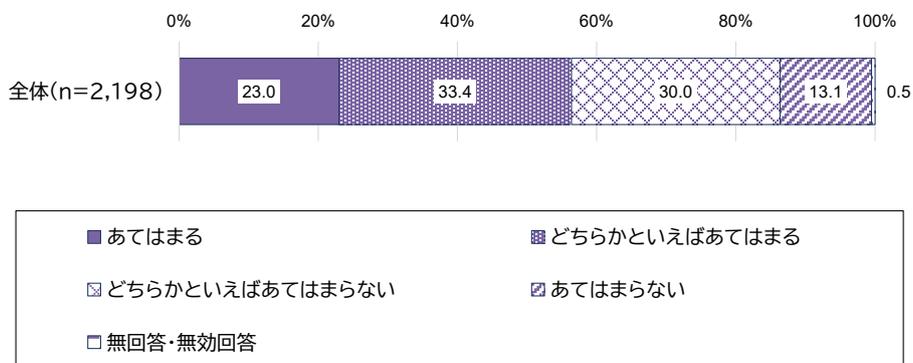


「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」についてみると、「あてはまる」が23.0%、「どちらかといえばあてはまる」が33.4%であった。

【5歳児保護者問14E】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-44 「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」の実施状況（単純集計）



「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」についてみると、全体では、「あてはまる」が32.9%、「どちらかといえばあてはまる」が34.8%であった。

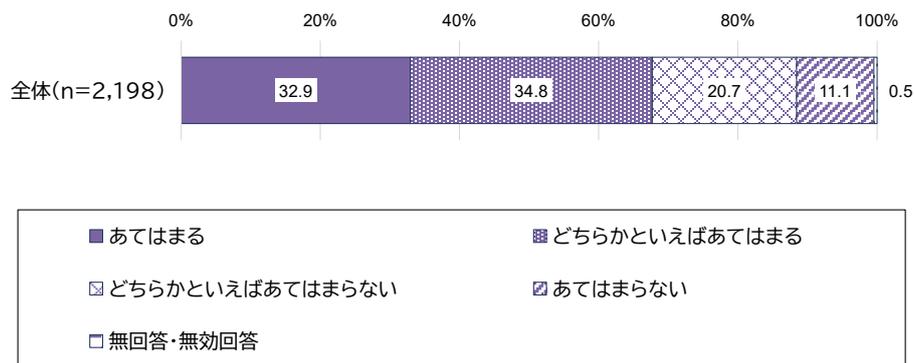
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が20.3%、「どちらかといえばあてはまる」が30.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が21.5%、「どちらかといえばあてはまる」が39.8%であった。

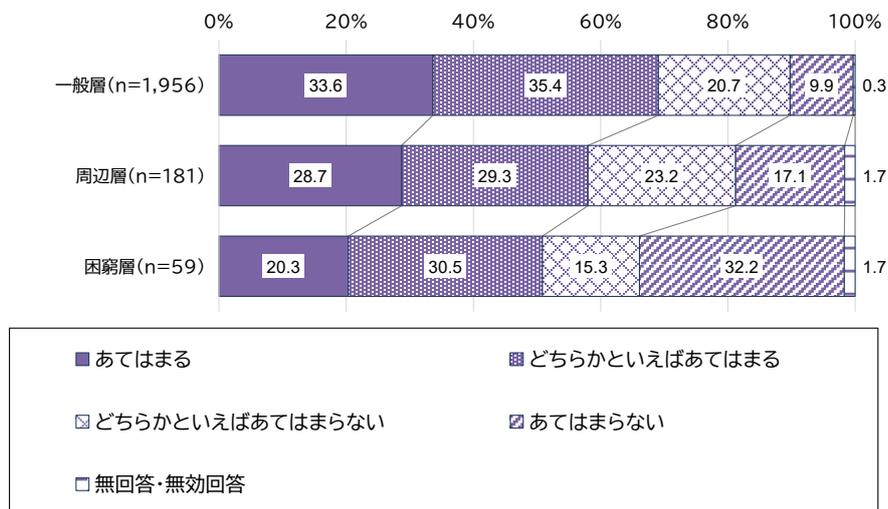
【5歳児保護者問14F】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

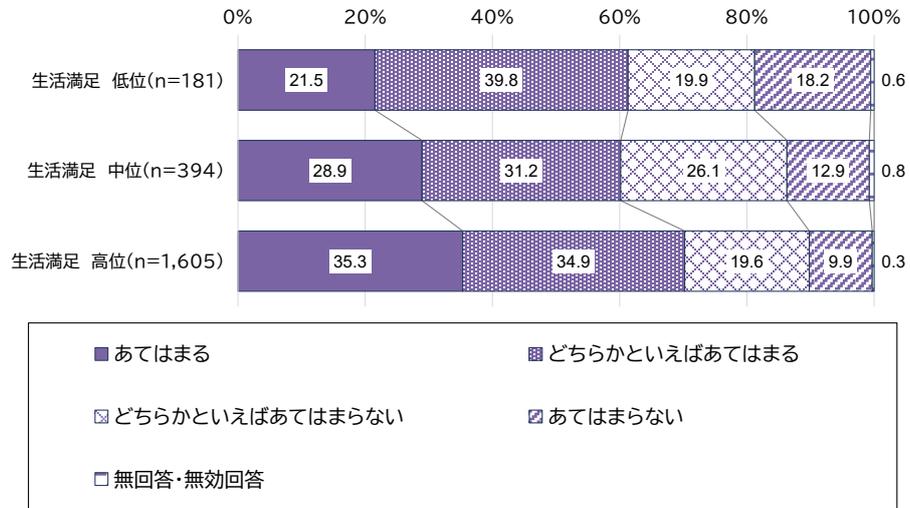
図表 2-45 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況 (単純集計)



図表 2-46 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-47 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)

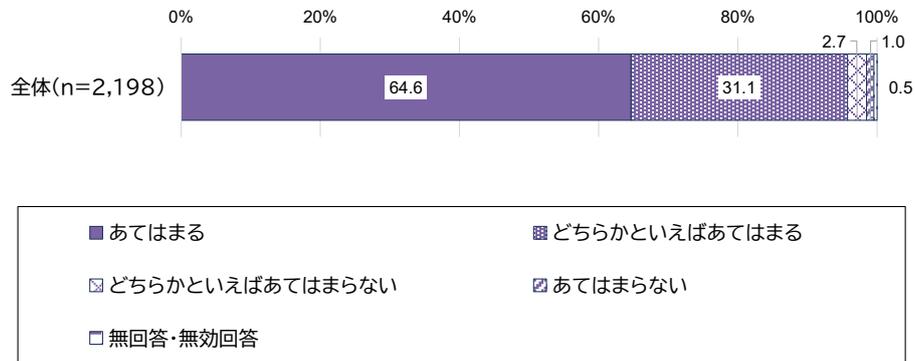


「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」についてみると、「あてはまる」が64.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.1%であった。

【5歳児保護者問14G】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-48 「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)

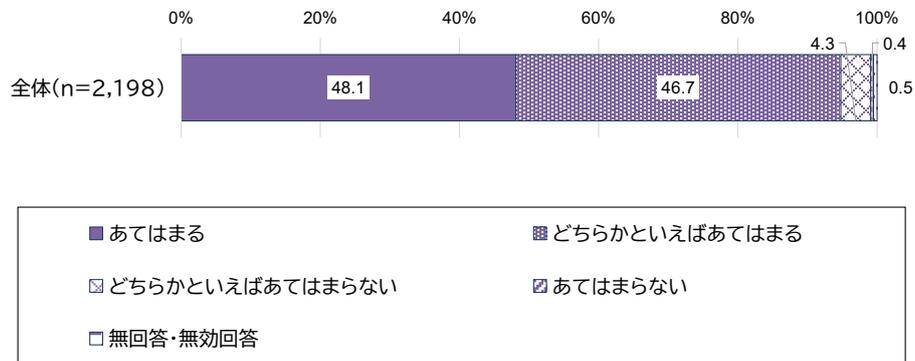


「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」についてみると、「あてはまる」が 48.1%、「どちらかといえばあてはまる」が 46.7%であった。

【5 歳児保護者問 14H】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-49 「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」の実施状況 (単純集計)



「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」についてみると、「あてはまる」が 30.5%、「どちらかといえばあてはまる」が 31.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あてはまる」が 17.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 24.0%であった。

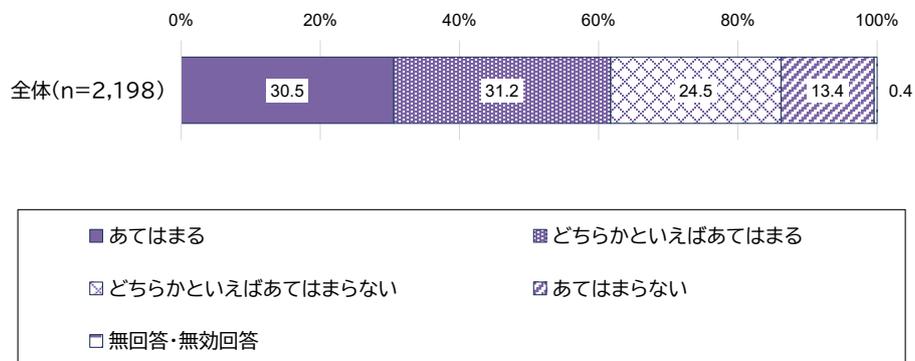
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 13.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 20.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 17.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 26.0%であった。

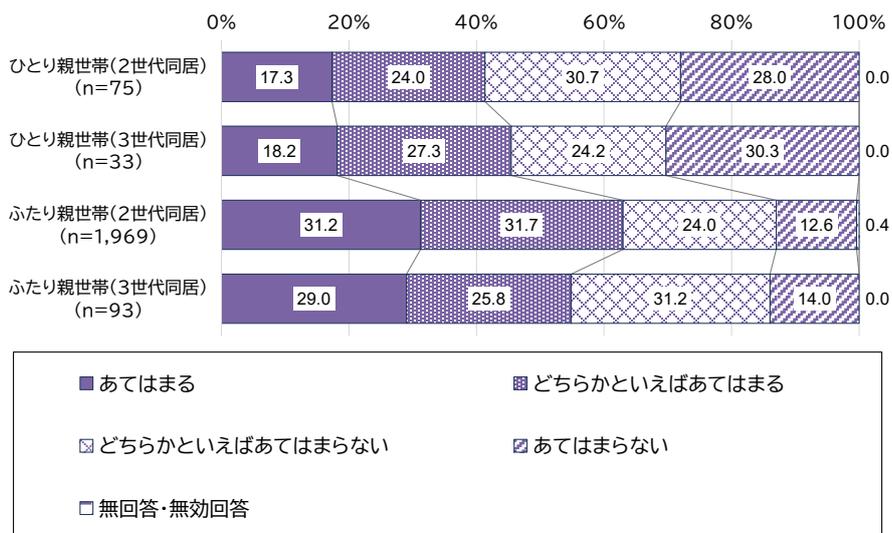
【5 歳児保護者問 14I】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

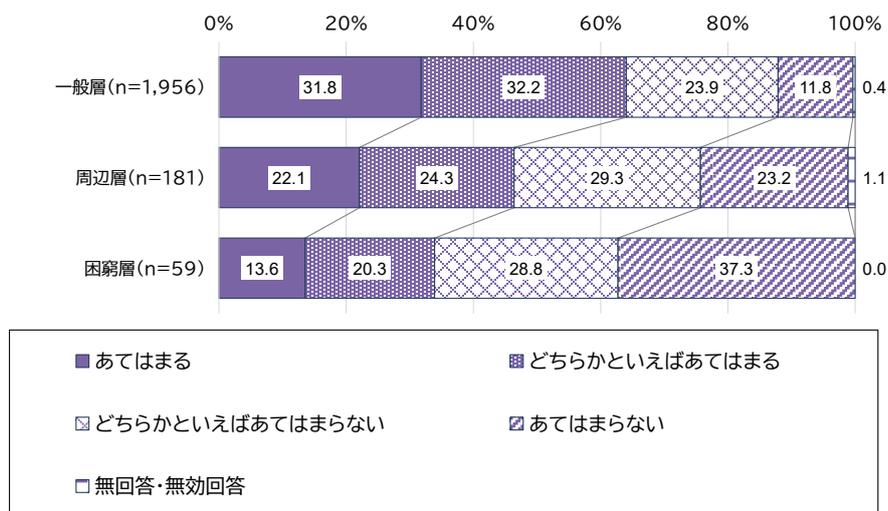
図表 2-50 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況 (単純集計)



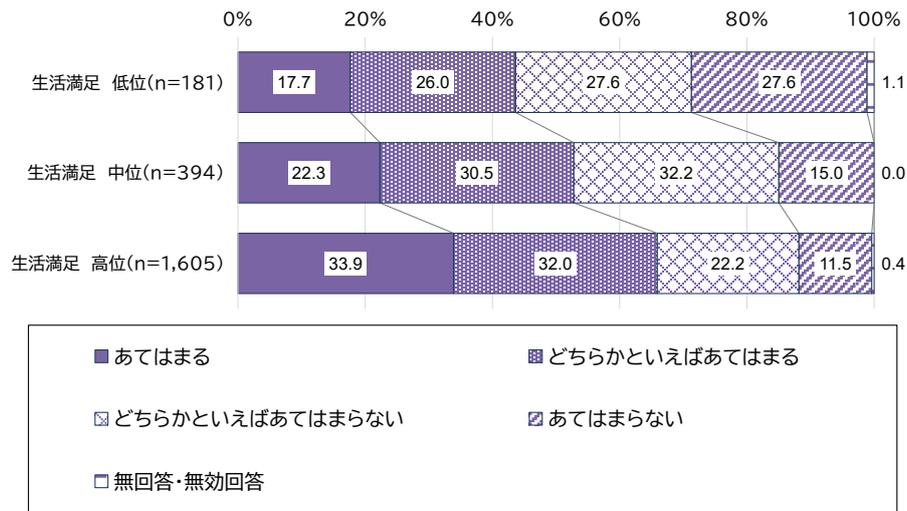
図表 2-51 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-52 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-53 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」についてみると、全体では「あてはまる」が 49.2%、「どちらかといえばあてはまる」が 35.4%であった。

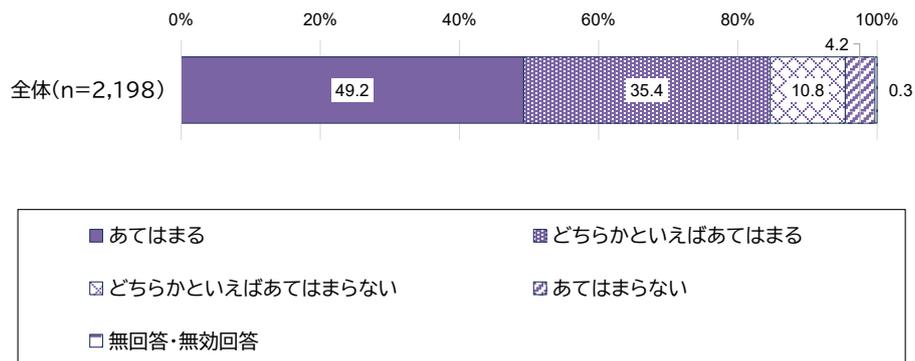
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 28.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 30.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 34.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 38.1%であった。

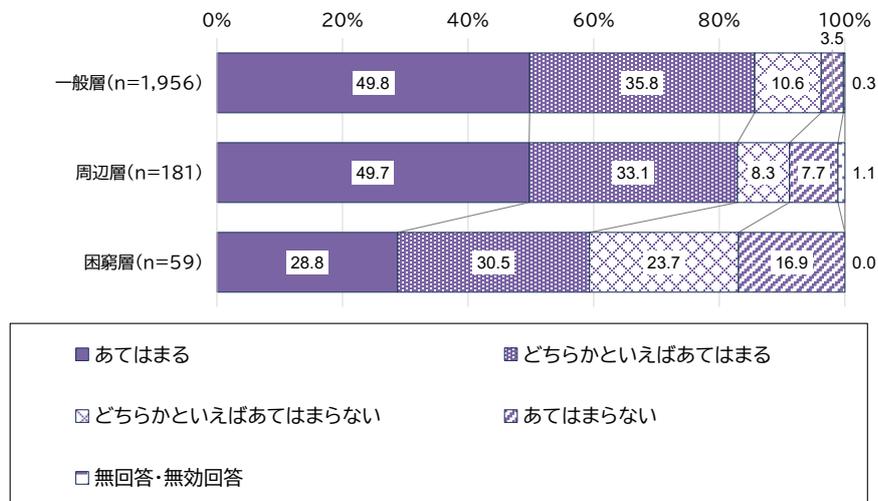
【5 歳児保護者問 14J】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

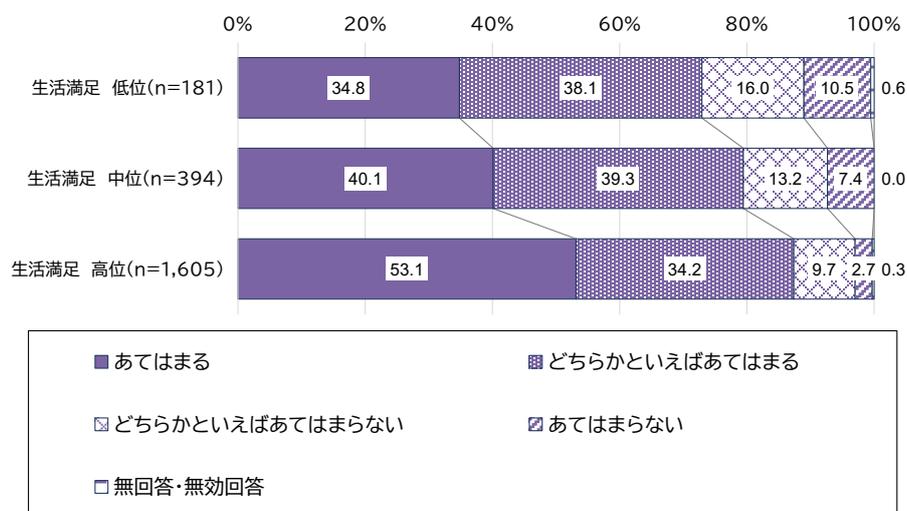
図表 2-54 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況（単純集計）



図表 2-55 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-56 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)



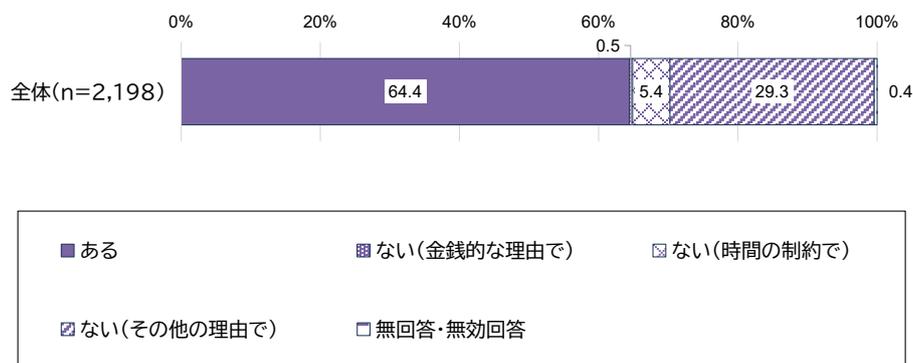
シ 体験の剥奪

「海水浴に行く」についてみると、「ない(金銭的な理由で)」が 0.5%であった。

【5 歳児保護者問 15A】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-57 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



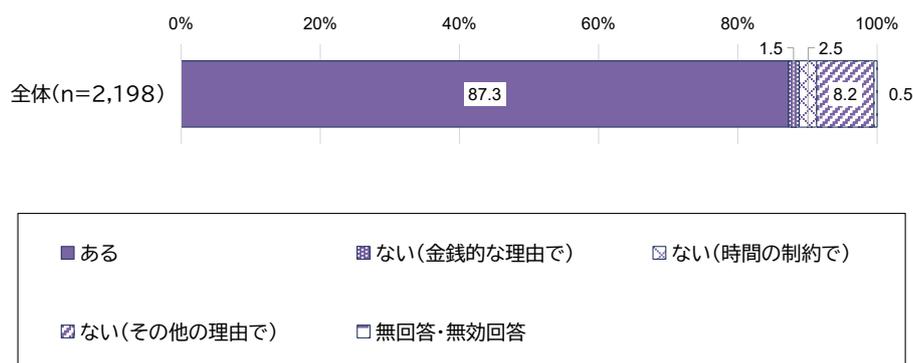
「博物館・美術館・水族館などに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 1.5%であった。

困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 28.8%であった。

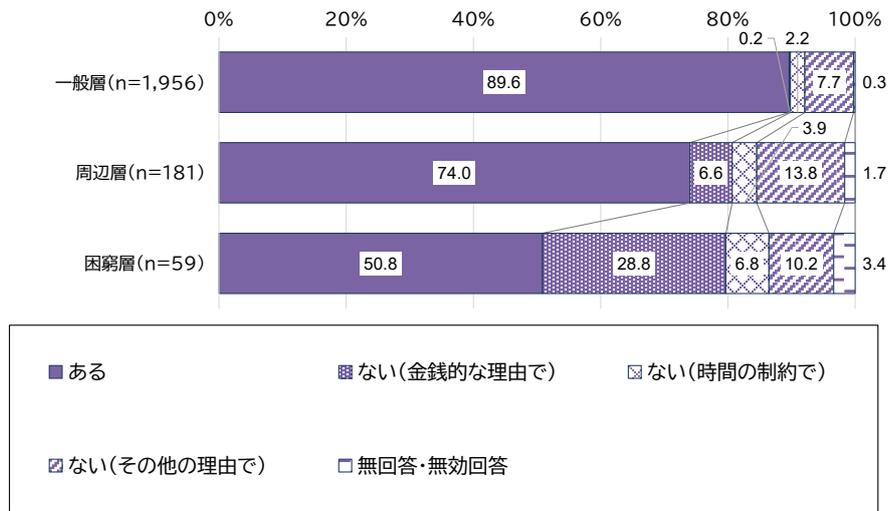
【5 歳児保護者問 15B】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-58 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)



図表 2-59 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁷

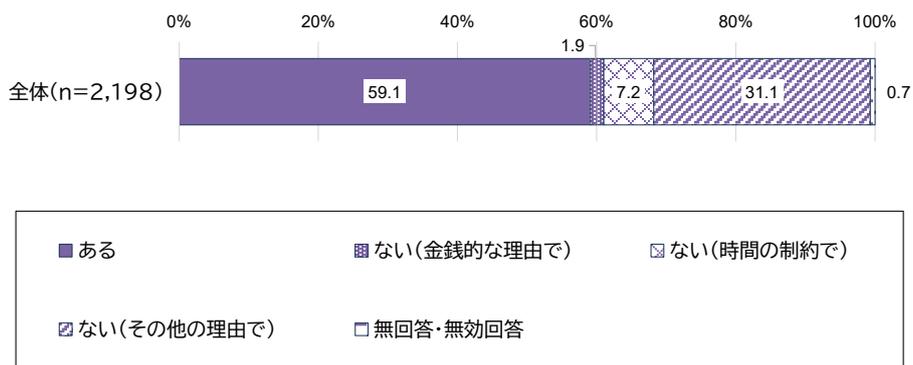


「キャンプやバーベキューに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 1.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「ない(金銭的な理由で)」が 6.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 35.6%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「ない(金銭的な理由で)」が 11.6%であった。

【5 歳児保護者問 15C】

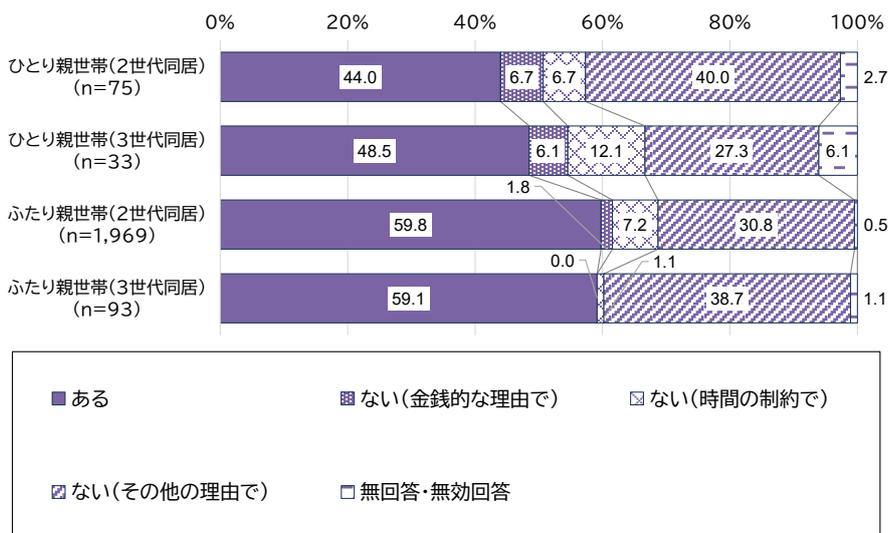
過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-60 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（単純集計）

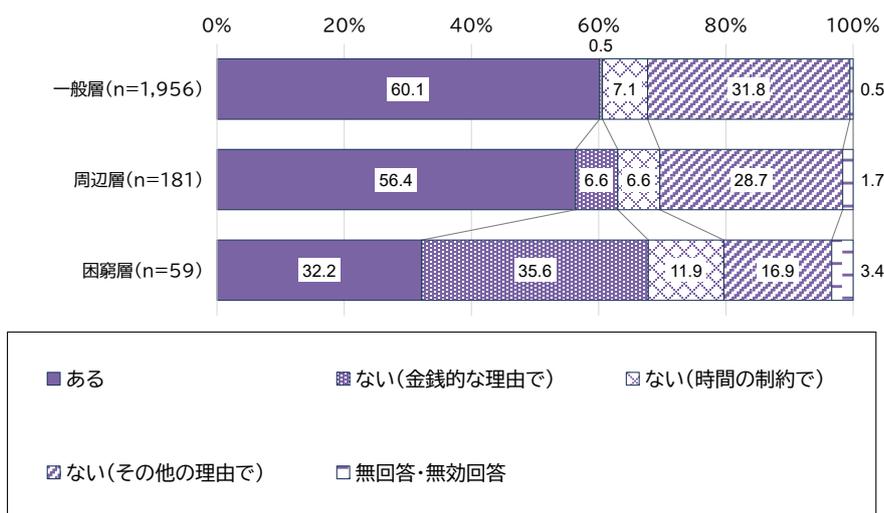


⁷ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-61 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

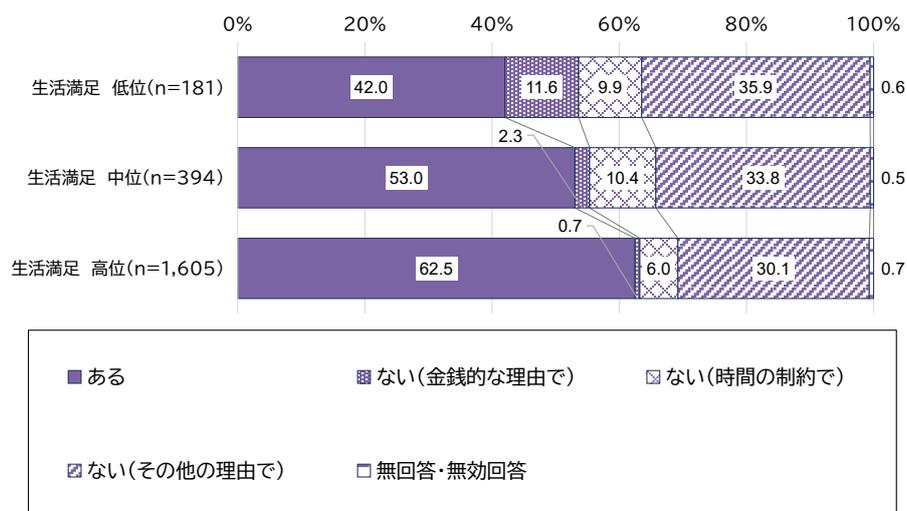


図表 2-62 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁸



⁸ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-63 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



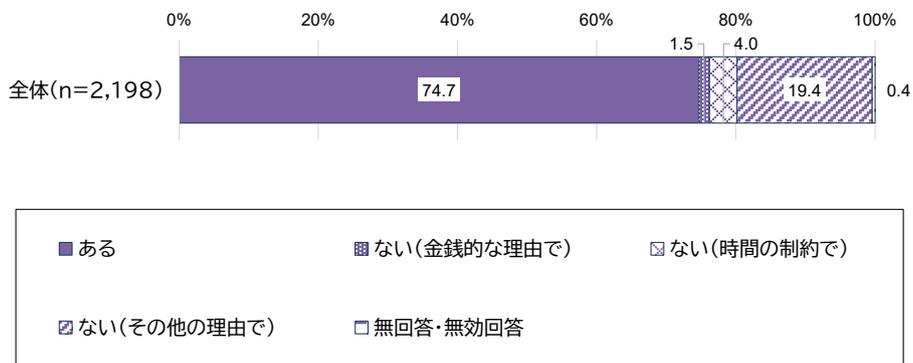
「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 1.5%であった。

困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 28.8%であった。

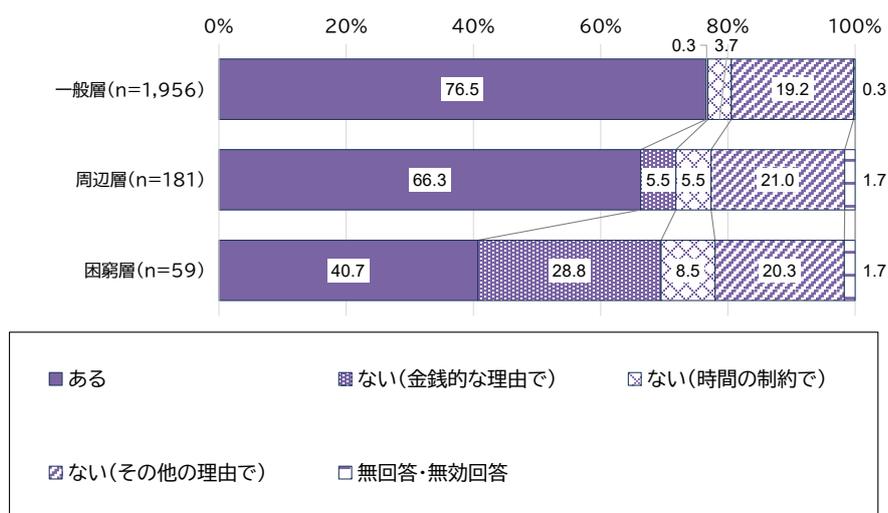
【5 歳児保護者問 15D】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-64 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）



図表 2-65 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁹

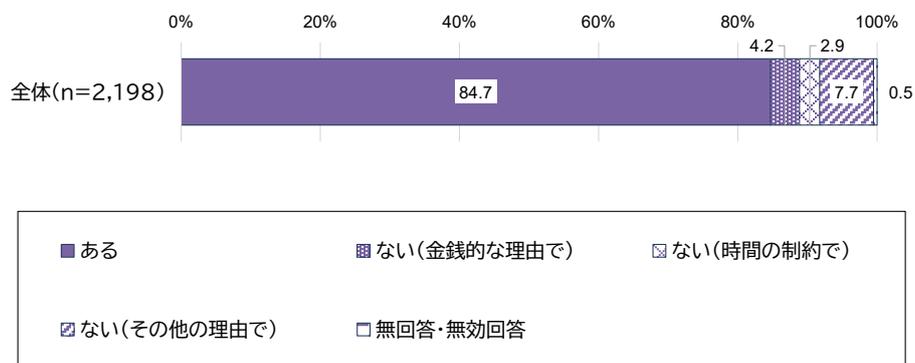


「遊園地やテーマパークに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 4.2%であった。
 困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 50.8%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「ない(金銭的な理由で)」が 15.5%であった。

【5 歳児保護者問 15E】

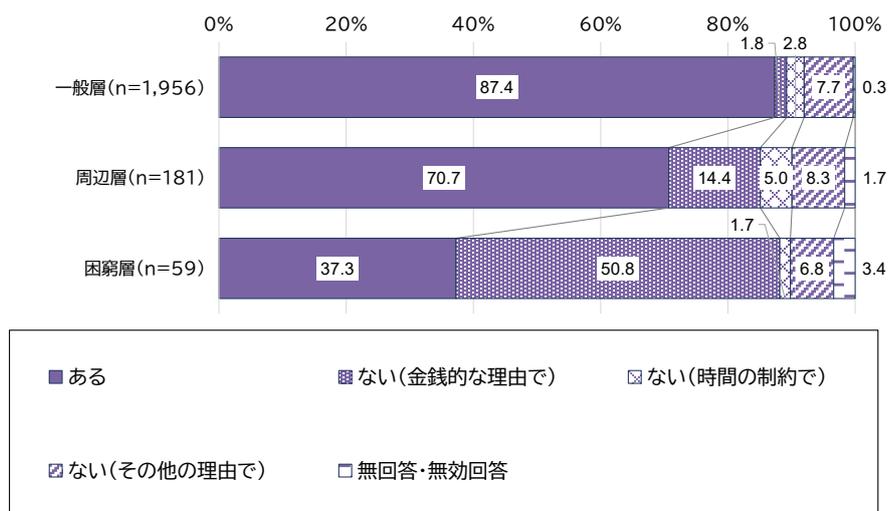
過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-66 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（単純集計）

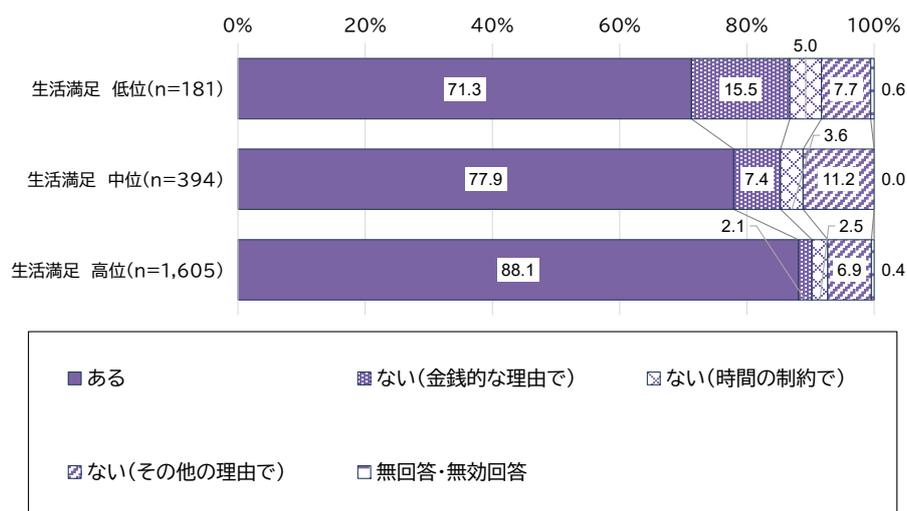


⁹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-67 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹⁰



図表 2-68 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



¹⁰ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

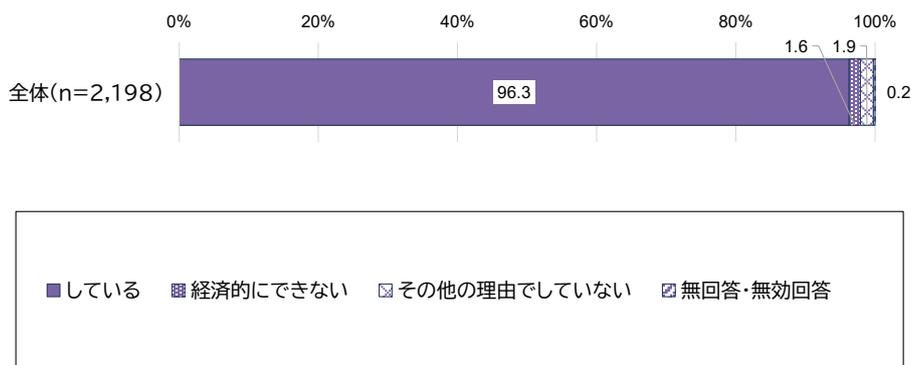
ス 家庭での経験の剥奪

「毎年新しい洋服・靴を買う」についてみると、全体では、「経済的にできない」は1.6%であった。
 困窮層(n=59)では、「経済的にできない」は32.2%であった。

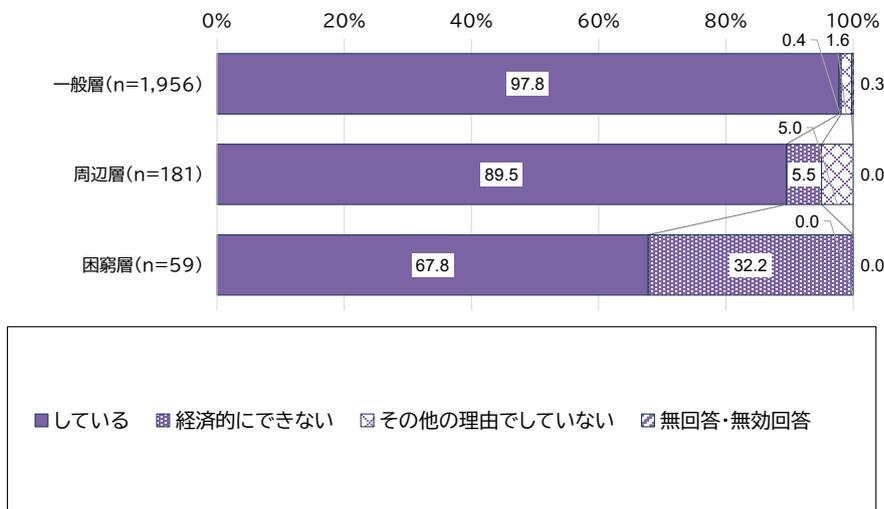
【5歳児保護者問16A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-69 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（単純集計）



図表 2-70 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹¹



¹¹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」についてみると、全体では、「経済的にできない」が4.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「経済的にできない」が21.3%であった。

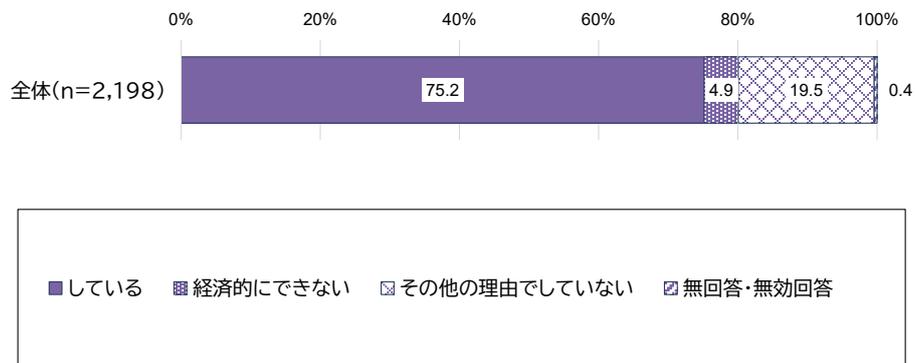
困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が69.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「経済的にできない」が20.4%であった。

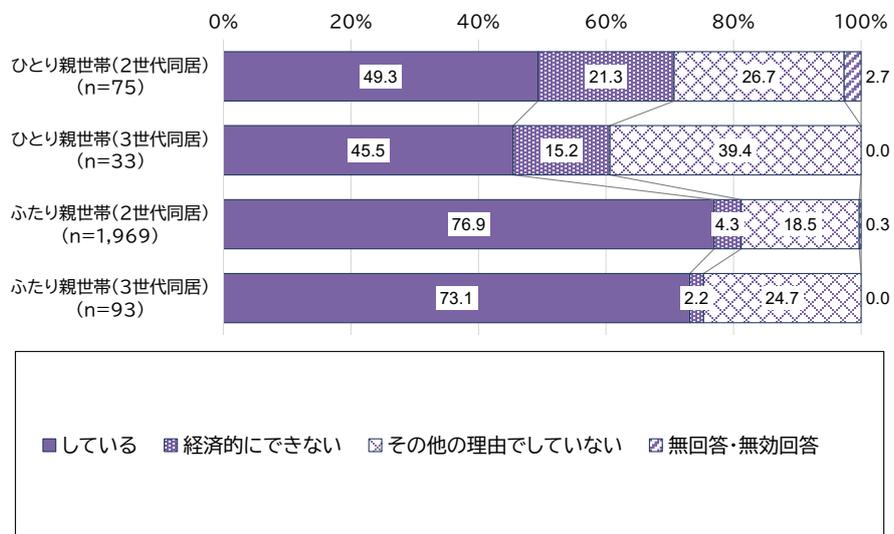
【5歳児保護者問 16B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

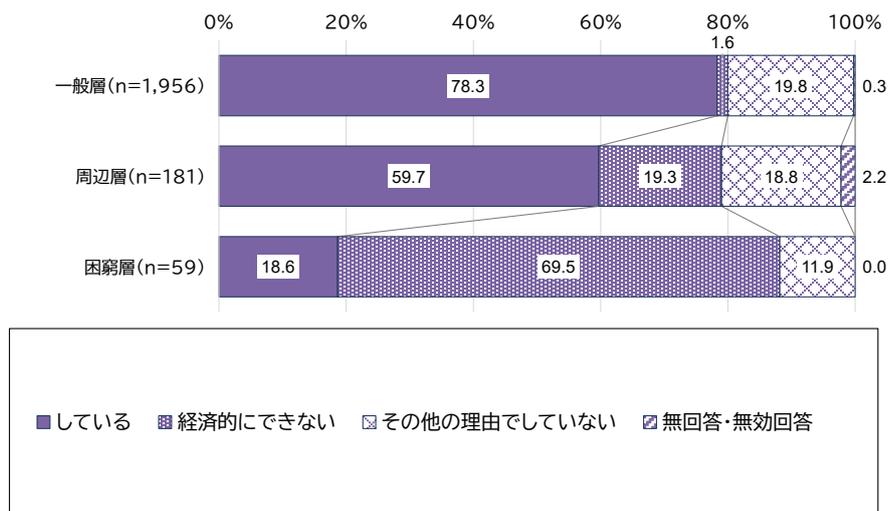
図表 2-71 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (単純集計)



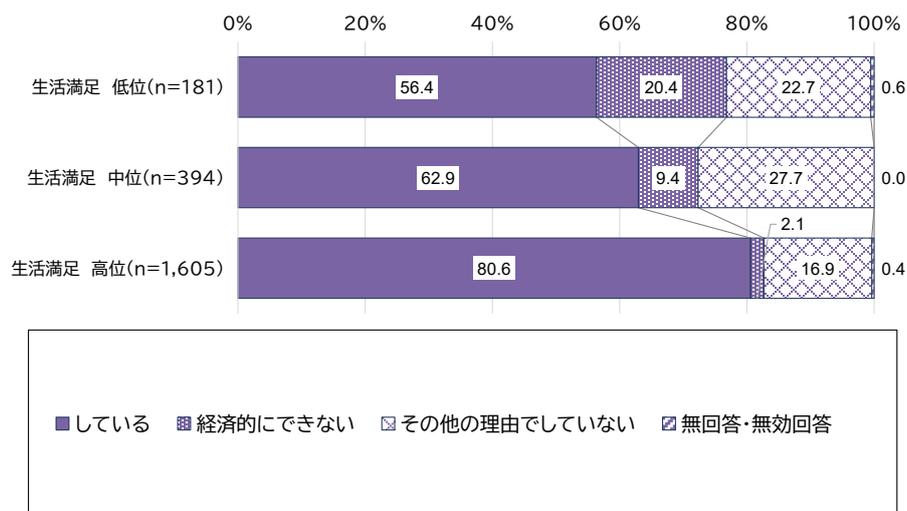
図表 2-72 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-73 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)¹²



図表 2-74 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



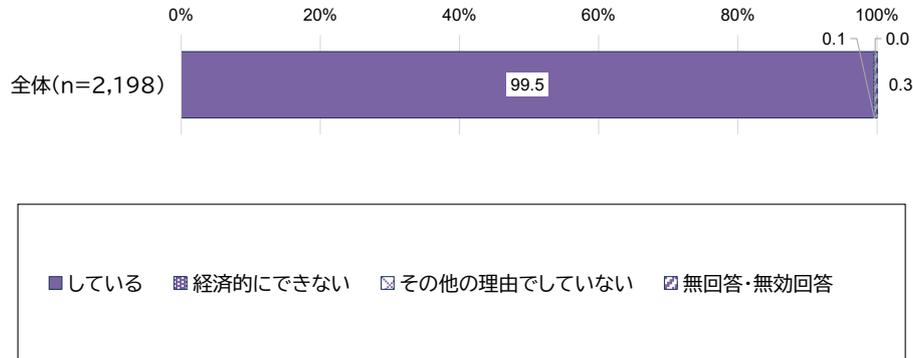
¹² 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」についてみると、「経済的にできない」は0.1%であった。

【5歳児保護者問 16C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-75 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」についてみると、全体では、「経済的にできない」が6.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「経済的にできない」が28.0%であった。

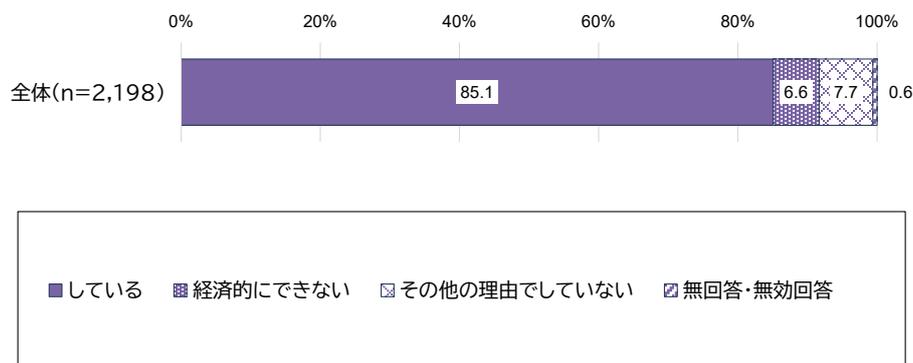
困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が76.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「経済的にできない」が27.1%であった。

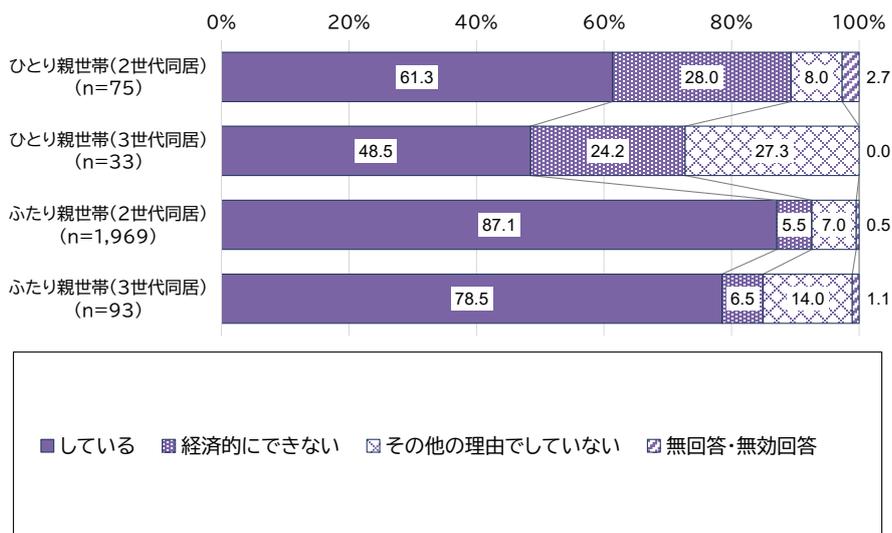
【5歳児保護者問 16D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

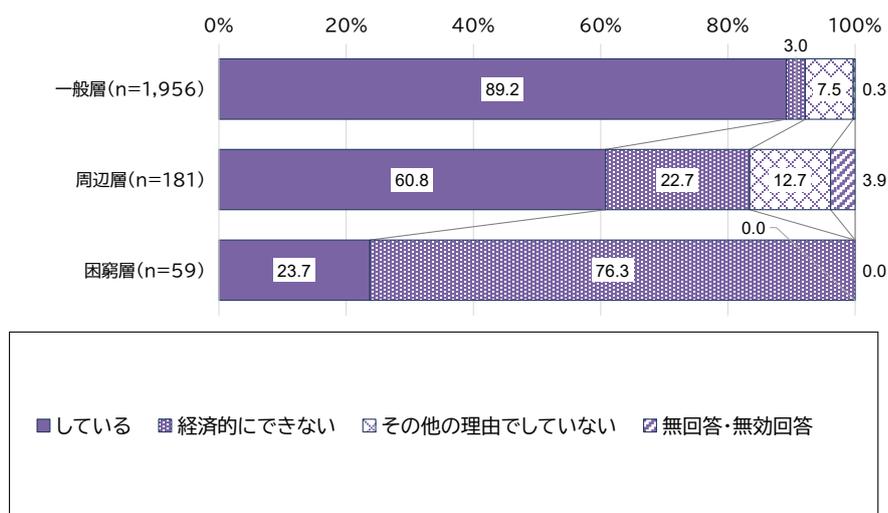
図表 2-76 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 2-77 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

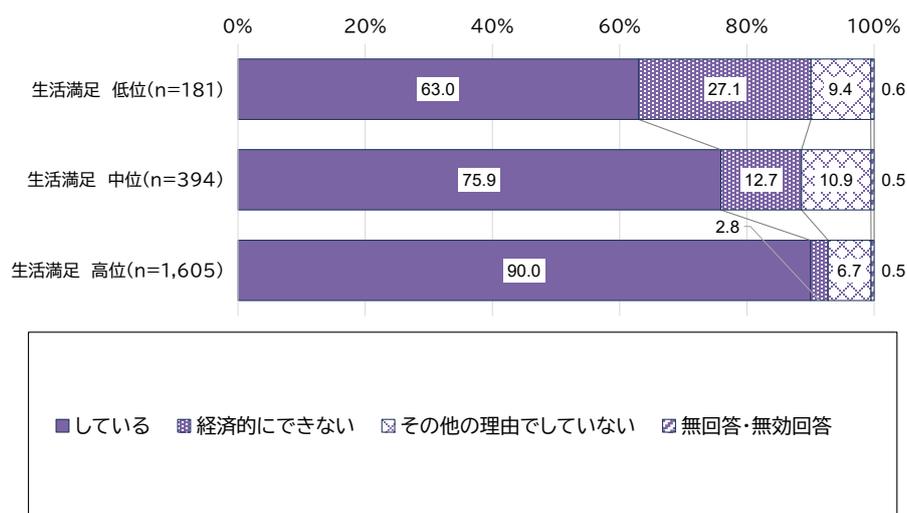


図表 2-78 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹³



¹³ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-79 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

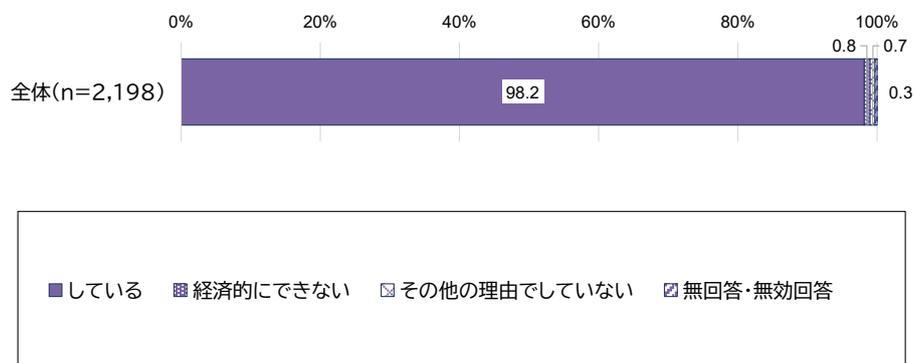


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」についてみると、「経済的にできない」は 0.8%であった。

【5 歳児保護者問 16E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 2-80 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

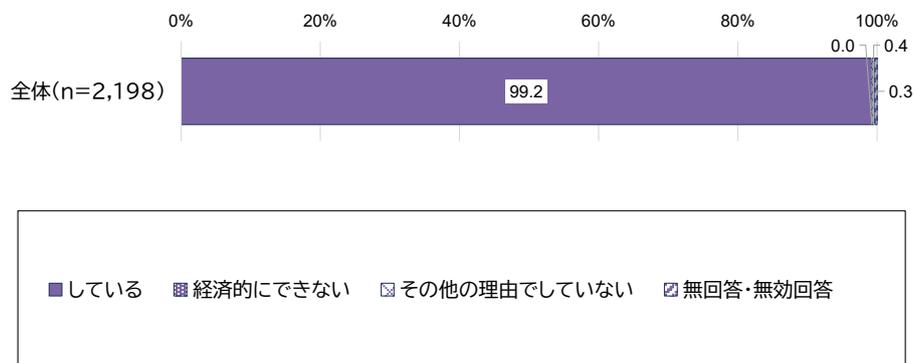


「子どもの園行事などへ保護者が参加する」についてみると、「経済的にできない」は0.0%であった。

【5歳児保護者問16F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-81 「子どもの園行事などへ保護者が参加する」の実施状況（単純集計）



セ 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由で世帯にないものに尋ねたところ、全体では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が73.2%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が6.6%、「自家用車」が6.0%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が2.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が46.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が28.0%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が21.3%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が12.0%であった。

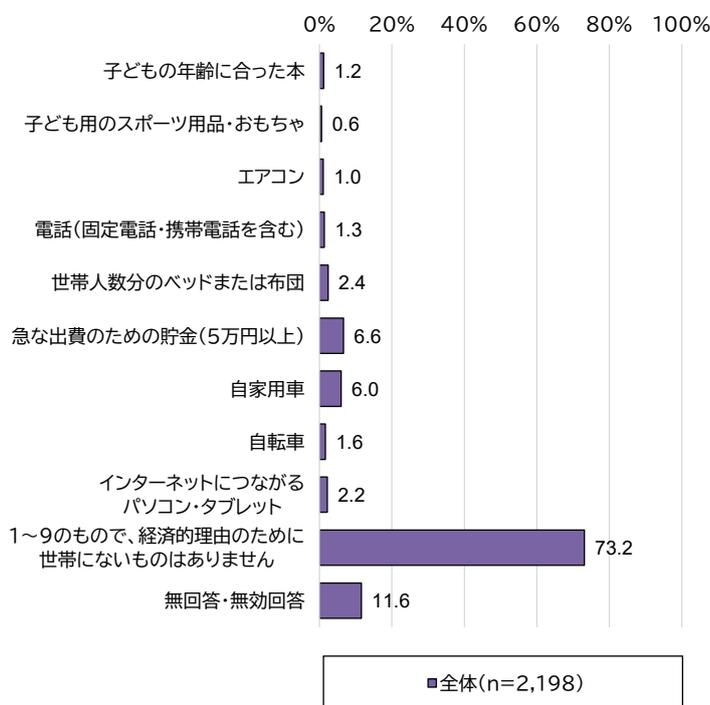
困窮層(n=59)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合は8.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が67.8%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が37.3%、「自家用車」「インターネットにつながるパソコン・タブレット」がそれぞれ27.1%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が47.0%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が27.1%、「自家用車」が13.8%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が9.9%であった。

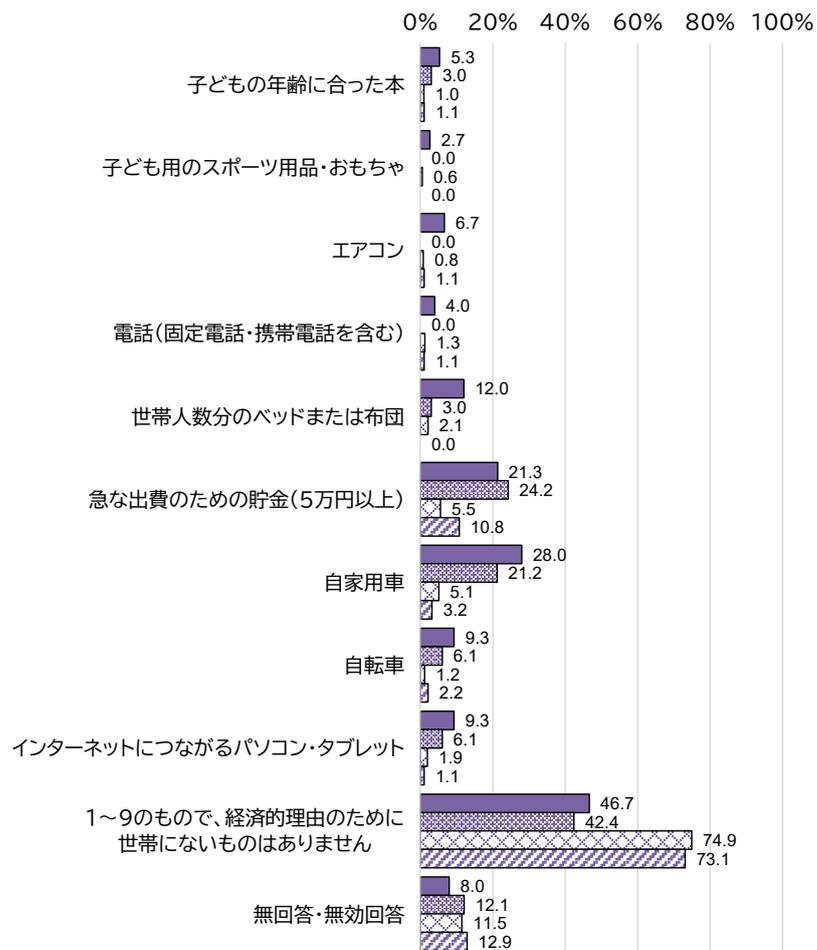
【5 歳児保護者問 17】

次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 2-82 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)

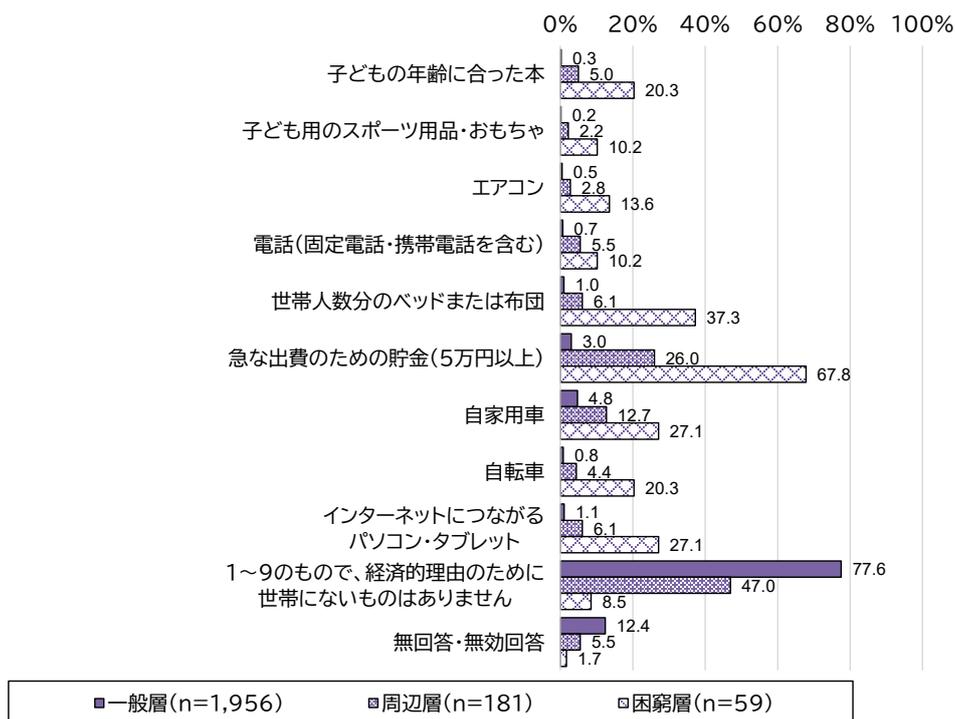


図表 2-83 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）

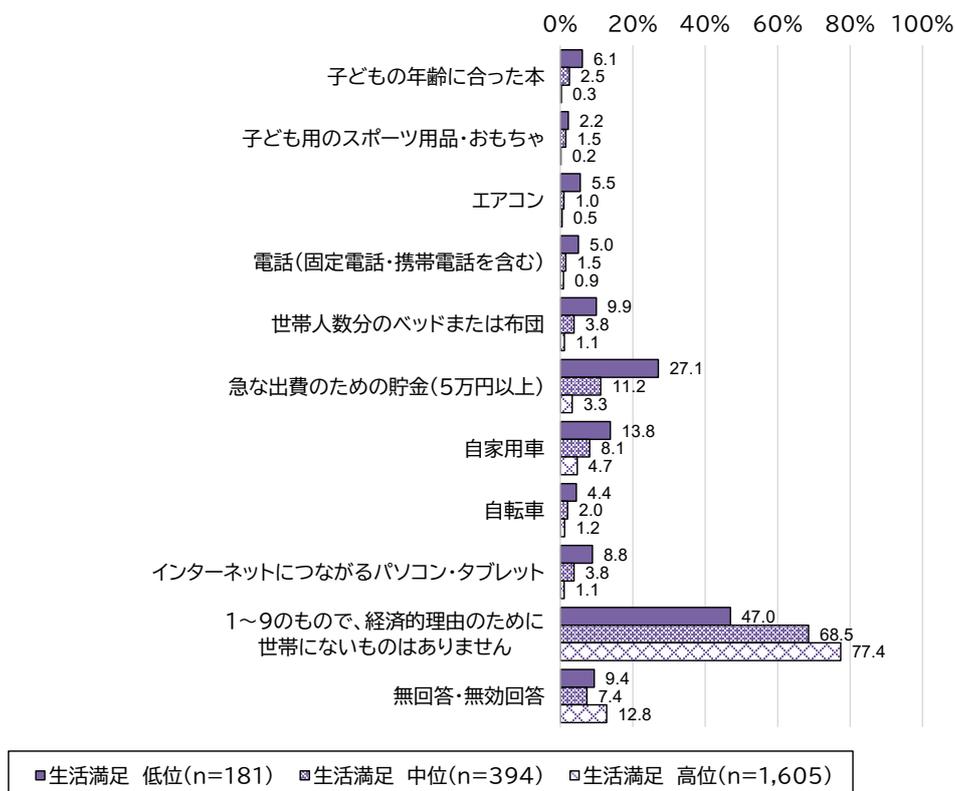


ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)
 ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969)
 ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-84 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）¹⁴



図表 2-85 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



0

¹⁴ 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

ソ 進学への希望

子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 73.6%と最も多く、以下、「まだわからない」が 16.8%、「高専・短大・専門学校等まで」が 5.4%と続いた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「大学またはそれ以上」が 49.3%と最も多く、以下、「まだわからない」が 29.3%、「高専・短大・専門学校等まで」が 12.0%となっていた。

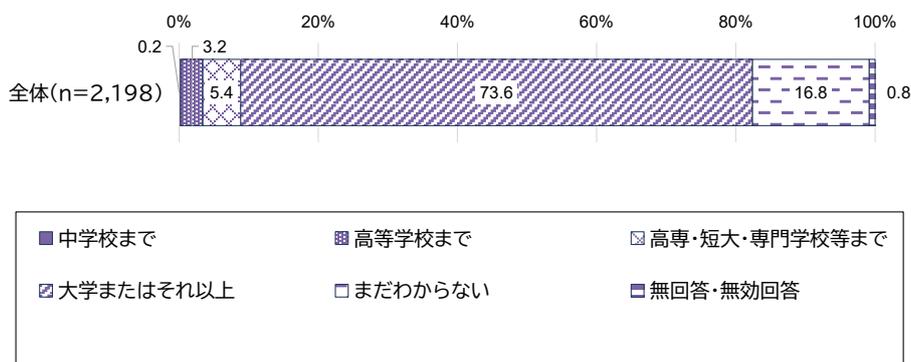
困窮層(n=59)では、「大学またはそれ以上」が 42.4%と最も多く、次いで、「まだわからない」が 35.6%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.2%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「大学またはそれ以上」が 59.7%と最も多く、「まだわからない」が 22.1%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.5%となっていた。

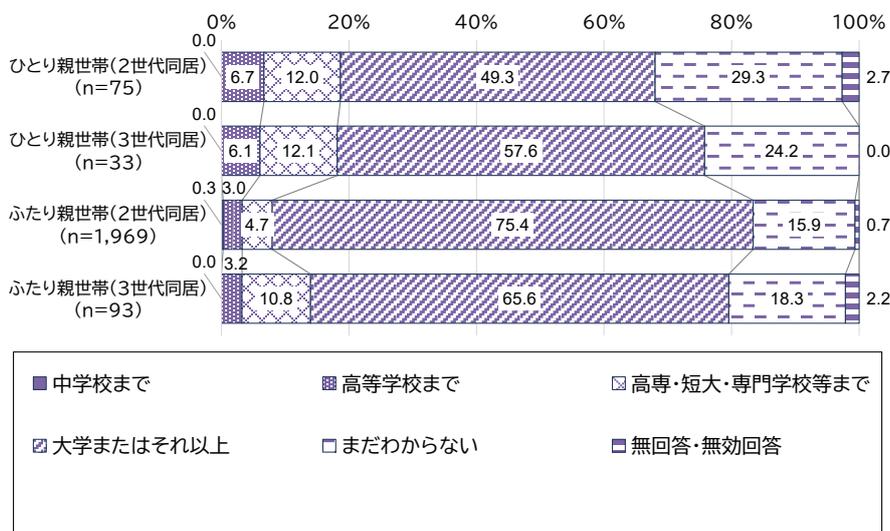
【5 歳児保護者問 18】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。(単一回答)

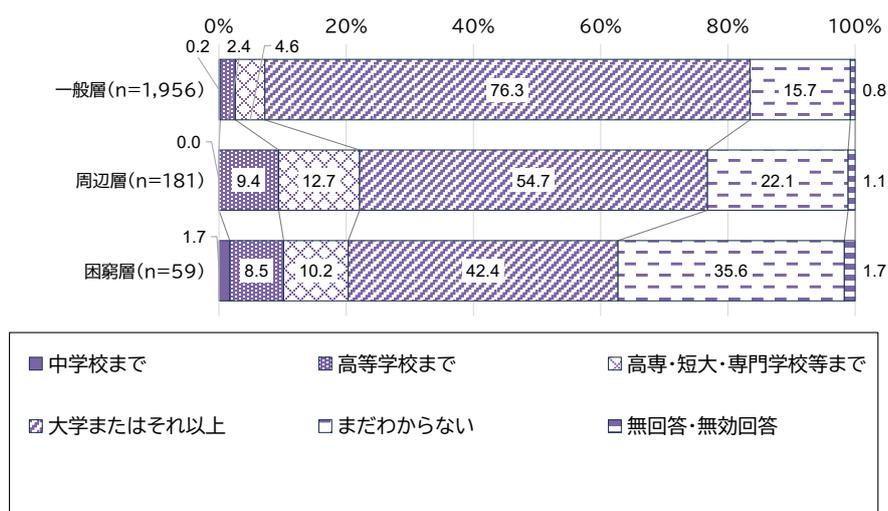
図表 2-86 子どもの進学への希望 (単純集計)



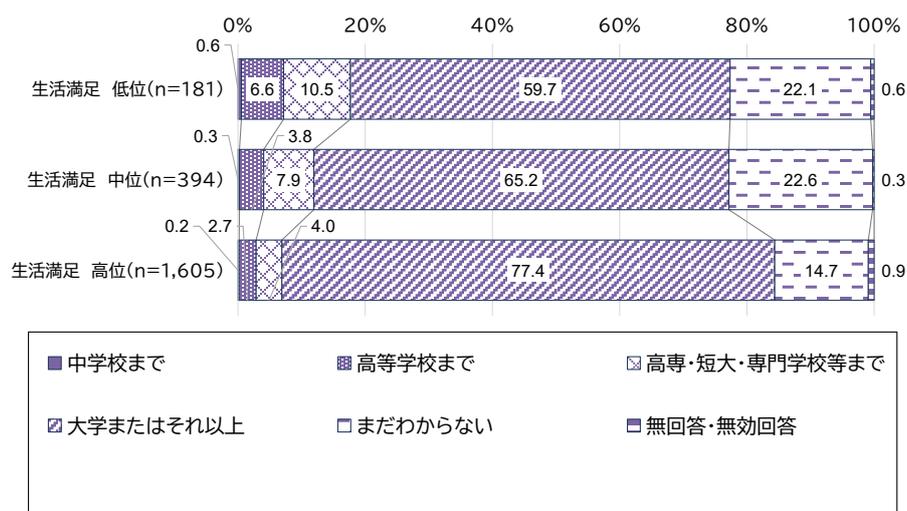
図表 2-87 子どもの進学への希望 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-88 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 2-89 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



タ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、全体では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が 39.2%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が 31.5%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が 19.8%、「子どもの心身の発達や病気」が 15.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が 17.3%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が 57.3%と最も多く、「子どもの心身の発達や病気」が 22.7%、「子どもの食事や栄養管理」が 20.0%となっていた。

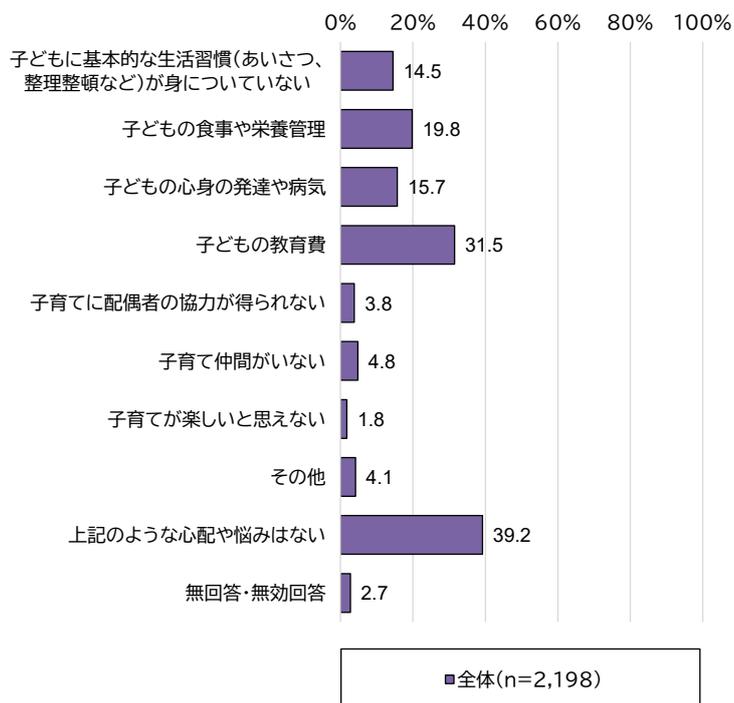
困窮層(n=59)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が 3.4%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が 86.4%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が 32.2%、「子どもの心身の発達や病気」が 23.7%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が 13.8%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が 58.6%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が 32.6%、「子どもの心身の発達や病気」が 28.7%となっていた。

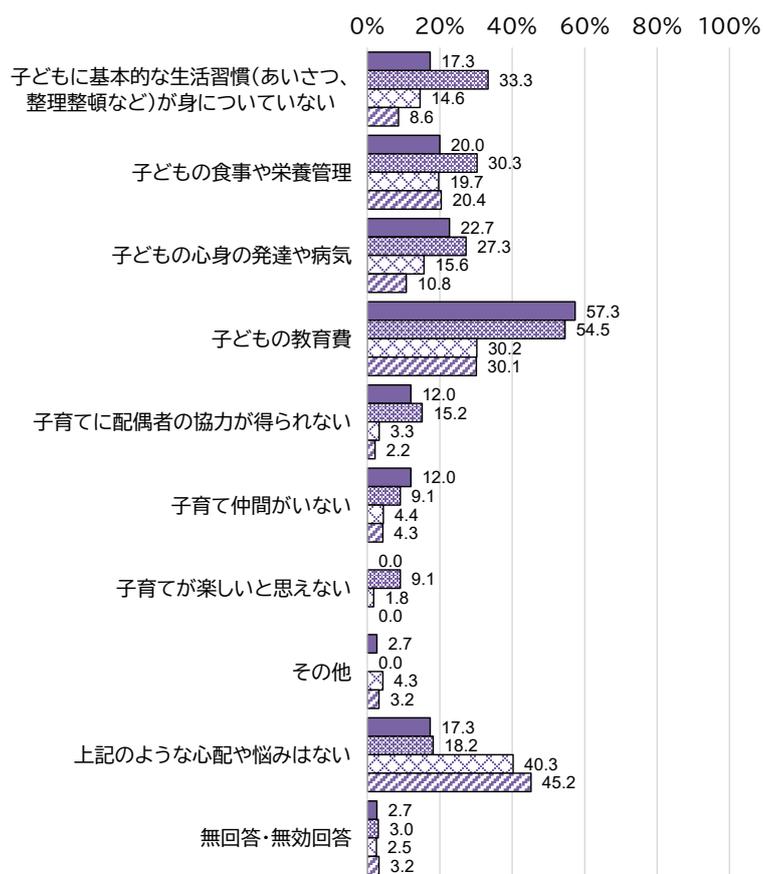
【5 歳児保護者問 19】

宛名のお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 2-90 子育てに関する悩みごと (単純集計)

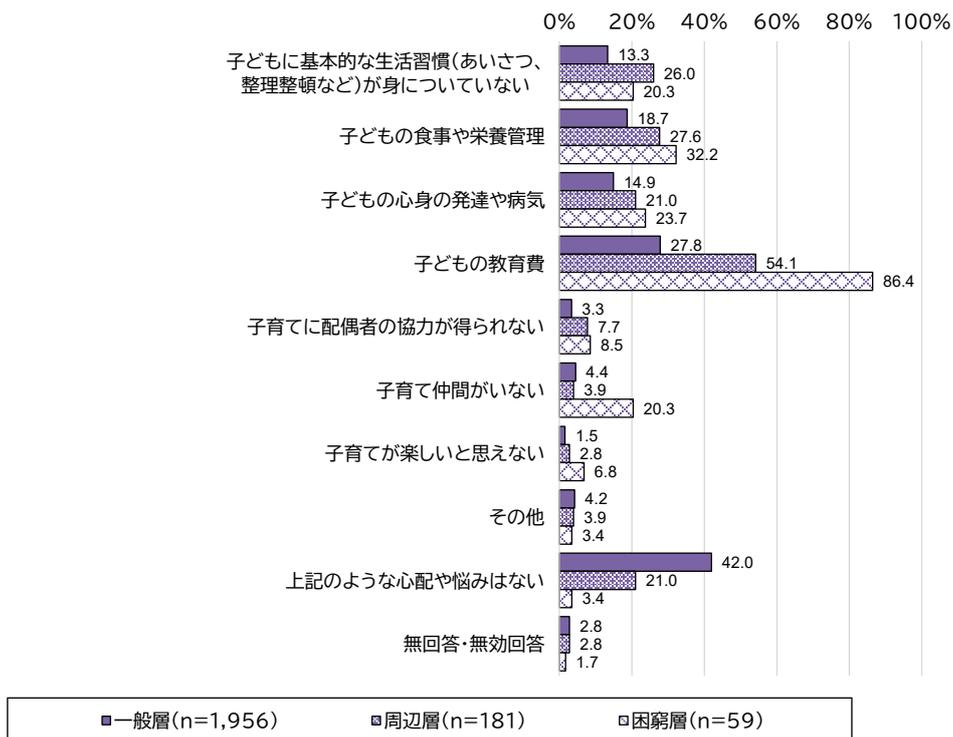


図表 2-91 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）

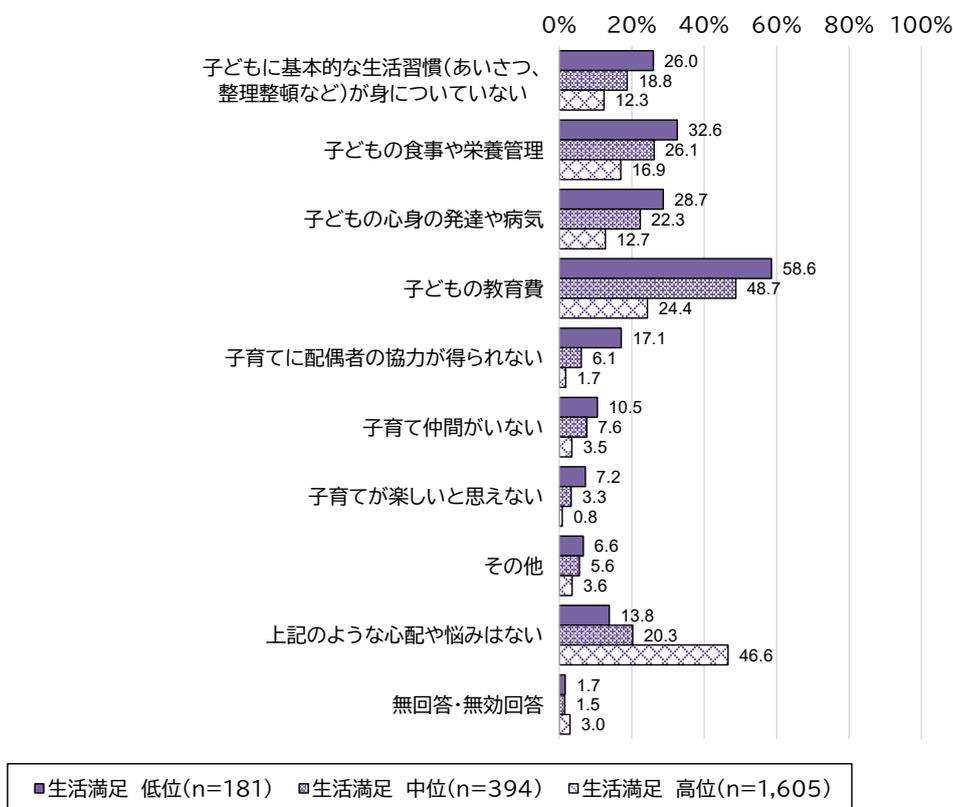


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=75) ▣ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969) ▢ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-92 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）



図表 2-93 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



(4) あなたのことについてうかがいます

ア 婚姻状況

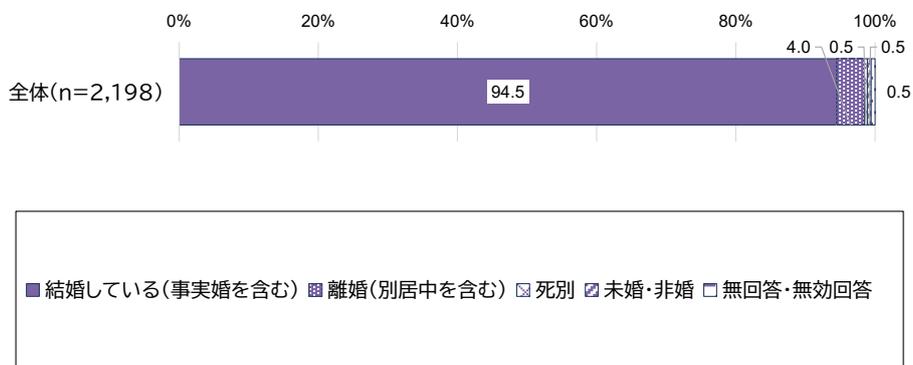
回答者の婚姻状況についてみると、「結婚している(事実婚を含む)」が94.5%と最も多くなっていた。困窮層(n=59)では、「結婚している(事実婚を含む)」が69.5%と最も多く、次いで「離婚(別居中を含む)」が22.0%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「結婚している(事実婚を含む)」が84.5%と最も多く、次に「離婚(別居中を含む)」が13.3%と続いた。

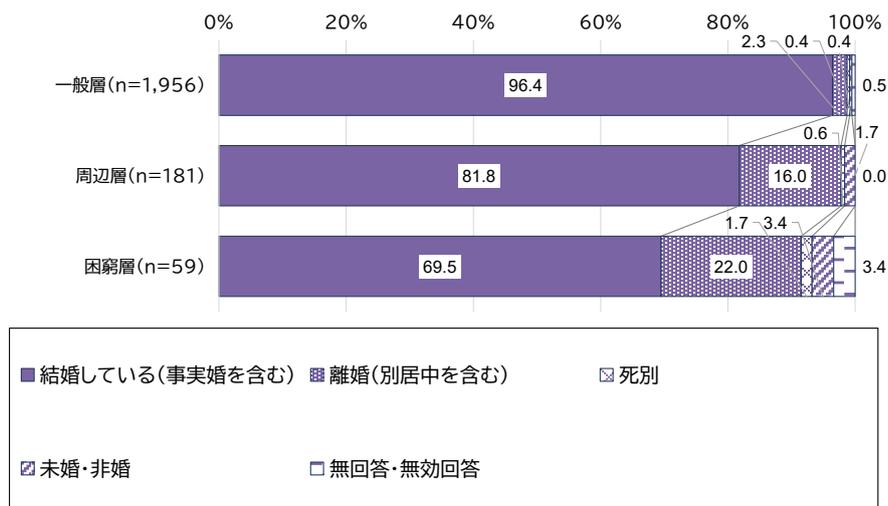
【5歳児保護者問20】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

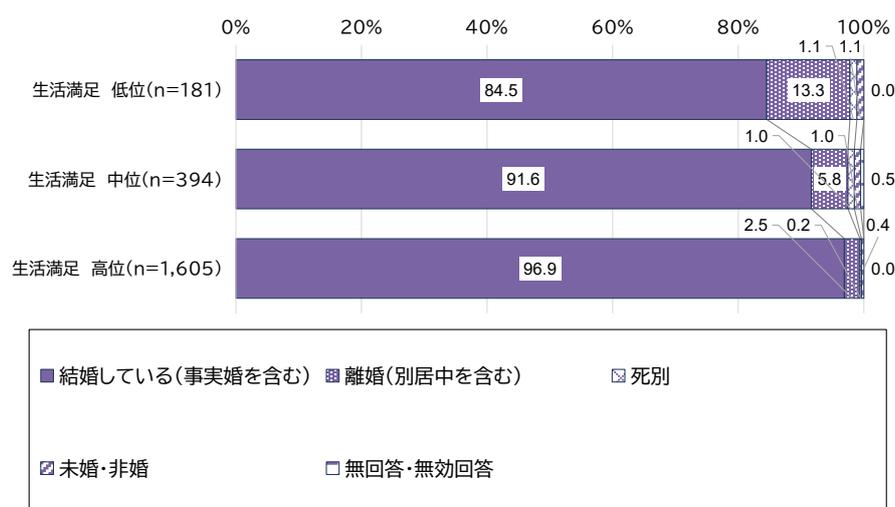
図表 2-94 回答者の婚姻状況 (単純集計)



図表 2-95 回答者の婚姻状況 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-96 回答者の婚姻状況（生活満足度別クロス集計）



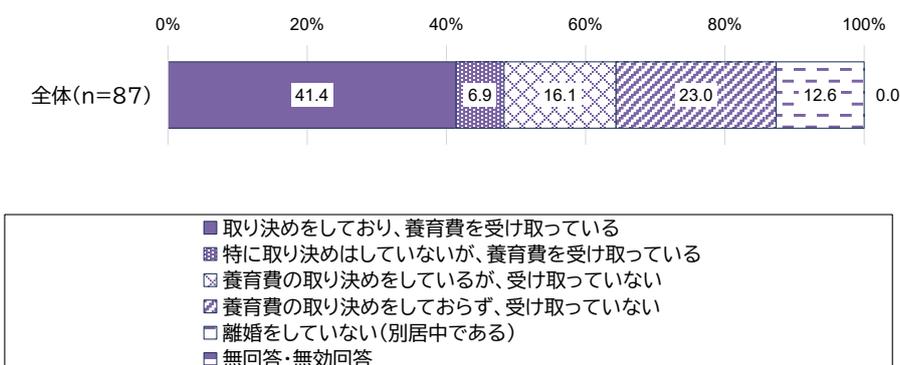
イ 養育費の取り決め

問 20 で、「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が 41.4%と最も多く、以下、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 23.0%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 16.1%と続いていた。

【5 歳児保護者問 20-1】

問 20 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 2-97 離婚相手との養育費の取り決め（単純集計）



ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態に関する認識についてみると、全体では、「よい」が 47.2%、「まあよい」が 26.8%、「ふつう」が 19.5%、「あまりよくない」が 5.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「ふつう」が 37.3%と最も多くなっており、「よい」が 32.0%、「まあよい」が 17.3%であった。

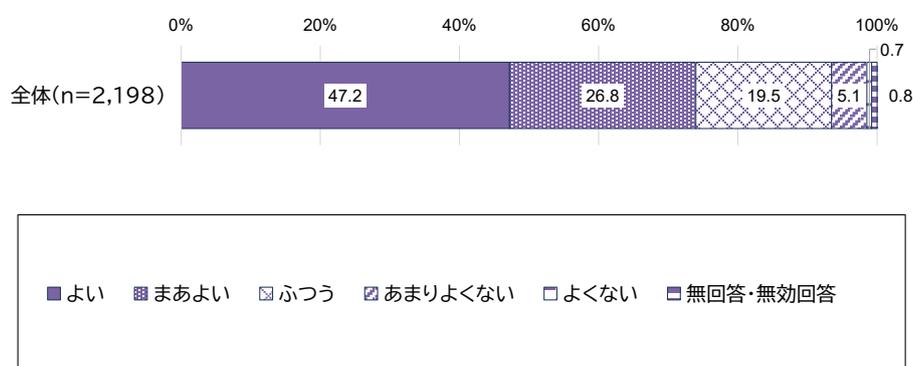
困窮層(n=59)では、「よい」が 33.9%、「ふつう」が 22.0%、「まあよい」が 20.3%、であった。

生活満足 低位(n=181)では、「ふつう」が 38.1%と最も多く、「まあよい」が 21.0%、「よい」が 18.2%となっていた。

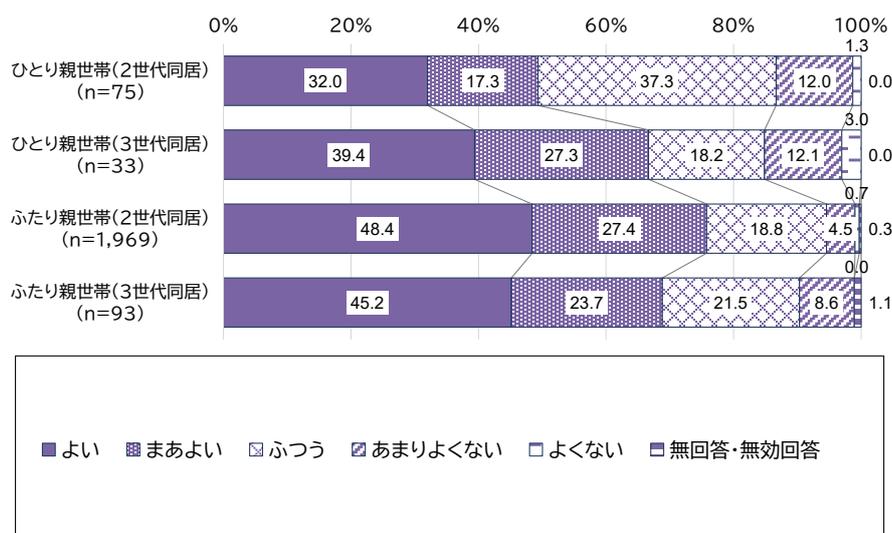
【5 歳児保護者問 21】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

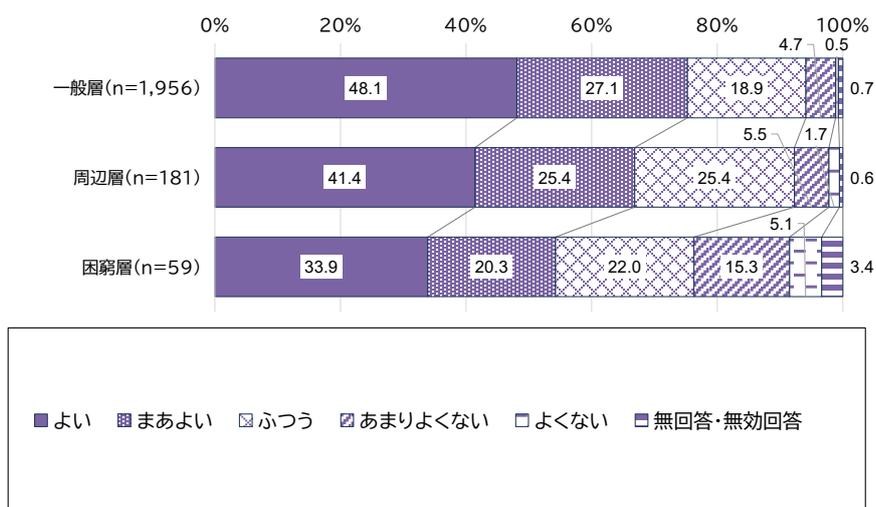
図表 2-98 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



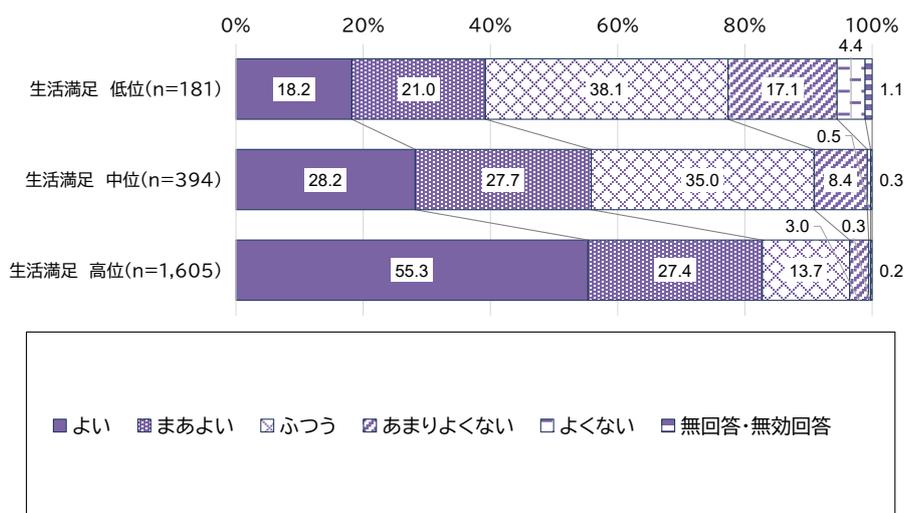
図表 2-99 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-100 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 2-101 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



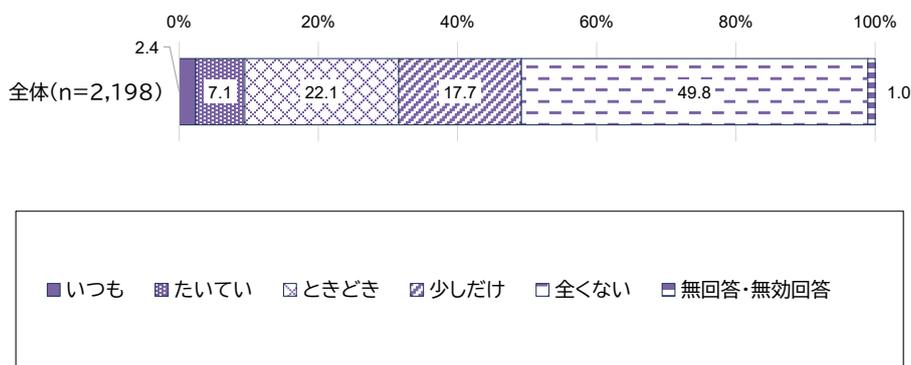
工 過去 1 か月間の心の状態

「神経過敏に感じましたか」についてみると、「全くない」が 49.8%であった。

【5 歳児保護者問 22A】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-102 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

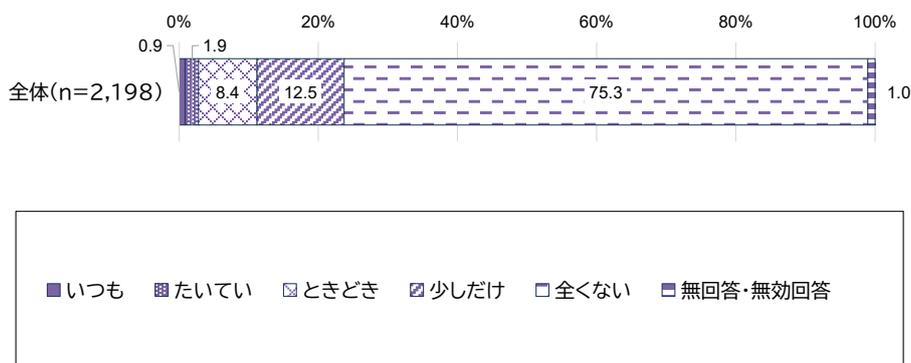


「絶望的だと感じましたか」についてみると、「全くない」が 75.3%であった。

【5 歳児保護者問 22B】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-103 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

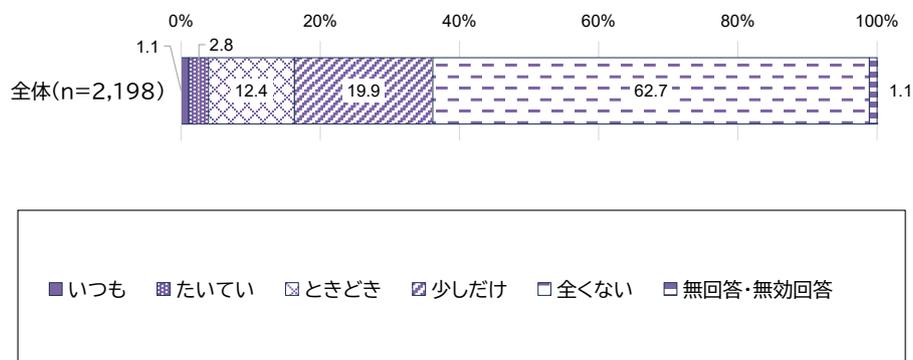


「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」についてみると、「全くない」が62.7%であった。

【5歳児保護者問 22C】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-104 「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」の頻度 (単純集計)

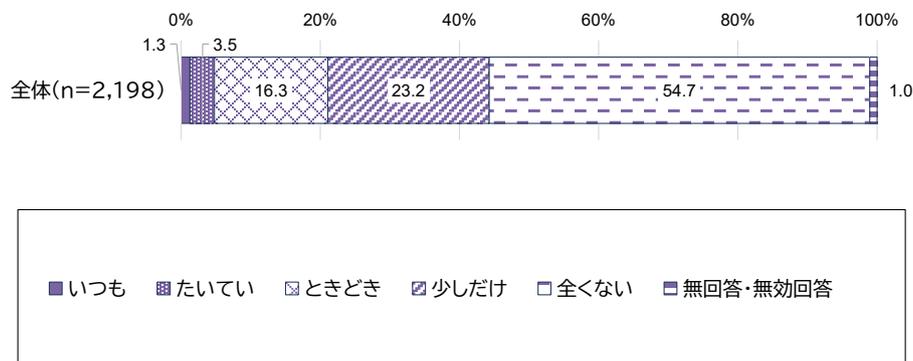


「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」についてみると、「全くない」が54.7%であった。

【5歳児保護者問 22D】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-105 「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)

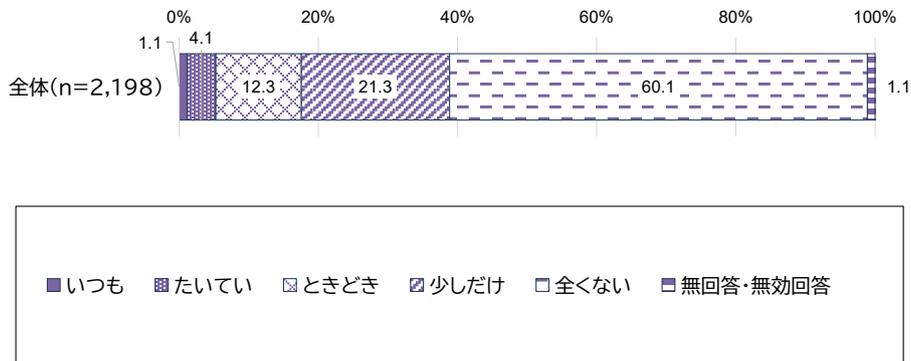


「何をするのも骨折りだと感じましたか」についてみると、「全くない」が60.1%であった。

【5歳児保護者問 22E】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-106 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)

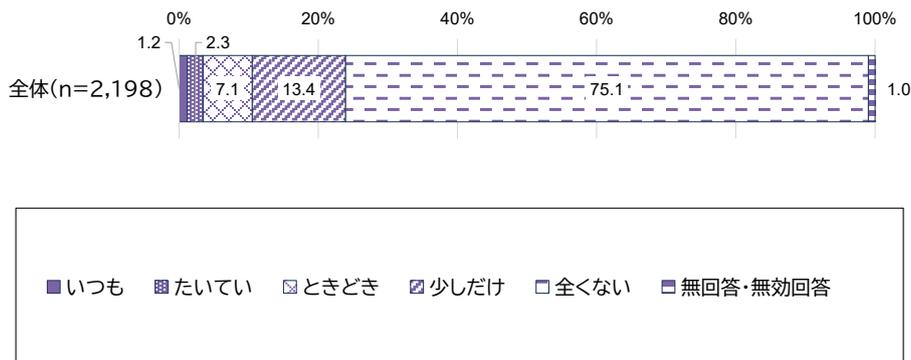


「自分は価値のない人間だと感じましたか」についてみると、全体では、「全くない」が75.1%であった。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「全くない」が54.7%であった。
困窮層(n=59)では、「全くない」が40.7%であった。
生活満足 低位(n=181)では、「全くない」が43.1%であった。

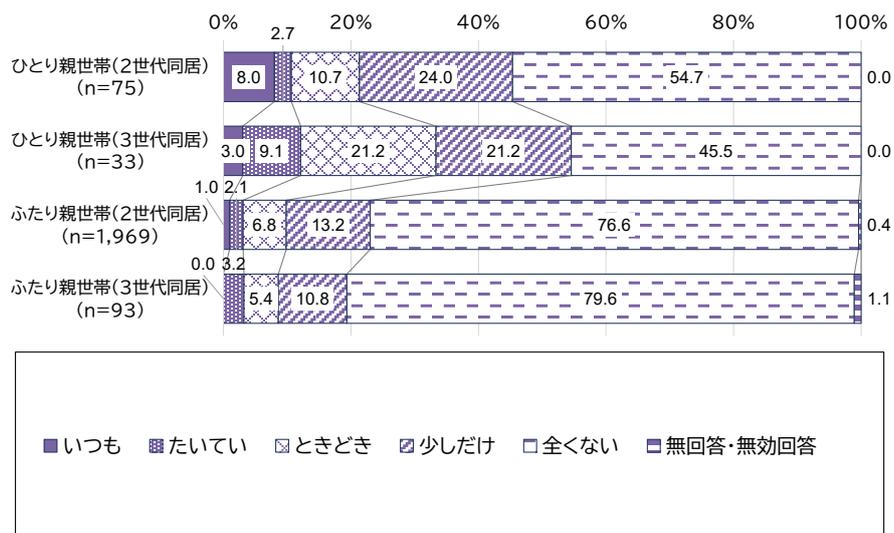
【5歳児保護者問 22F】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

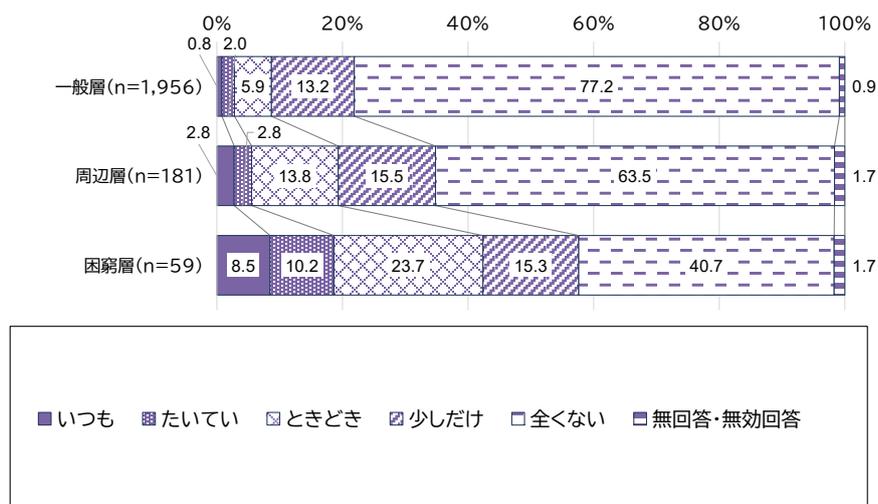
図表 2-107 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



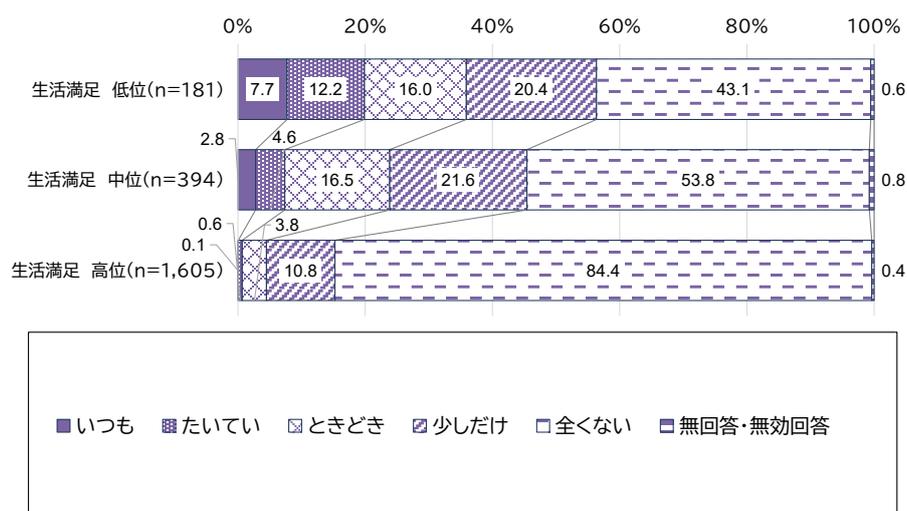
図表 2-108 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-109 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 2-110 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



オ 過去1か月間のこころの状態(K6)¹⁵

過去1か月間のこころの状態(K6)についてみると、全体では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、11.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、25.3%であった。

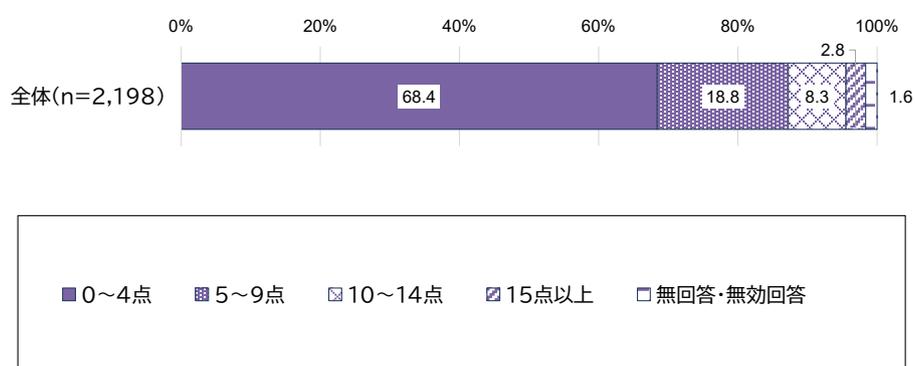
困窮層(n=59)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、42.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、43.6%であった。

【5歳児保護者 K6 得点】

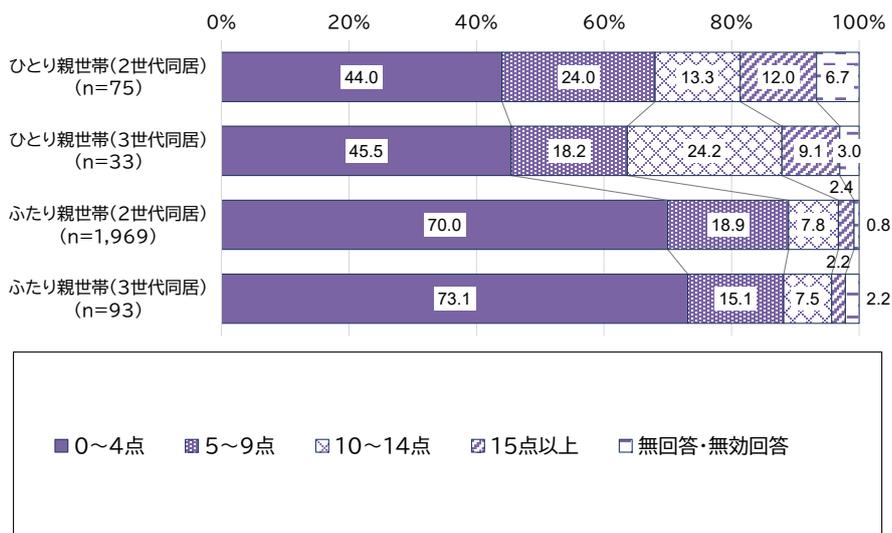
過去1か月間のこころの状態(K6)

図表 2-111 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）

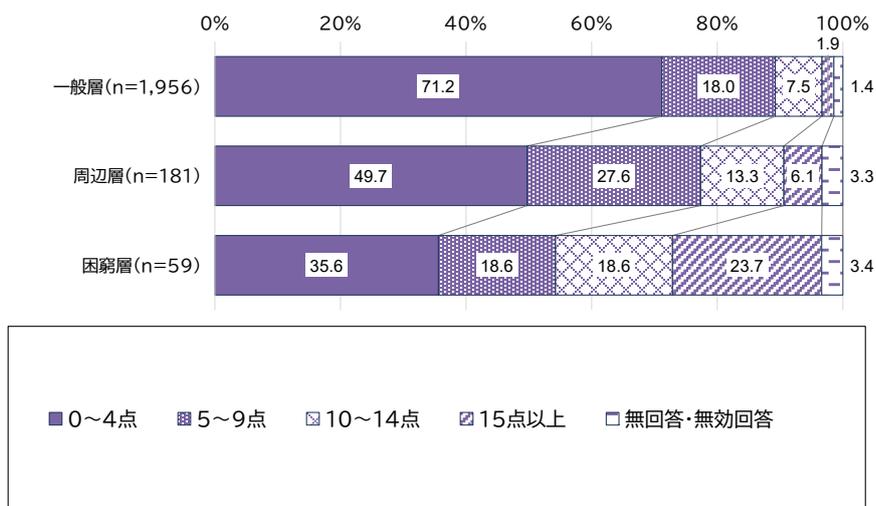


¹⁵ 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照

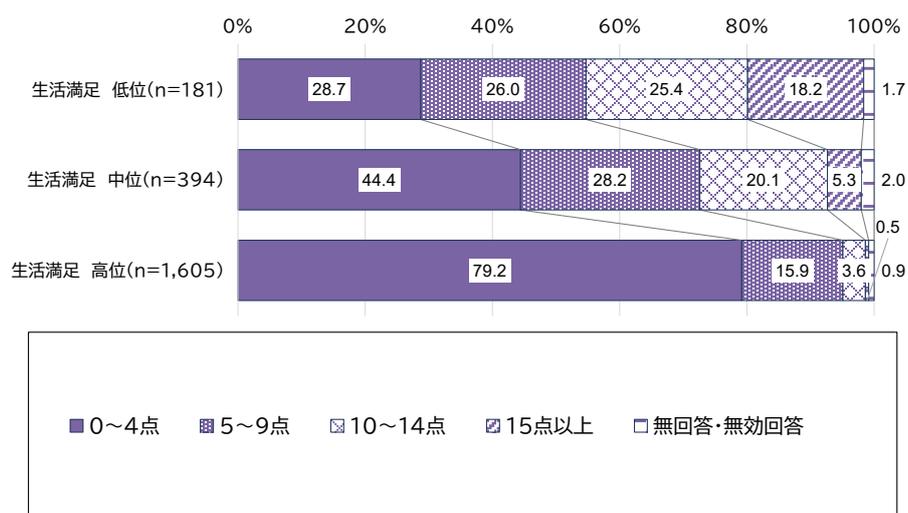
図表 2-112 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-113 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 2-114 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



カ 生活満足度

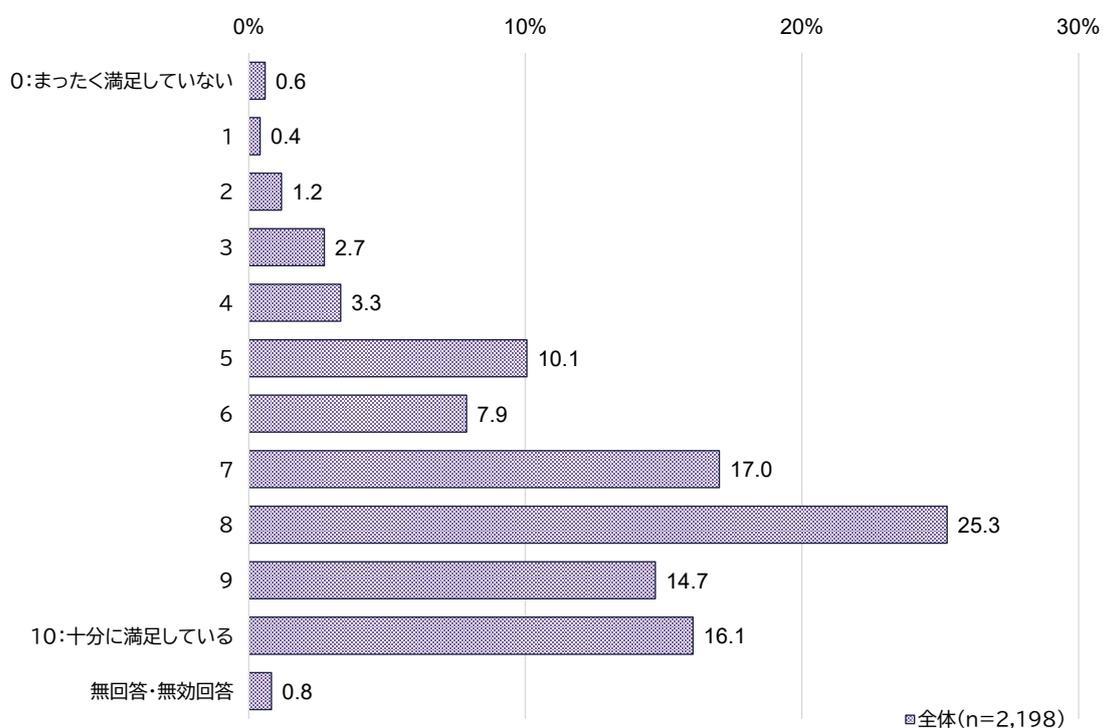
最近の生活の満足度についてみると、全体では、「0～4」と回答した割合の合計は 8.2%、「5～6」と回答した割合の合計は 18.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 73.1%であった。

困窮層(n=59)では、「0～4」と回答した割合の合計は 56.0%、「5～6」と回答した割合の合計は 22.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 20.4%であった。

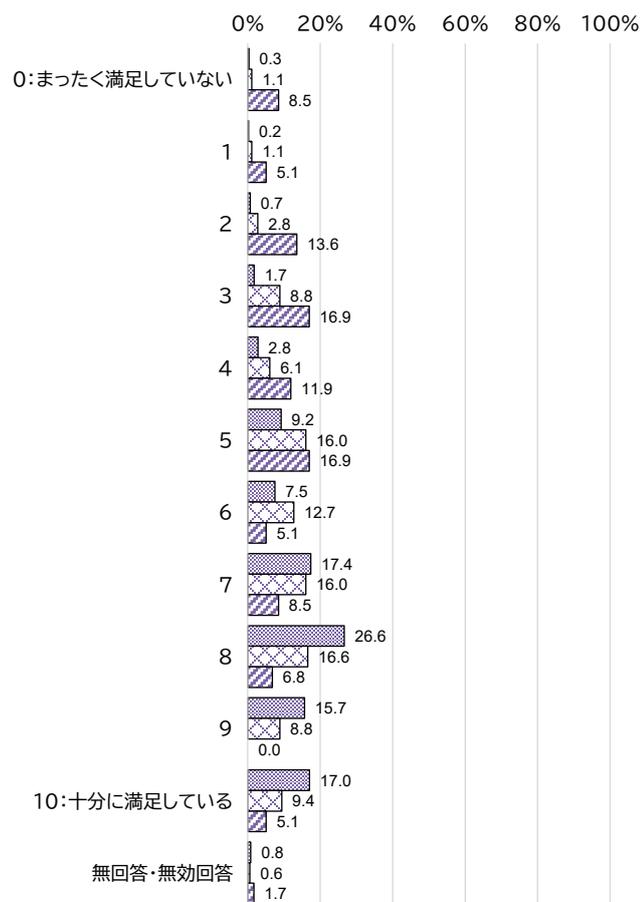
【5 歳児保護者問 23】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

図表 2-115 最近の生活の満足度 (単純集計)



図表 2-116 最近の生活の満足度（生活困難層別クロス集計）



一般層(n=1,956)
 周辺層(n=181)
 困窮層(n=59)

キ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」についてみると、全体では、「いない」が 4.0%であった。

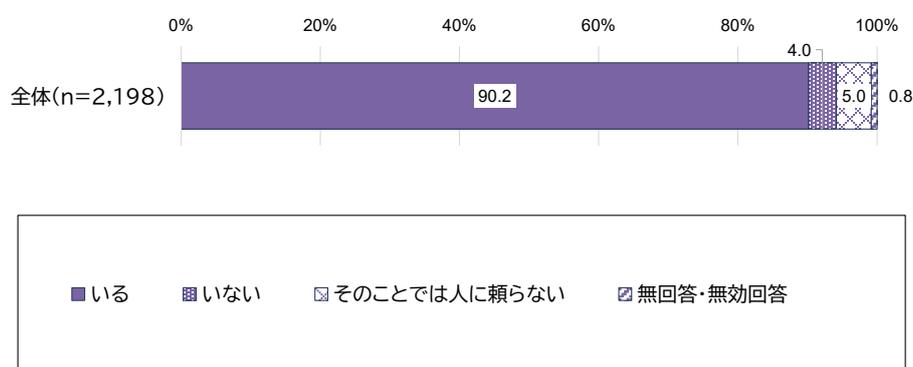
困窮層(n=59)では、「いない」が 13.6%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 15.5%であった。

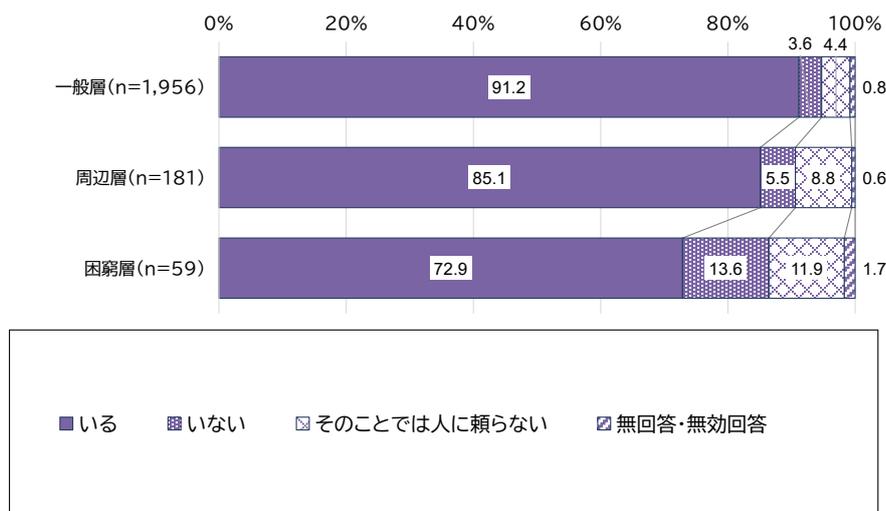
【5 歳児保護者問 24A】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

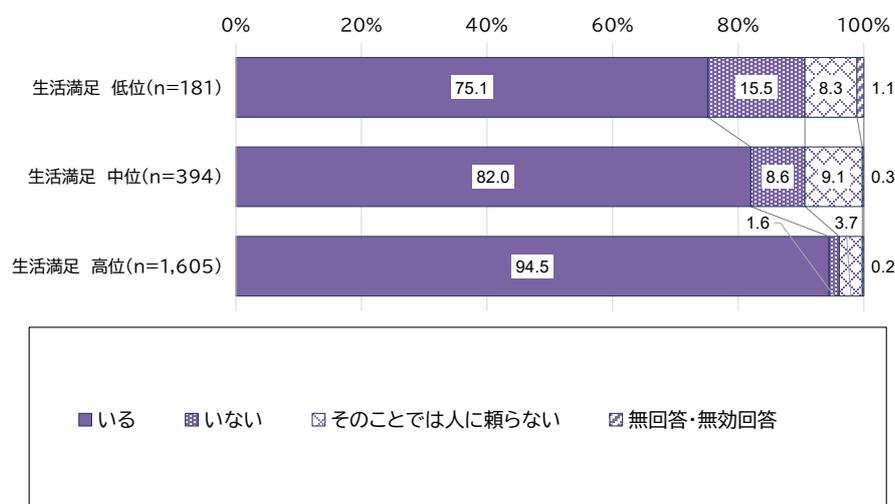
図表 2-117 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無 (単純集計)



図表 2-118 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-119 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)

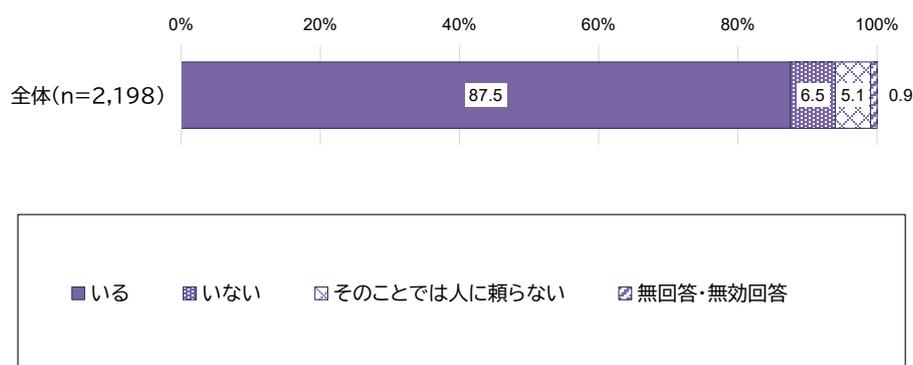


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」についてみると、全体では、「いない」が 6.5% であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が 18.6% であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 22.1% であった。

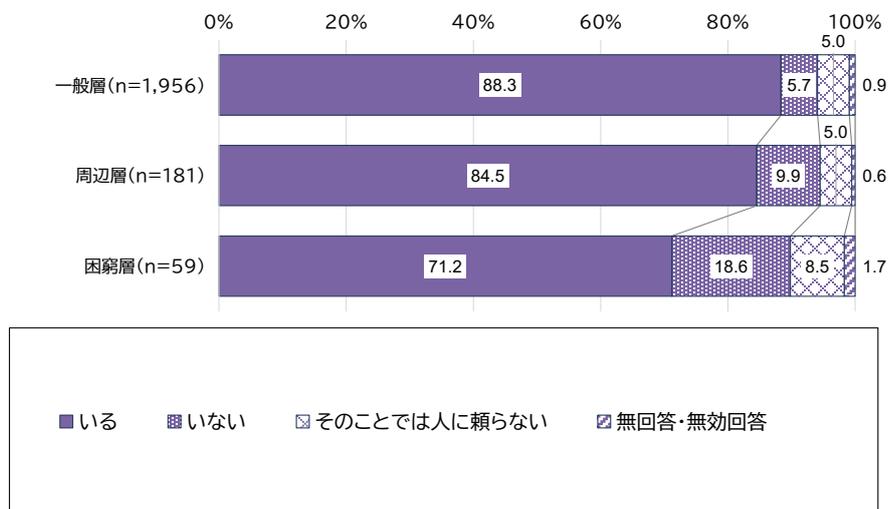
【5 歳児保護者問 24B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

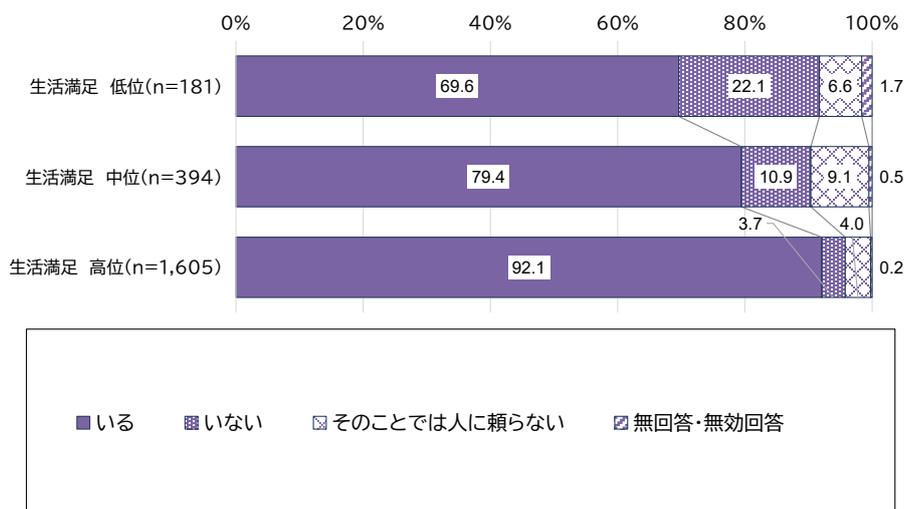
図表 2-120 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無 (単純集計)



図表 2-121 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-122 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)



「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」についてみると、全体では、「いない」が12.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が40.0%であった。

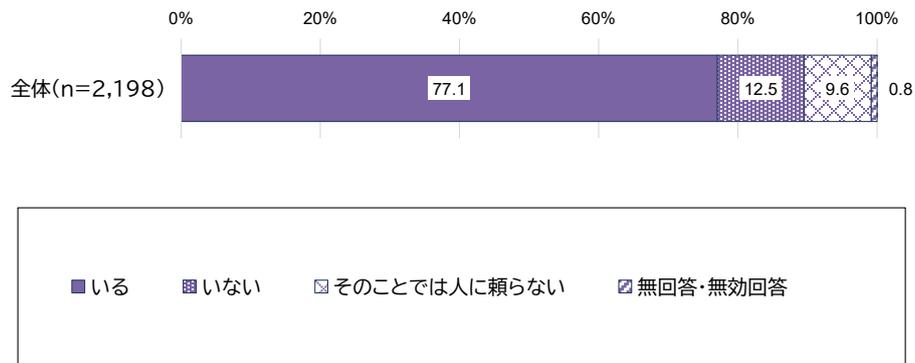
困窮層(n=59)では、「いない」が47.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「いない」が35.4%であった。

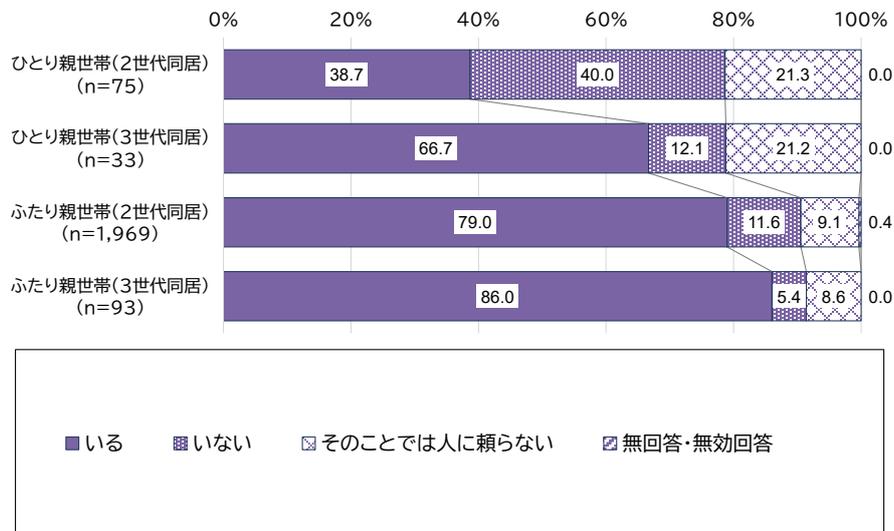
【5歳児保護者問 24C】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

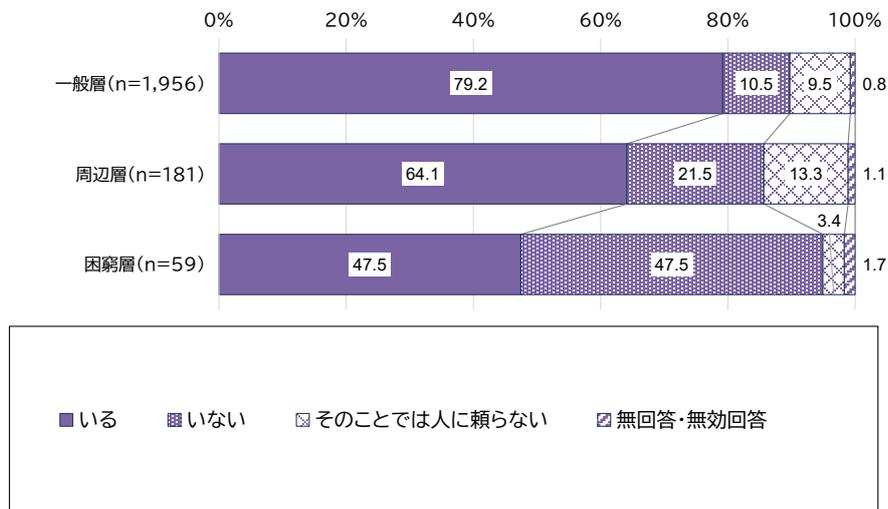
図表 2-123 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無 (単純集計)



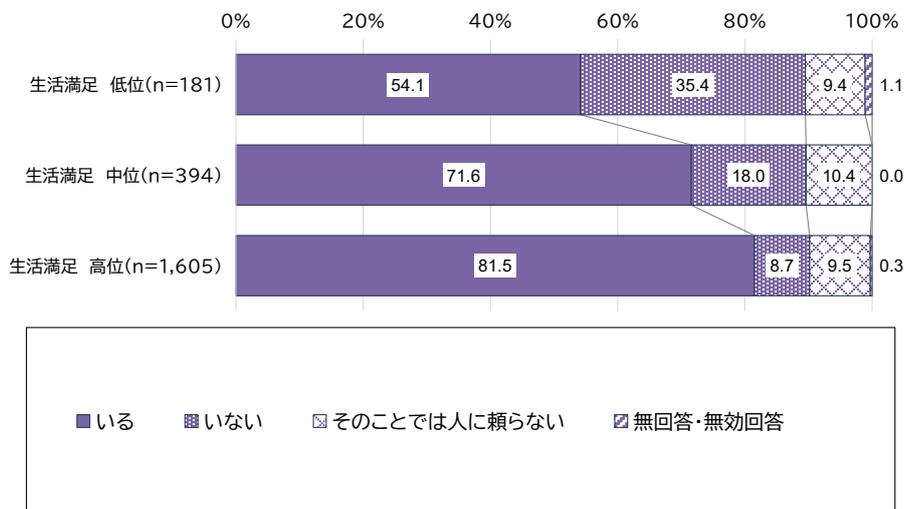
図表 2-124 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-125 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-126 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)

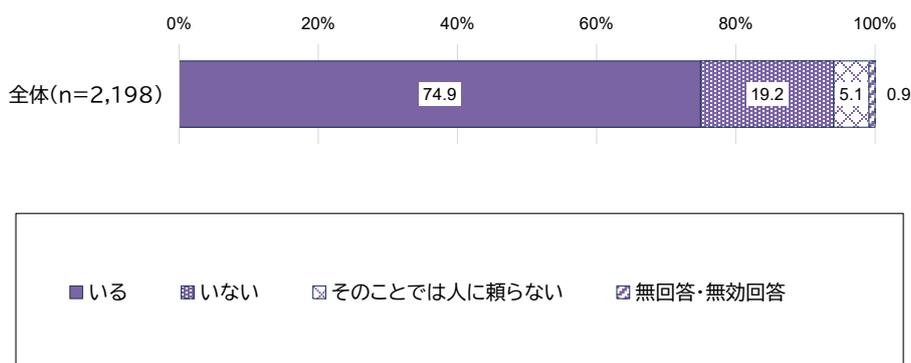


「留守を頼める人」についてみると、全体では「いない」が19.2%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が34.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が40.7%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が37.6%であった。

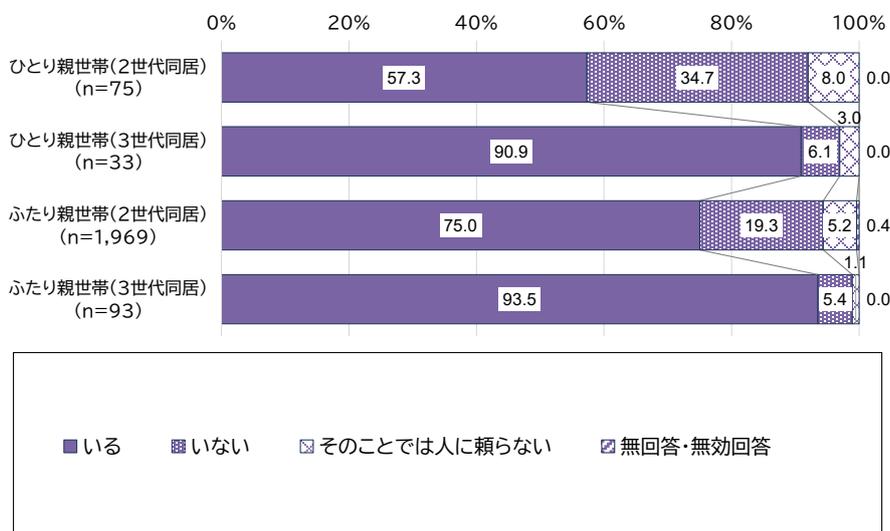
【5 歳児保護者問 24D】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

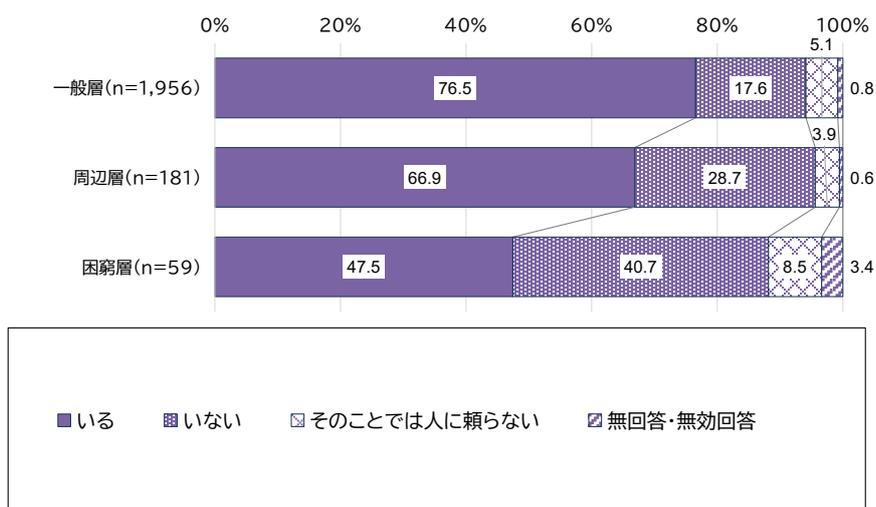
図表 2-127 「留守を頼める人」の有無 (単純集計)



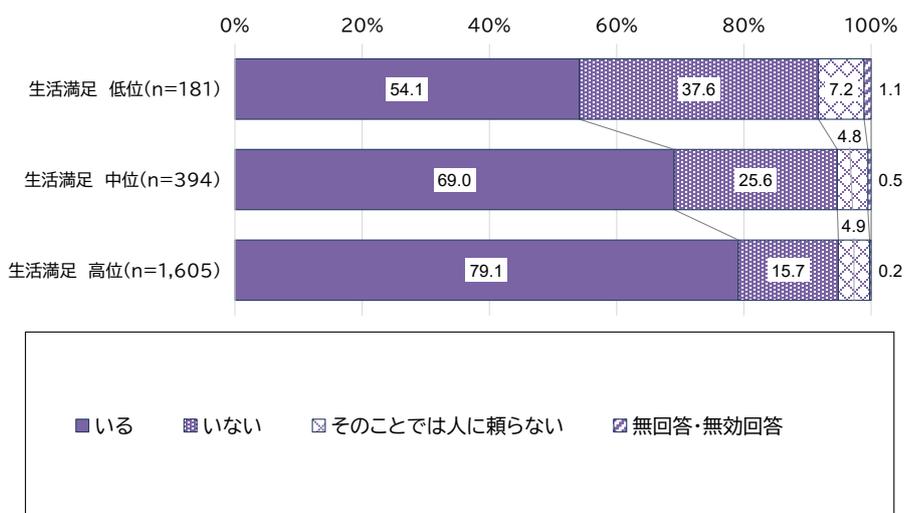
図表 2-128 「留守を頼める人」の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-129 「留守を頼める人」の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-130 「留守を頼める人」の有無（生活満足度別クロス集計）

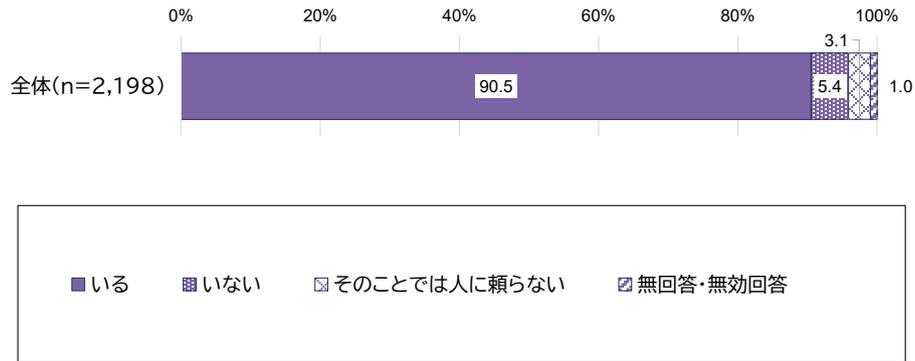


「重要な事柄の相談を出来る人」についてみると、全体では、「いない」が 5.4%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が 27.1%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 21.5%であった。

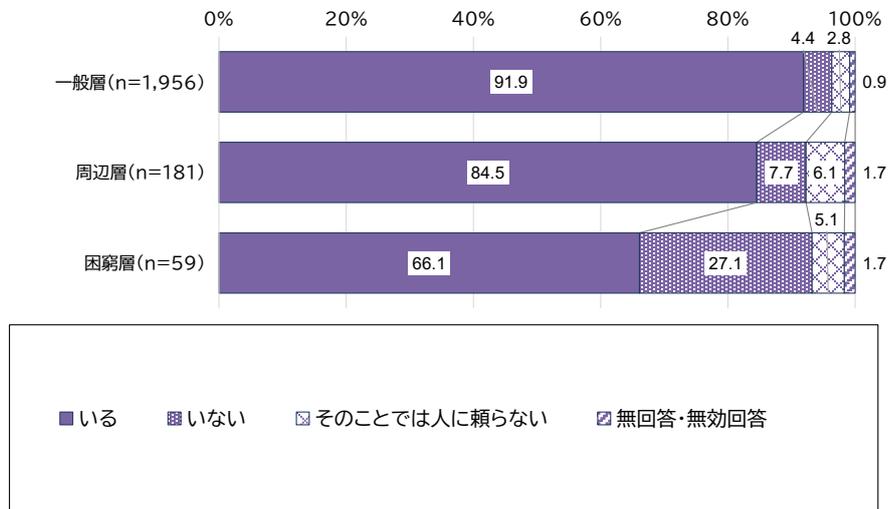
【5 歳児保護者問 24E】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

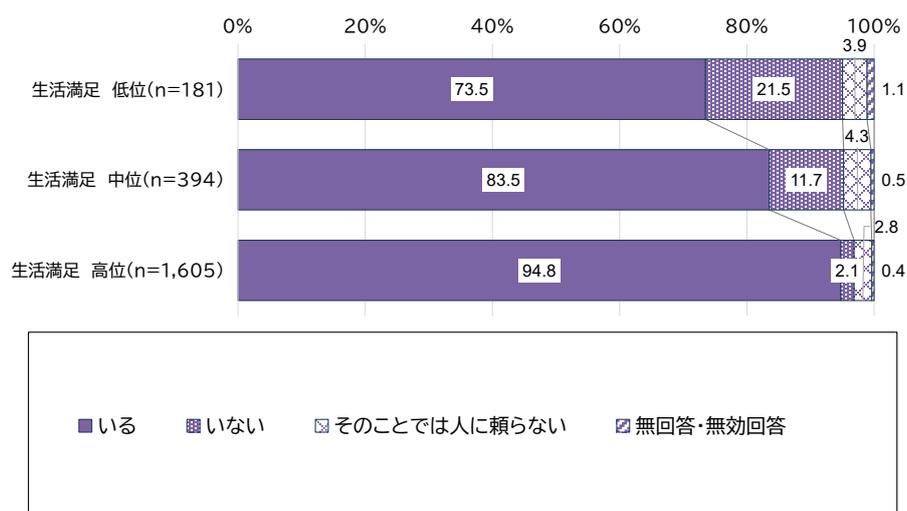
図表 2-131 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無 (単純集計)



図表 2-132 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-133 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無（生活満足度別クロス集計）

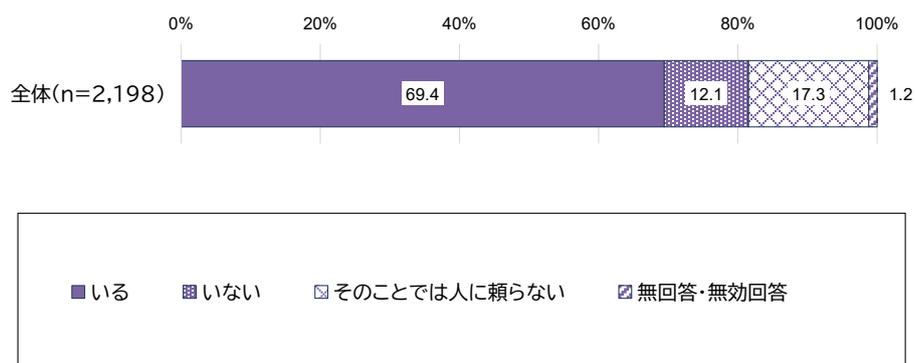


「いざという時のお金の援助を頼める人」についてみると、「いない」が12.1%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が34.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が54.2%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が39.2%であった。

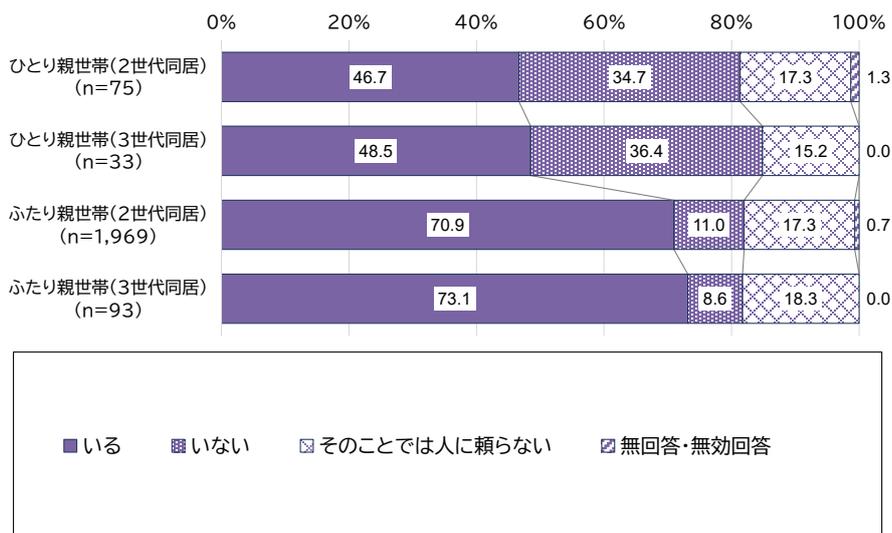
【5 歳児保護者問 24F】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

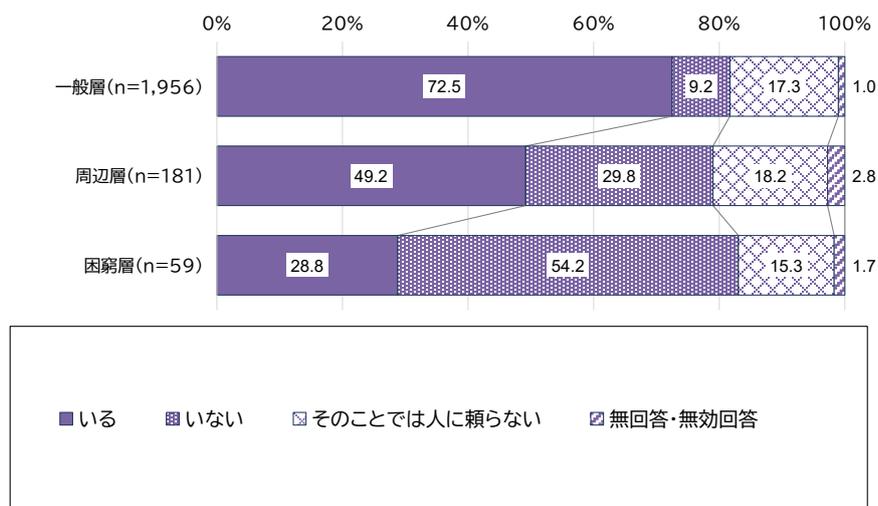
図表 2-134 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（単純集計）



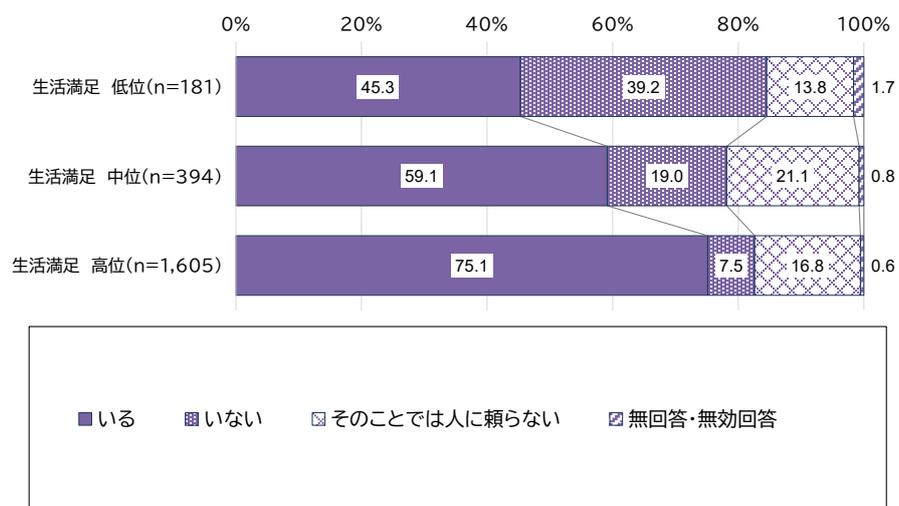
図表 2-135 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-136 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-137 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（生活満足度別クロス集計）



ク 相談相手・相談先

相談相手・相談先についてみると、全体では、「配偶者・パートナー」が 84.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が 71.0%、「友人・知人」が 58.3%と続いた。また、「相談できる相手がない」は 1.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「自分や配偶者の親」が 60.0%と最も多く、次いで、「友人・知人」が 58.7%、「きょうだい・その他の親戚」が 46.7%との回答であった。また、「相談できる相手がない」は 6.7%であった。

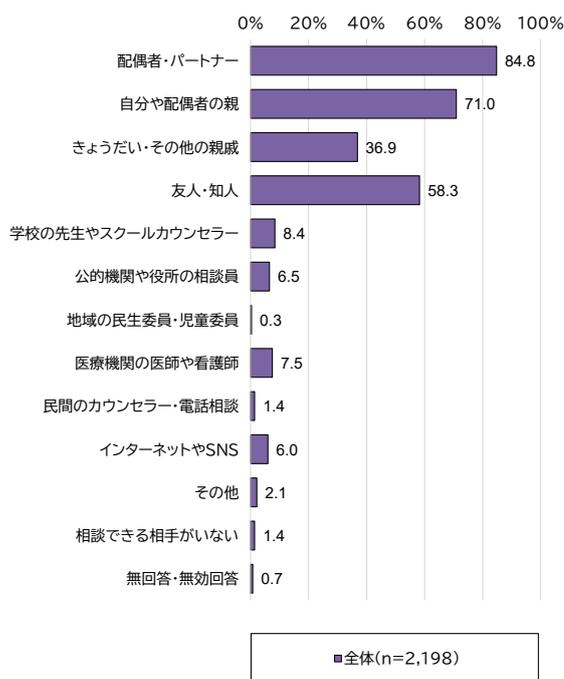
困窮層(n=59)では、「配偶者・パートナー」が 50.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が 45.8%、「友人・知人」が 40.7%の順となった。また、「相談できる相手がない」は 8.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「配偶者・パートナー」が 58.6%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 55.2%、「友人・知人」が 46.4%であった。また、「相談できる相手がない」は 7.2%であった。

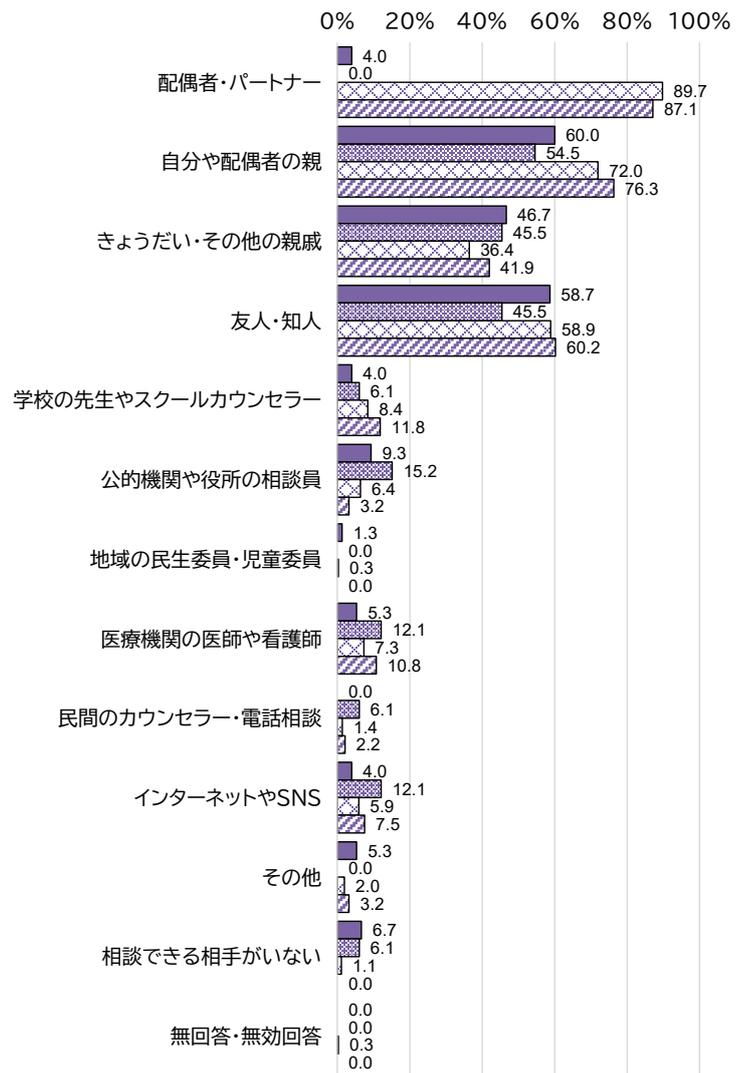
【5 歳児保護者問 25】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 2-138 相談相手・相談先 (単純集計)

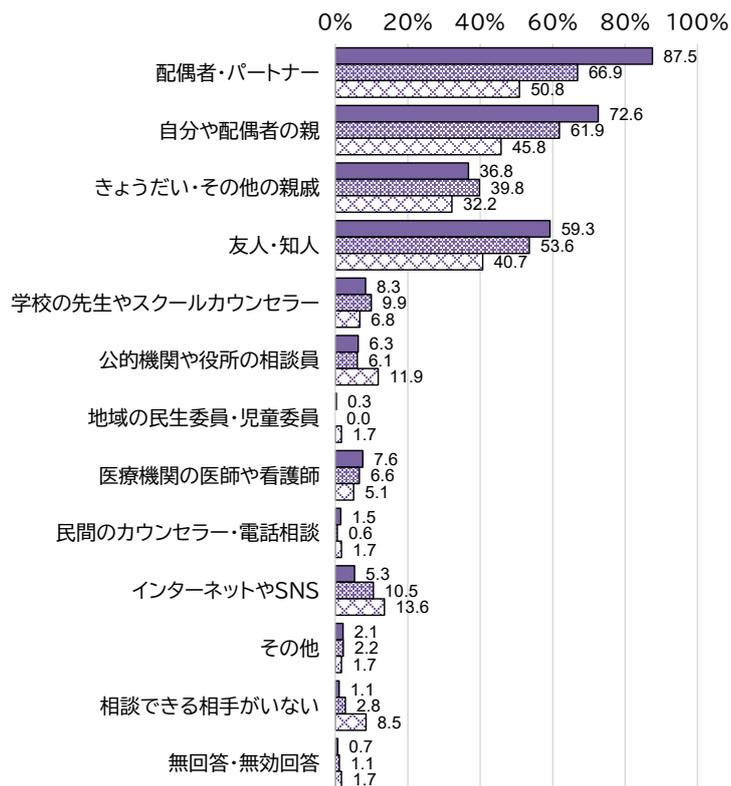


図表 2-139 相談相手・相談先（世帯タイプ別クロス集計）



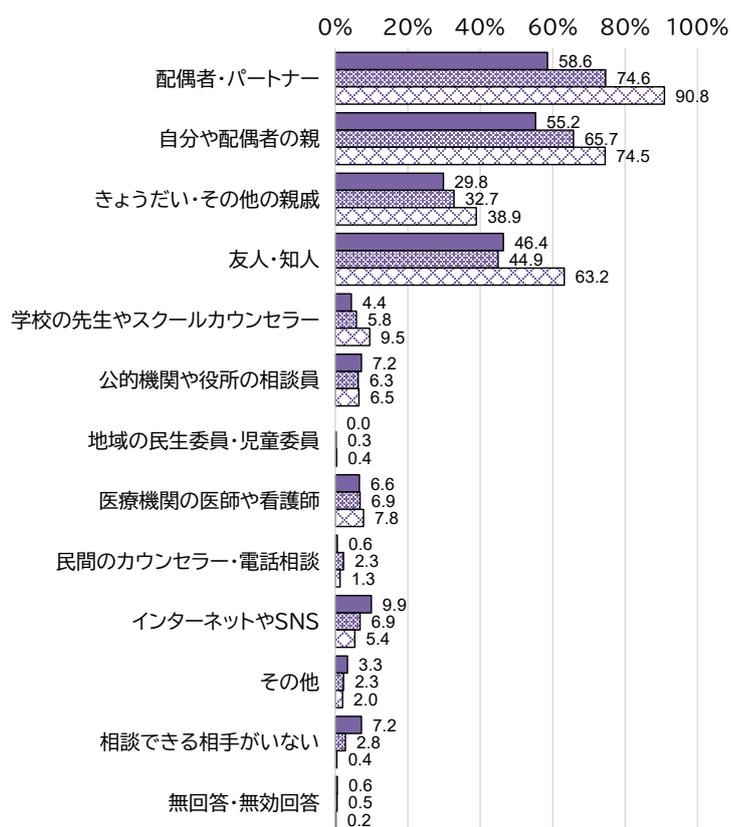
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)
 ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969)
 ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-140 相談相手・相談先（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,956) ▨周辺層(n=181) ▩困窮層(n=59)

図表 2-141 相談相手・相談先（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=181) ■生活満足 中位(n=394) □生活満足 高位(n=1,605)

(5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況についてみると、全体では、「普通」が 53.7%と最も多く、以下、「やや苦しい」が 19.4%、「ややゆとりがある」が 16.5%となっていた。また、「大変苦しい」は 5.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「普通」が 36.0%と最も多く、次いで、「やや苦しい」が 32.0%、「大変苦しい」が 24.0%と続いた。

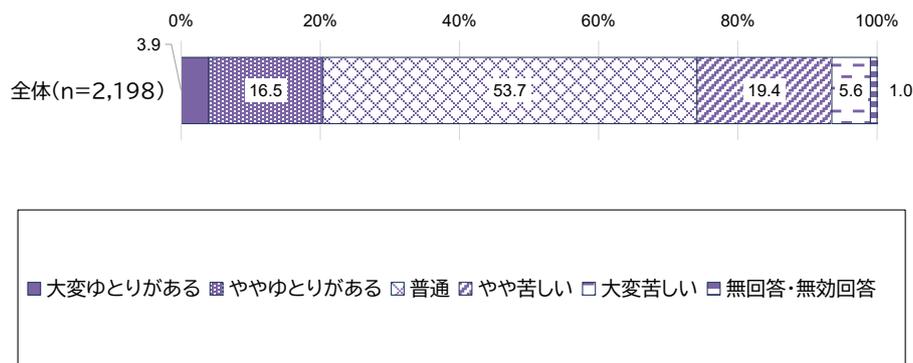
困窮層(n=59)では、「大変苦しい」が 67.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 27.1%、「普通」が 1.7%との回答であった。

生活満足 低位(n=181)では、「やや苦しい」が 34.8%と最も多く、「大変苦しい」が 32.6%、「普通」が 27.1%であった。

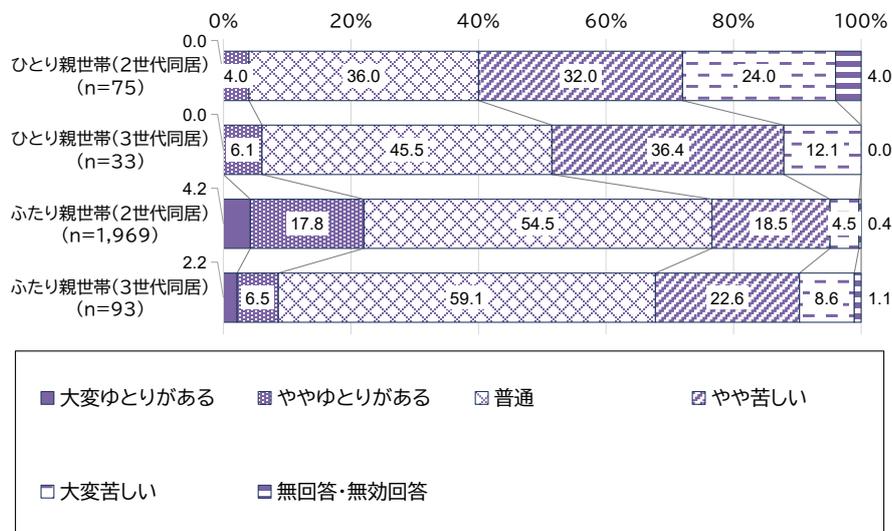
【5 歳児保護者問 26】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

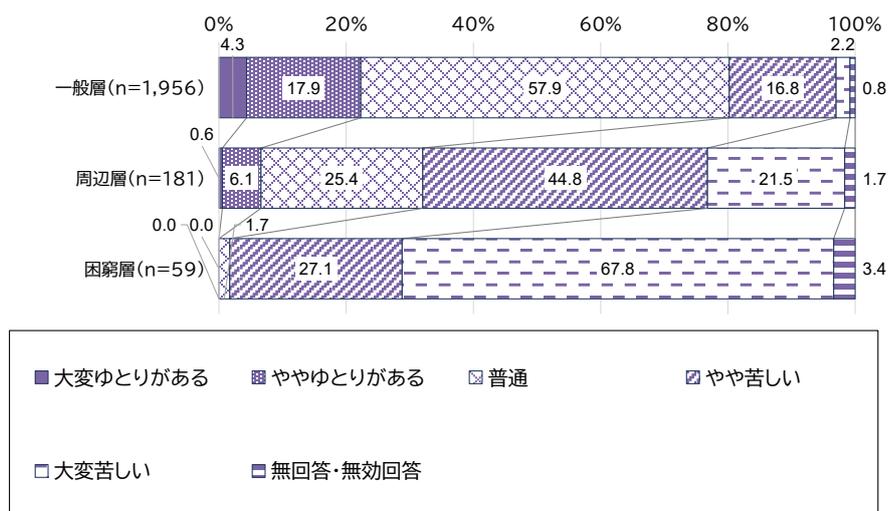
図表 2-142 現在の暮らしの状況 (単純集計)



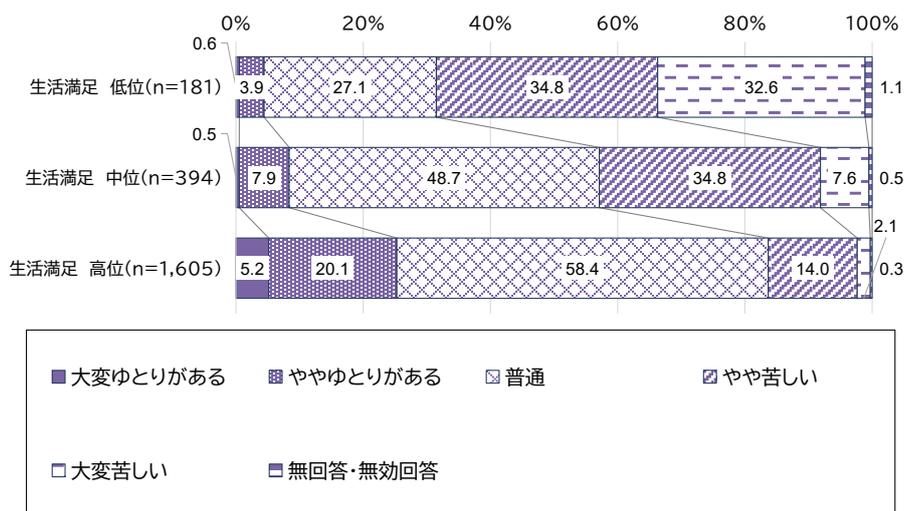
図表 2-143 現在の暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-144 現在の暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-145 現在の暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



イ 家計の状況

家庭の家計についてみると、全体では、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 43.9%と最も多くなっており、以下、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 29.8%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 11.5%と続いた。

前回調査と比較すると、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」と回答した割合は、今回調査は 43.9%、前回調査は 36.7%で、7.2 ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 42.7%と最も多く、以下、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 21.3%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 12.0%であった。

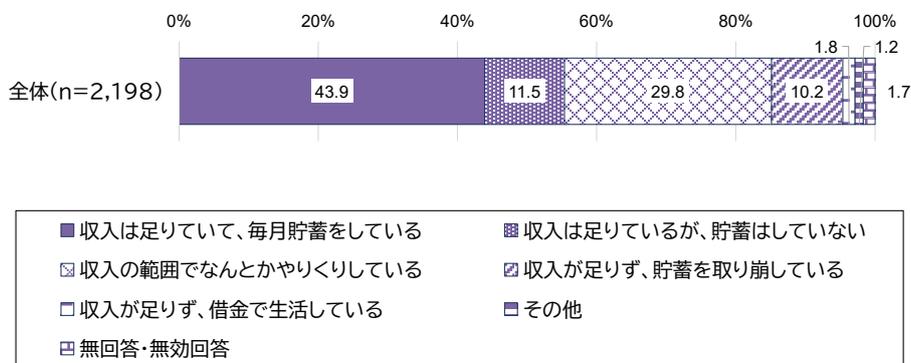
困窮層(n=59)では、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 35.6%と最も多く、次いで、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 30.5%、「収入が足りず、借金で生活している」が 25.4%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 34.3%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 28.2%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 18.2%となっていた。

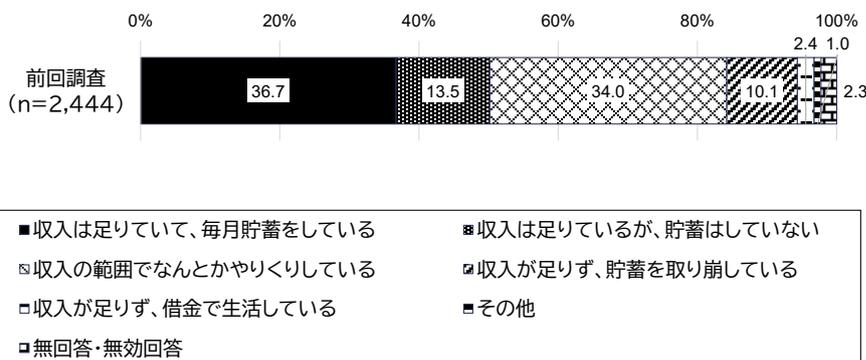
【5 歳児保護者問 27】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

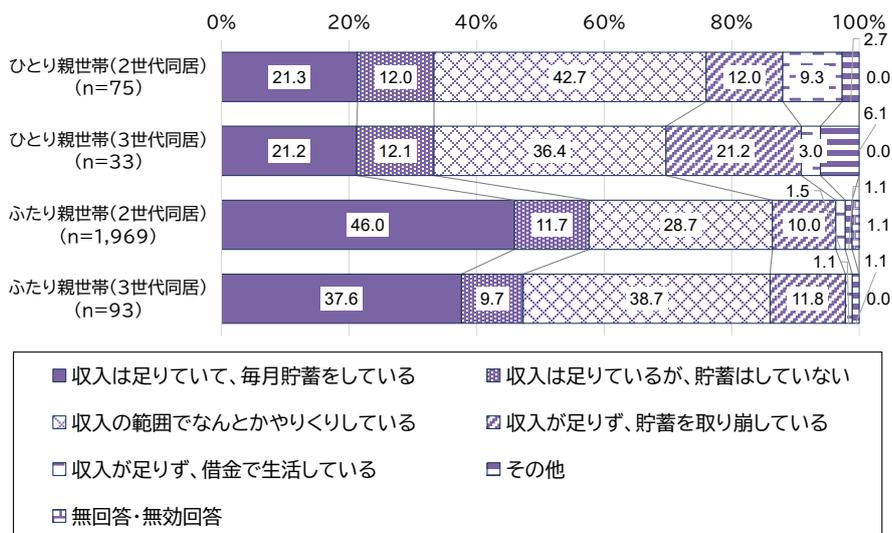
図表 2-146 家庭の家計 (単純集計)



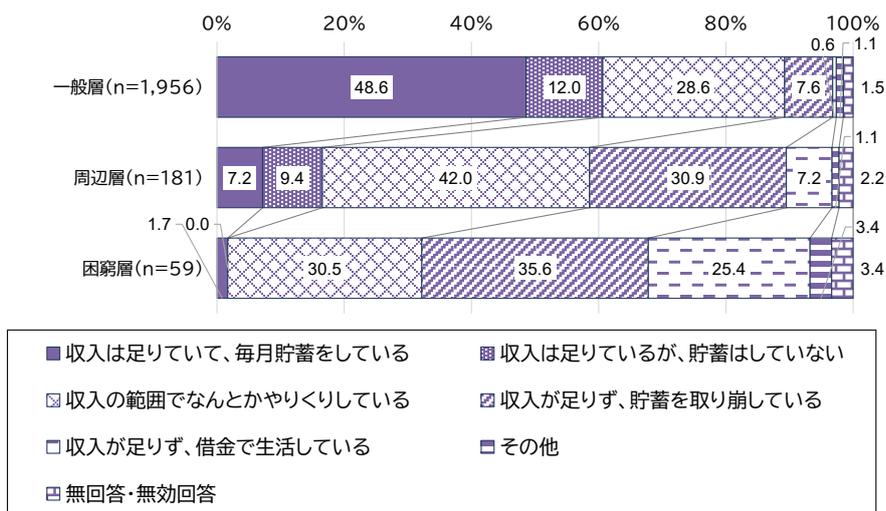
図表 2-147 家庭の家計 (前回調査 単純集計)



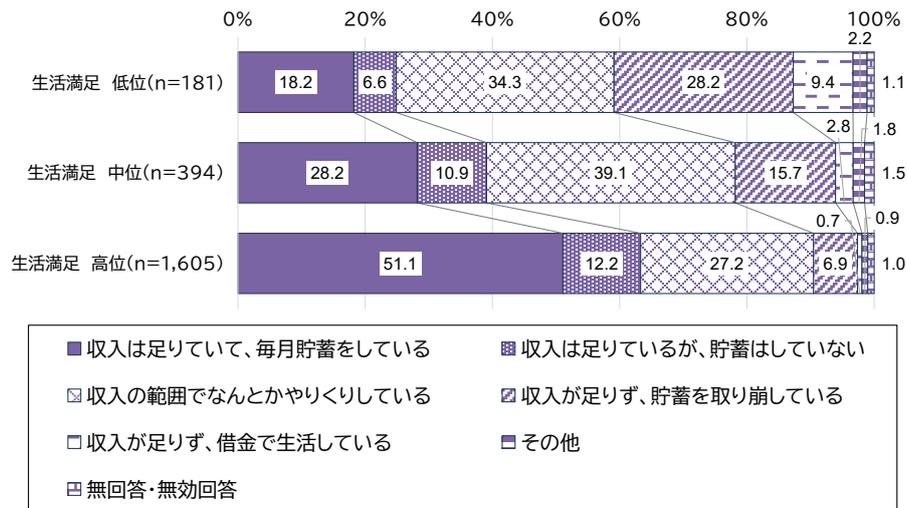
図表 2-148 家庭の家計（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-149 家庭の家計（生活困難層別クロス集計）



図表 2-150 家庭の家計（生活満足度別クロス集計）



ウ 食料が買えない経験

お金が足りなくて食料が買えなかった経験についてみると、全体では、「まったくなかった」が 91.9%、「まれにあった」が 5.2%、「ときどきあった」が 1.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「まったくなかった」が 78.7%と最も多くなっており、次いで、「まれにあった」が 16.0%、「ときどきあった」が 4.0%と続いた。

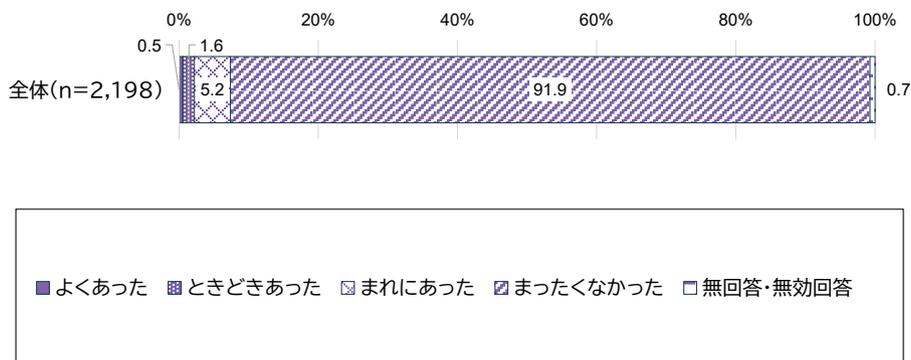
困窮層(n=59)では、「まれにあった」が 39.0%と最も多く、以下、「まったくなかった」が 27.1%、「ときどきあった」が 25.4%と続いた。

生活満足 低位(n=181)では、「まったくなかった」が 69.6%と最も多く、「まれにあった」が 17.7%、「ときどきあった」が 7.7%との回答であった。

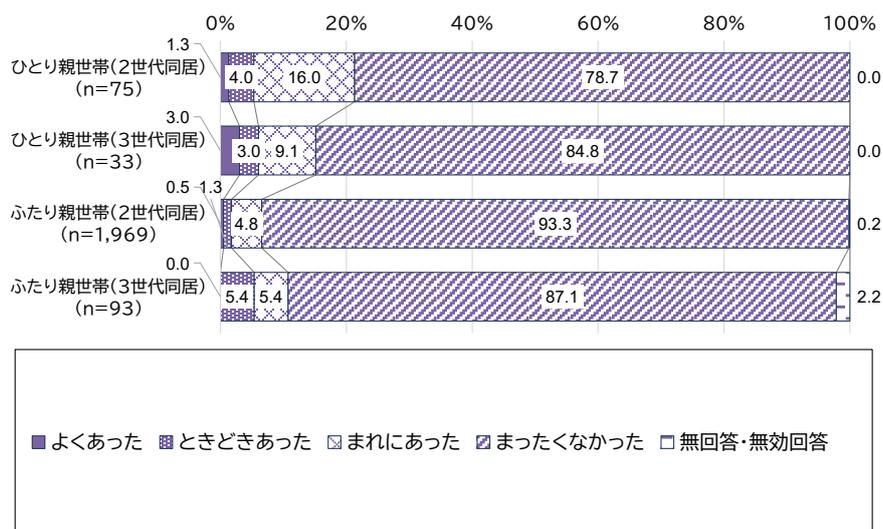
【5 歳児保護者問 28】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

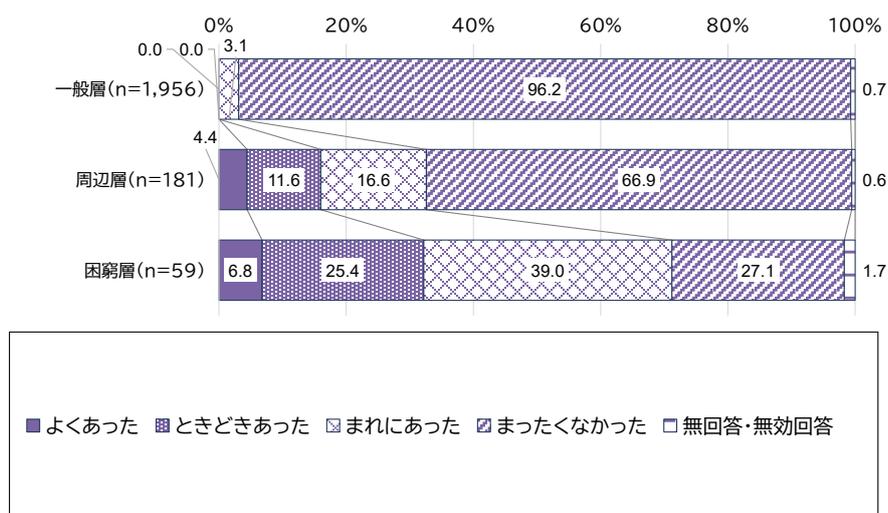
図表 2-151 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（単純集計）



図表 2-152 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

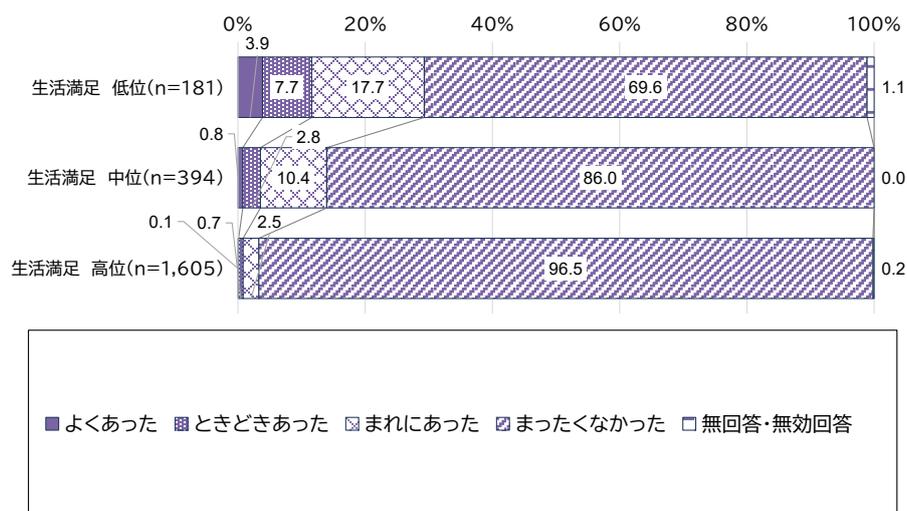


図表 2-153 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁶



¹⁶ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-154 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、全体では、「まったくなかった」が 88.8%と最も多く、「まれにあった」が 5.6%、「ときどきあった」が 2.7%であった。

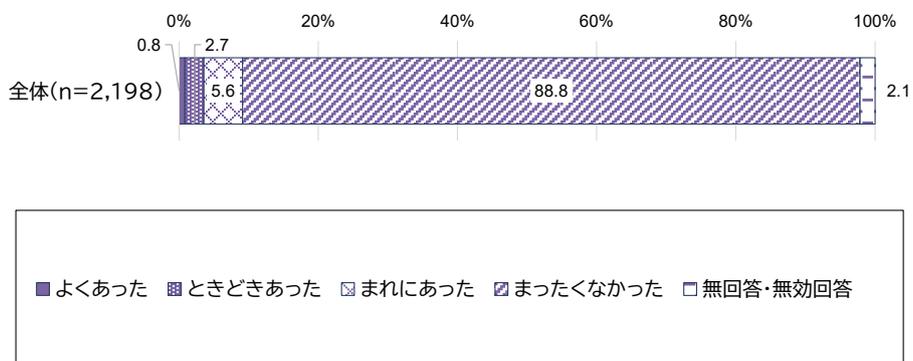
困窮層(n=59)では、「ときどきあった」が 47.5%と最も多くなっており、以下、「まれにあった」が 25.4%、「まったくなかった」が 13.6%と続いた。

生活満足 低位(n=181)では、「まったくなかった」が 63.5%と最も多く、次いで、「まれにあった」が 16.0%、「ときどきあった」が 12.7%であった。

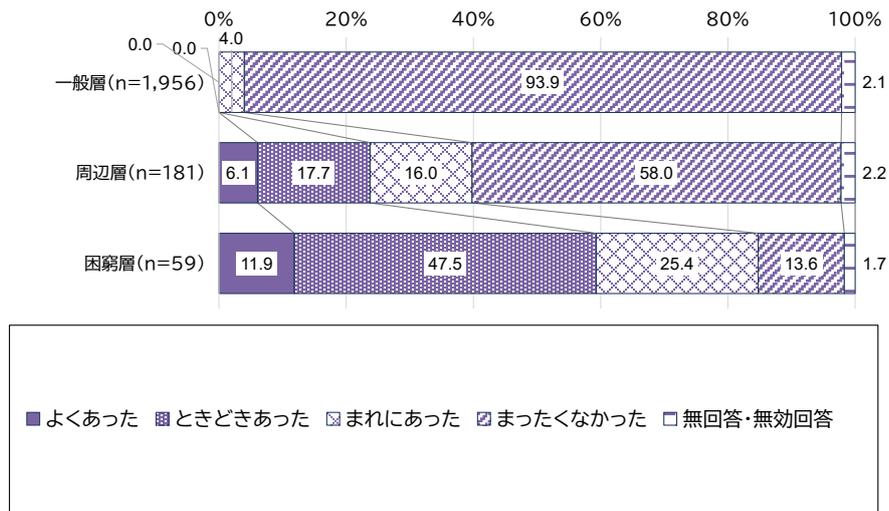
【5 歳児保護者問 29】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

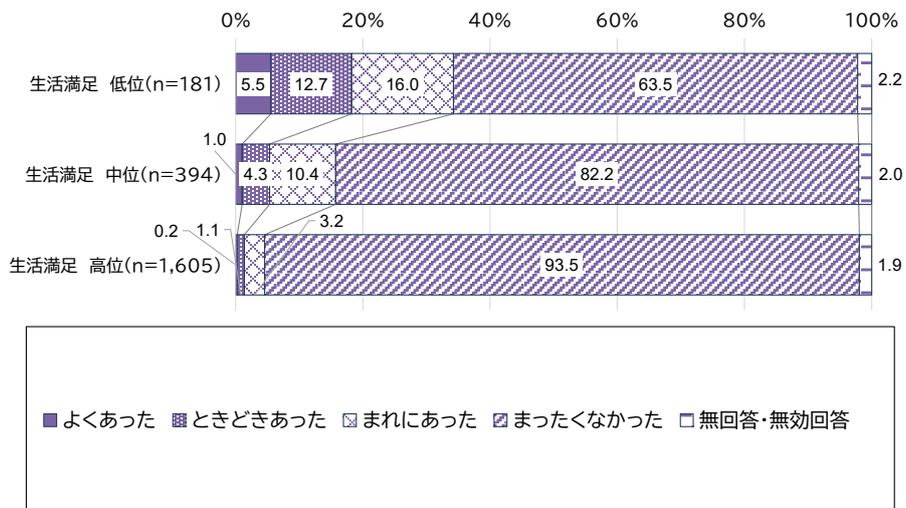
図表 2-155 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（単純集計）



図表 2-156 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁷



図表 2-157 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



¹⁷ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

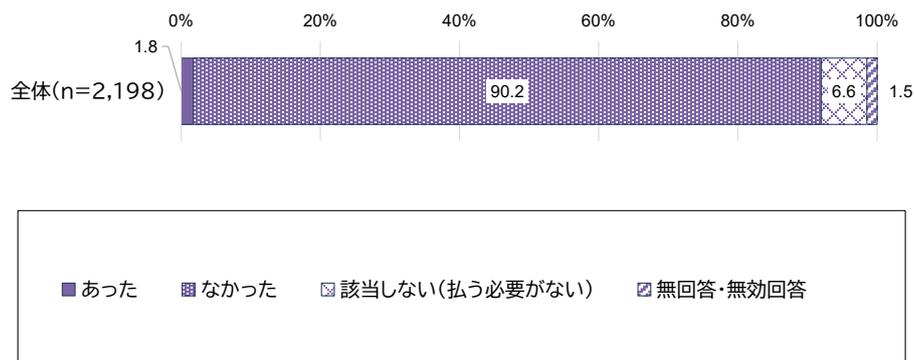
オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」についてみると「あった」が1.8%であった。

【5歳児保護者問 30A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-158 「電話料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

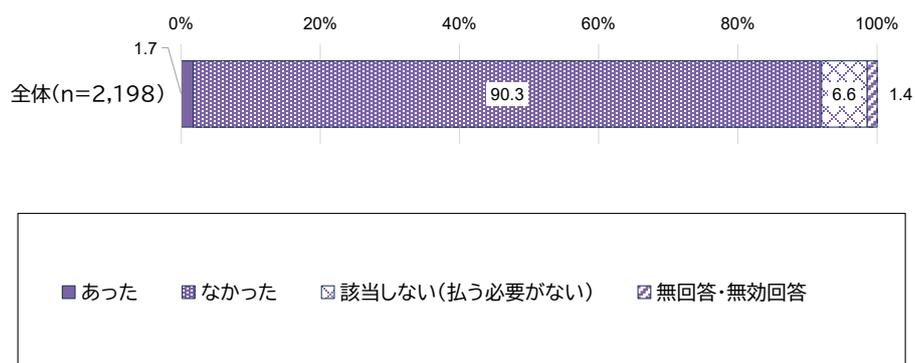


「電気料金」についてみると、「あった」が1.7%となっていた。

【5歳児保護者問 30B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-159 「電気料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

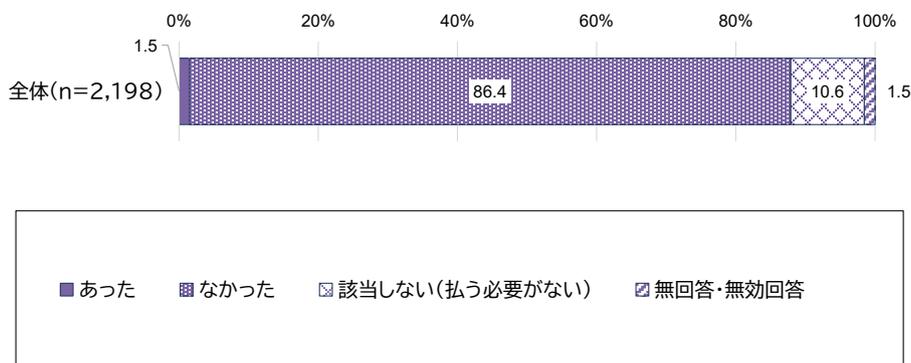


「ガス料金」についてみると、「あった」が1.5%であった。

【5歳児保護者問 30C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-160 「ガス料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

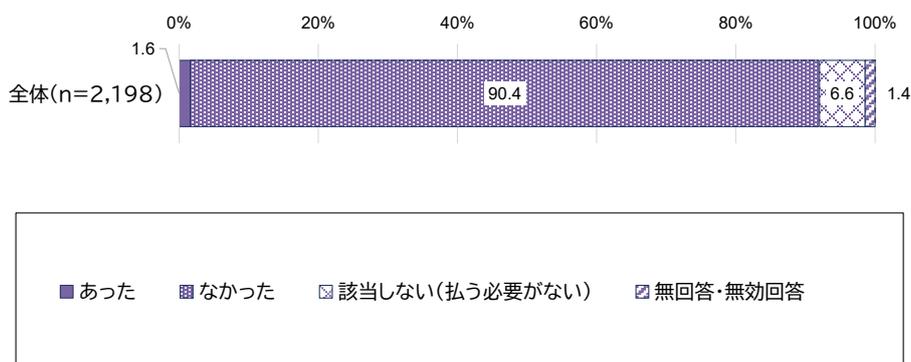


「水道料金」についてみると、「あった」が1.6%であった。

【5歳児保護者問 30D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-161 「水道料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

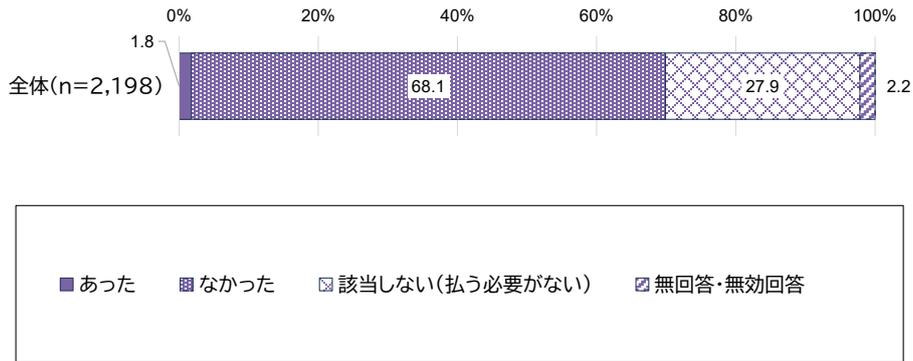


「家賃」についてみると、全体では、「あった」が1.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あった」が12.0%であった。
 困窮層(n=59)では、「あった」が33.9%であった。

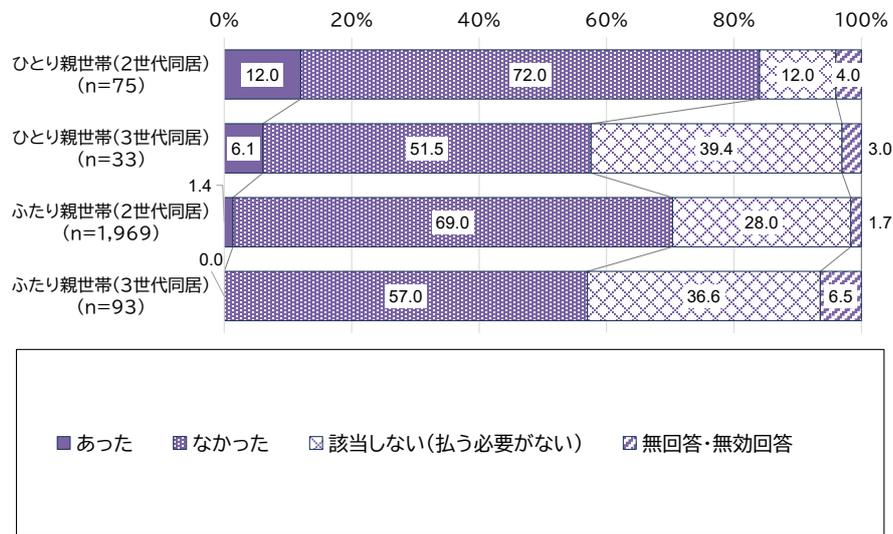
【5歳児保護者問 30E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

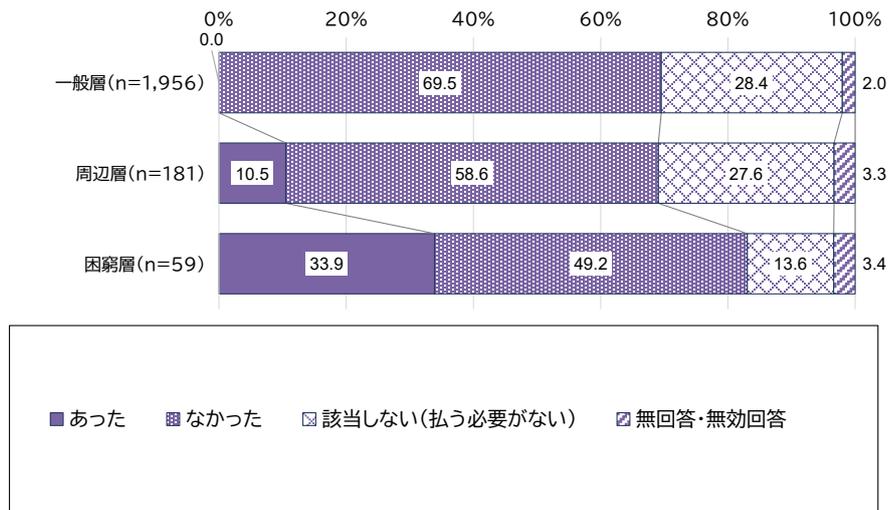
図表 2-162 「家賃」が支払えなかった経験 (単純集計)



図表 2-163 「家賃」が支払えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-164 「家賃」が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁸

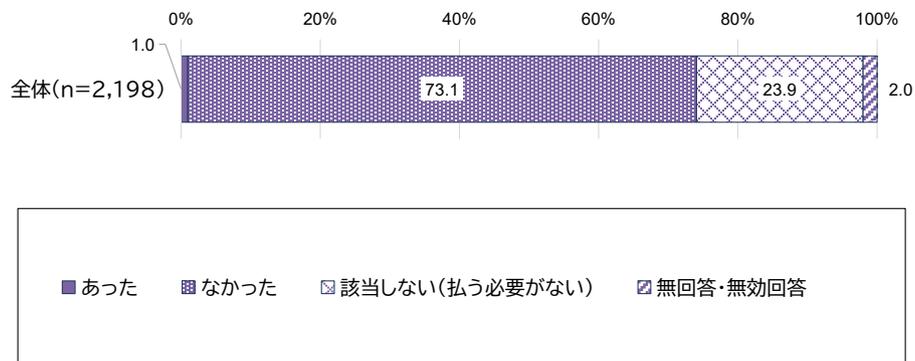


「住宅ローン」についてみると、「あった」が 1.0%であった。

【5 歳児保護者問 30F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-165 「住宅ローン」が支払えなかった経験（単純集計）



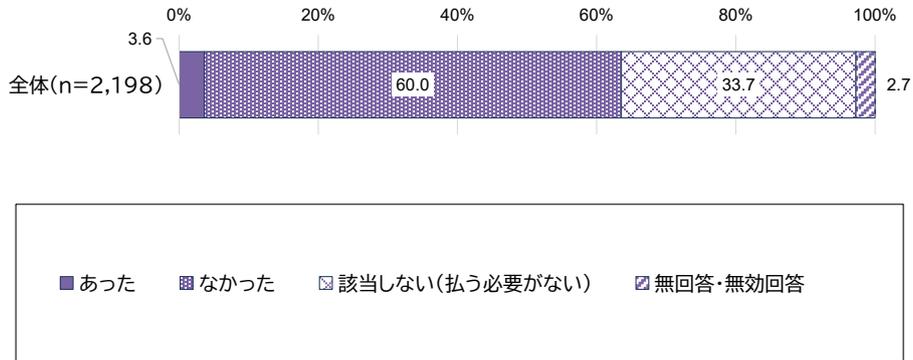
¹⁸ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

「その他の債務」についてみると、「あった」が 3.6%であった。

【5 歳児保護者問 30G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-166 「その他の債務」が支払えなかった経験 (単純集計)



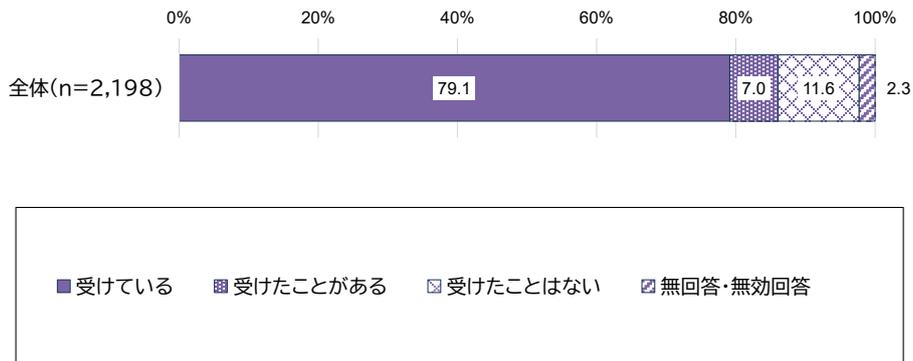
カ 手当・援助等の有無

「児童手当」についてみると、「受けている」が 79.1%であった。

【5 歳児保護者問 31A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-167 「児童手当」の受取状況 (単純集計)

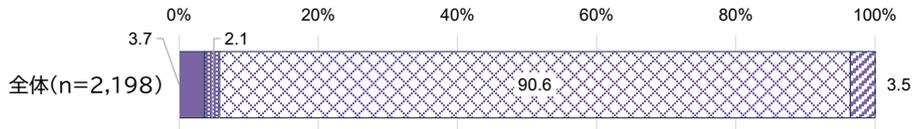


「就学援助」についてみると、全体では、「受けている」が 3.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が 28.8%であった。

【5 歳児保護者問 31B】

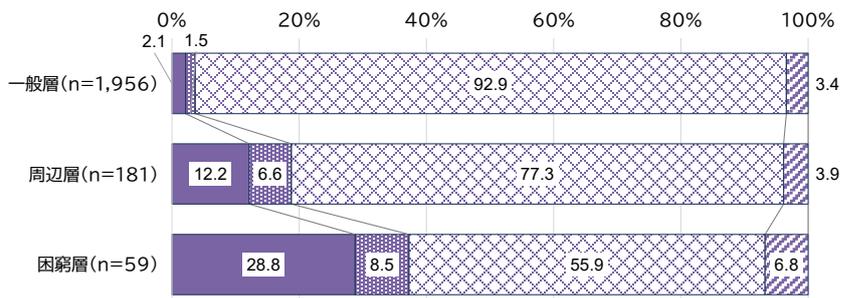
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-168 「就学援助」の受取状況 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある ■ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

図表 2-169 「就学援助」の受取状況 (生活困難層別クロス集計)



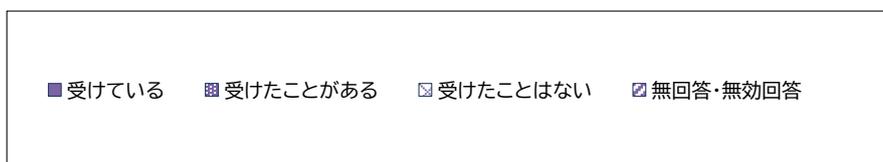
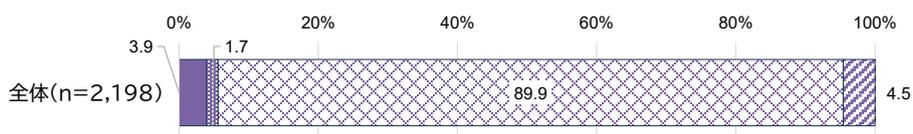
■ 受けている ■ 受けたことがある ■ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「児童扶養手当」についてみると、全体では、「受けている」が3.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「受けている」が28.0%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が16.9%であった。

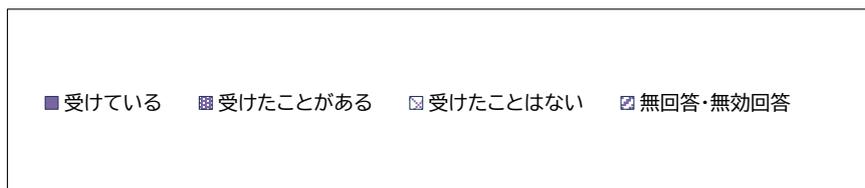
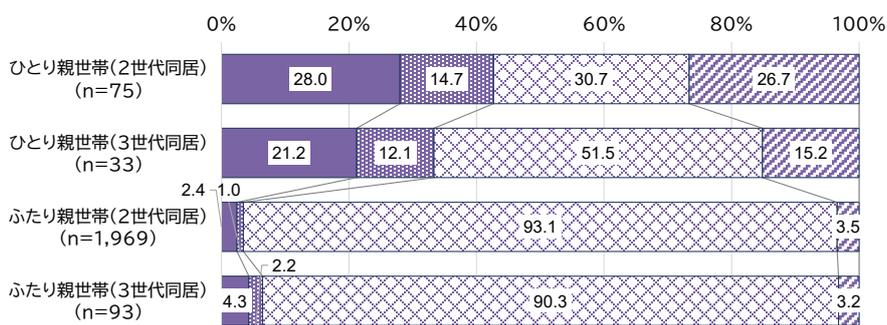
【5歳児保護者問 31C】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

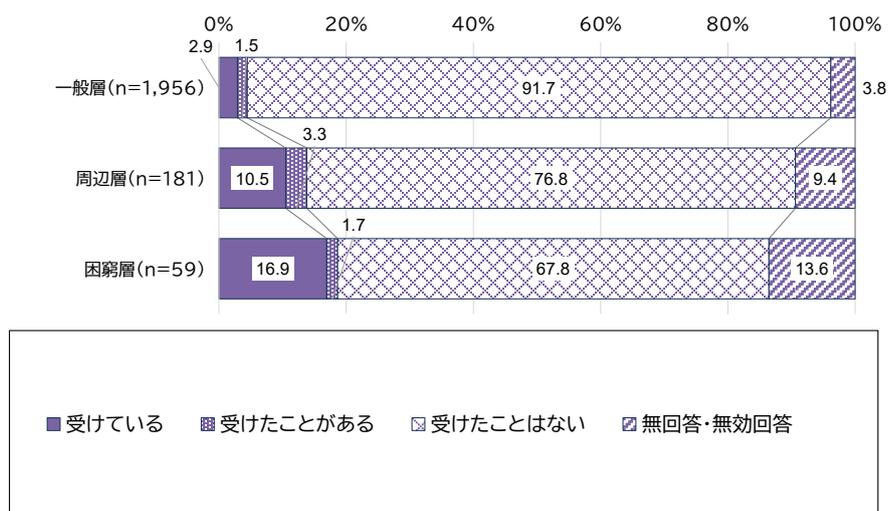
図表 2-170 「児童扶養手当」の受取状況 (単純集計)



図表 2-171 「児童扶養手当」の受取状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-172 「児童扶養手当」の受取状況（生活困難層別クロス集計）

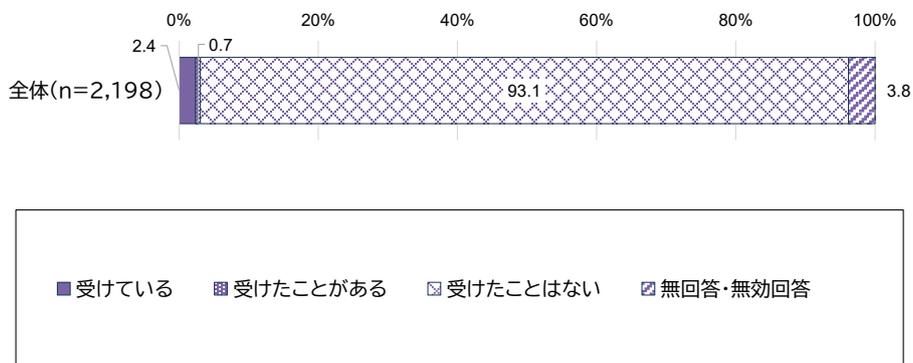


「障がいや難病の手当」についてみると、「受けている」が 2.4%であった。

【5 歳児保護者問 31D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-173 「障がいや難病の手当」の受取状況（単純集計）

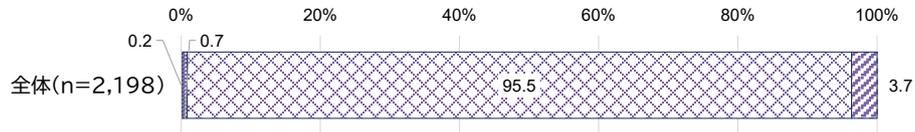


「生活保護」についてみると、「受けている」が0.2%であった。

【5歳児保護者問 31E】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-174 「生活保護」の受取状況 (単純集計)



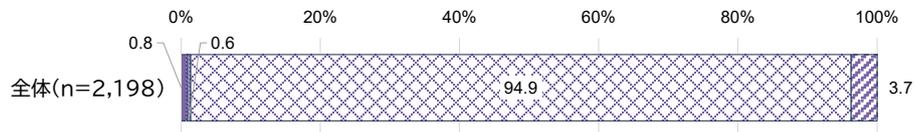
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「公的年金(老齢年金)」についてみると、「受けている」が0.8%であった。

【5歳児保護者問 31F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-175 「公的年金(老齢年金)」の受取状況 (単純集計)



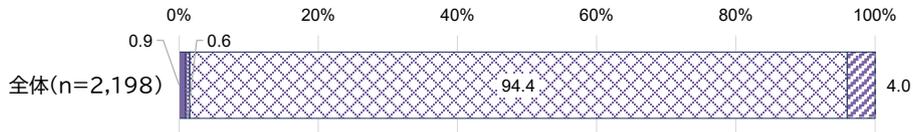
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「公的年金(遺族年金、障害年金)」についてみると、「受けている」が0.9%であった。

【5歳児保護者問 31G】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-176 「公的年金(遺族年金、障害年金)」の受取状況 (単純集計)



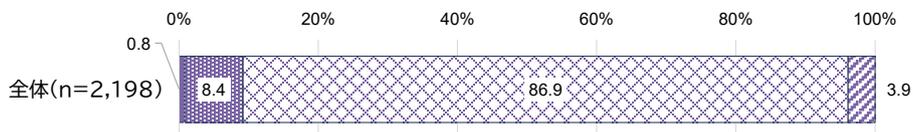
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「雇用保険(失業保険)」についてみると、「受けている」が0.8%であった。

【5歳児保護者問 31H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-177 「雇用保険(失業保険)」の受取状況 (単純集計)



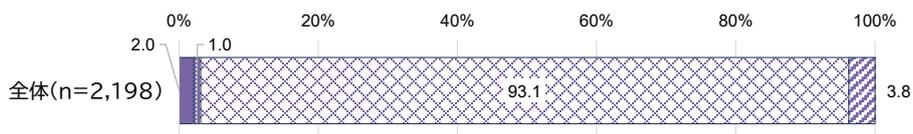
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「養育費」についてみると、全体では、「受けている」が 2.0%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「受けている」が 41.3%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「受けている」が 6.1%であった。

【5 歳児保護者問 31I】

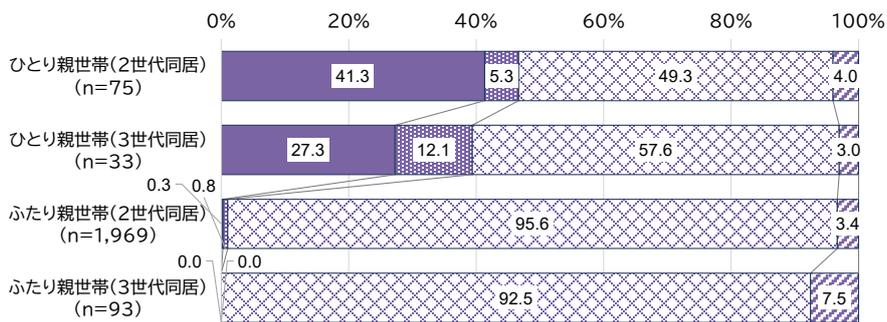
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-178 「養育費」の受取状況 (単純集計)



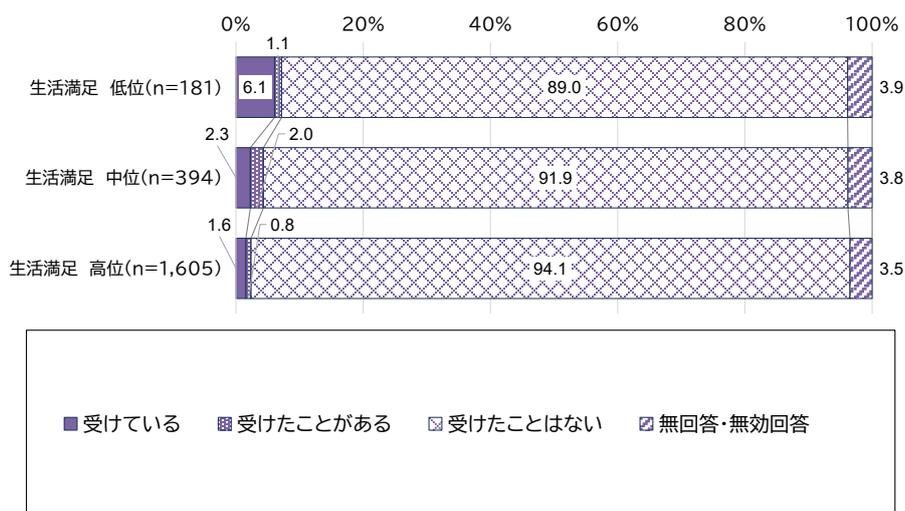
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 2-179 「養育費」の受取状況 (世帯タイプ別クロス集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 2-180 「養育費」の受取状況（生活満足度別クロス集計）

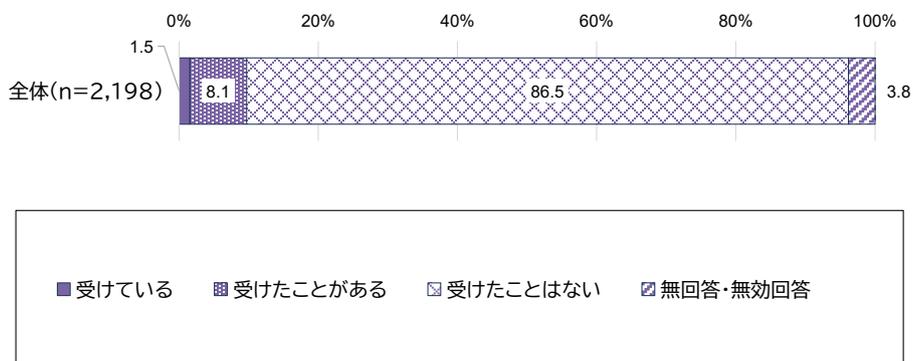


「親・親族からの仕送り」についてみると、全体では、「受けている」が1.5%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が3.4%であった。

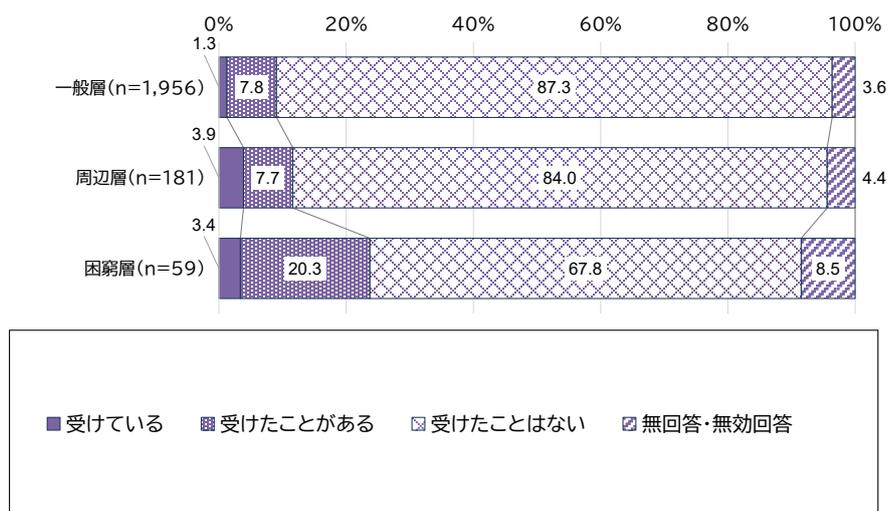
【5歳児保護者問 31J】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-181 「親・親族からの仕送り」の受取状況（単純集計）



図表 2-182 「親・親族からの仕送り」の受取状況（生活困難層別クロス集計）

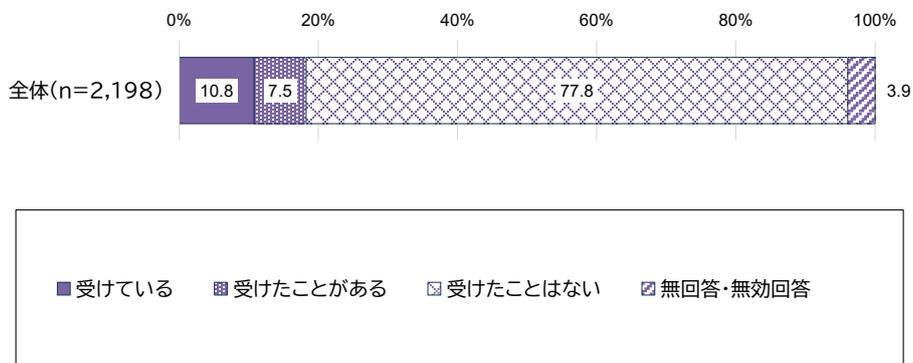


「その他、株式配当などの副収入」についてみると、「受けている」が 10.8%であった。

【5 歳児保護者問 31K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-183 「その他、株式配当などの副収入」の受取状況（単純集計）



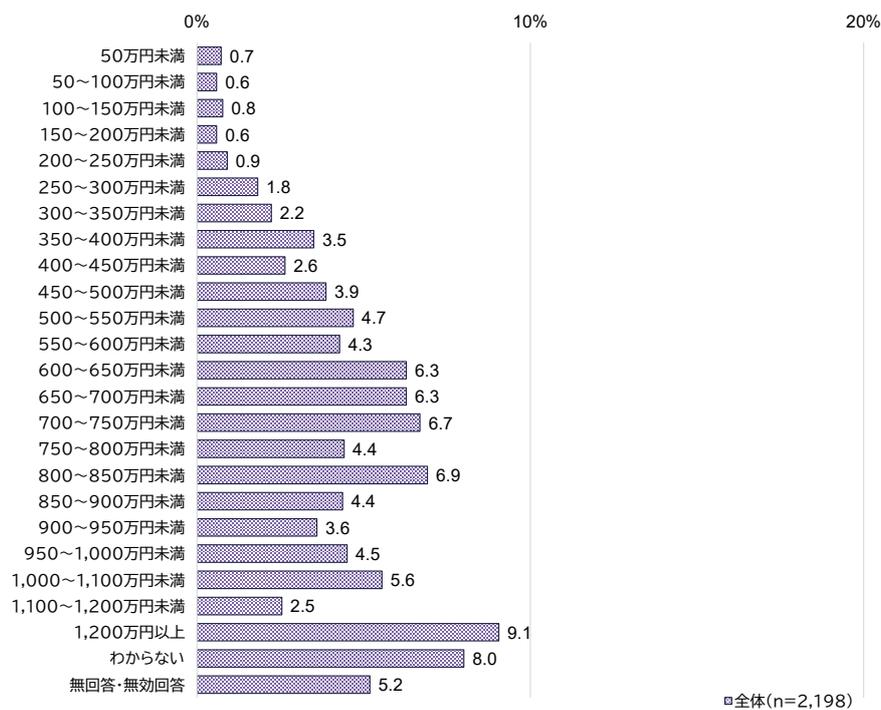
キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の世帯収入についてみると、「1,200万円以上」が9.1%と最も多く、「800～850万円未満」が6.9%、「700～750万円未満」が6.7%であった。

【5歳児保護者問32】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 2-184 前年(2022年)の世帯収入 (単純集計)



(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子ども母親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が46.7%と最も多く、以下、「高専、短大、専門学校等」が33.3%、「高等学校」が11.8%と続いていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「高専、短大、専門学校等」が31.9%と最も多く、次に、「高等学校」と「大学」がそれぞれ26.4%との回答であった。

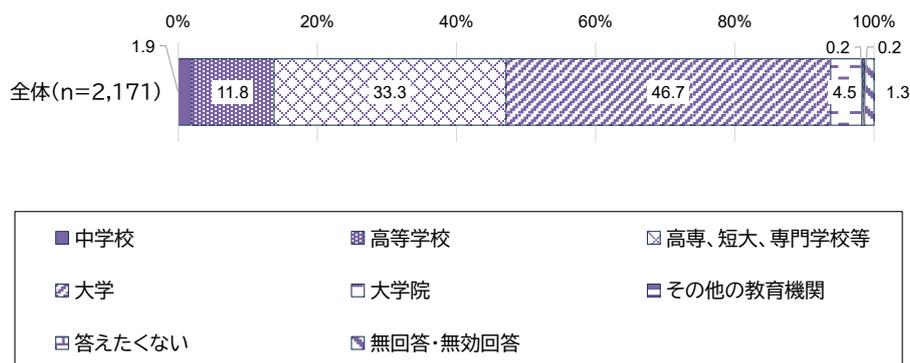
困窮層(n=57)では、「高専、短大、専門学校等」が42.1%と最も多く、次いで、「高等学校」が24.6%、「大学」が19.3%であった。

生活満足 低位(n=179)では、「高専、短大、専門学校等」が36.9%と最も多く、「大学」が31.8%、「高等学校」が18.4%であった。

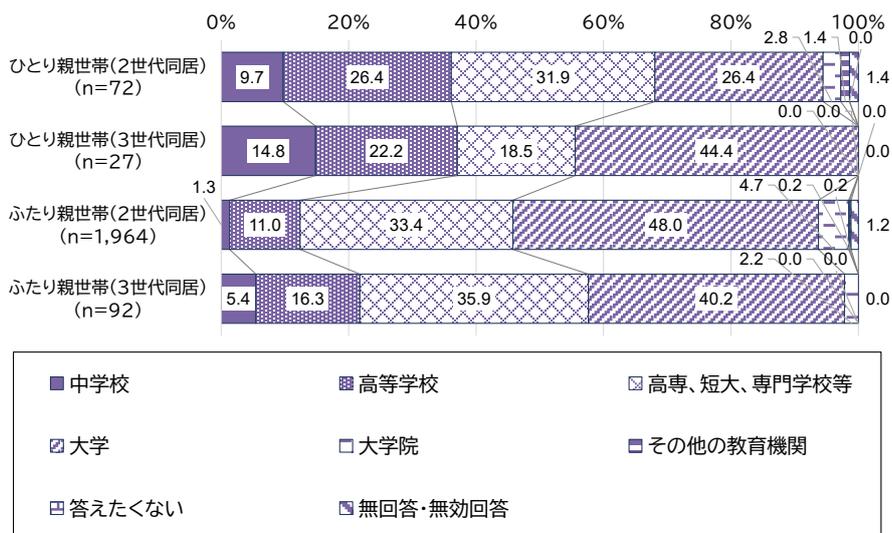
【5歳児保護者問33】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問36にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問34にお進みください。(単一回答)

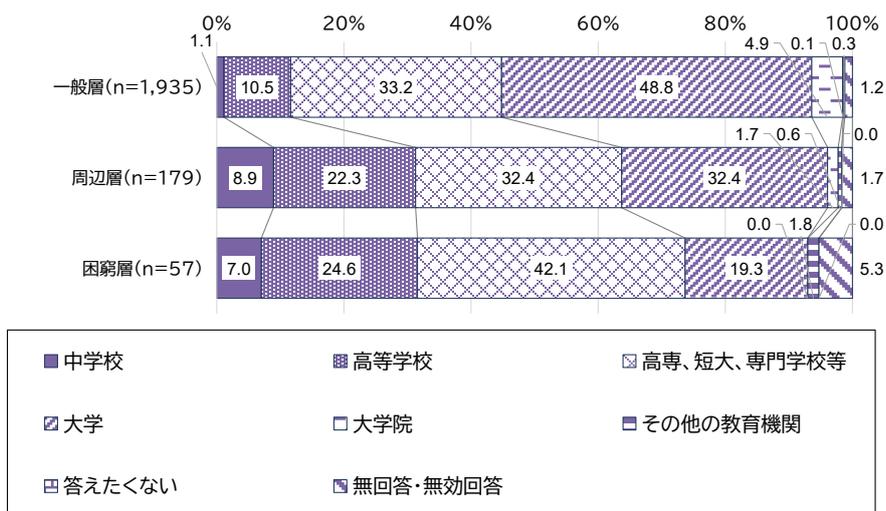
図表 2-185 母親の最後に通った学校 (単純集計)



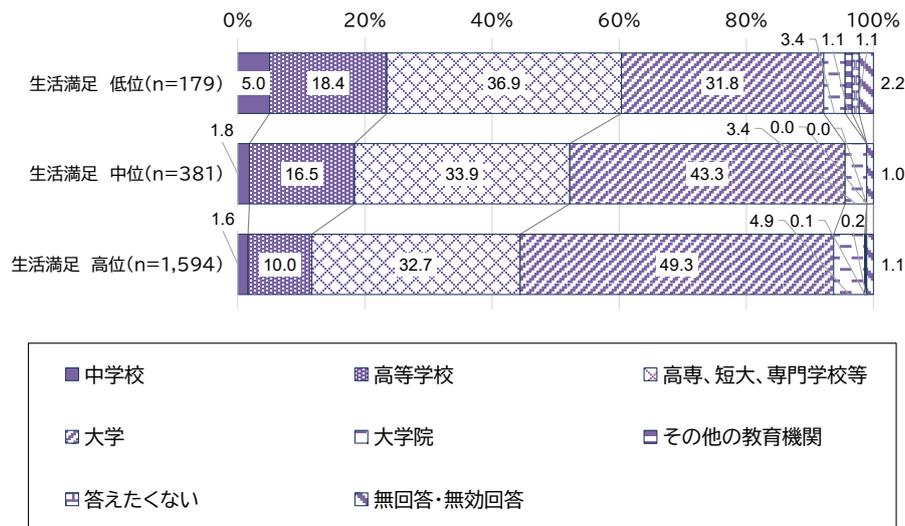
図表 2-186 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-187 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 2-188 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



イ 父親の最終学歴（最後に通った学校）

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子どものお父さんの最終学歴を尋ねた結果、「大学」が 49.9%と最も多く、以下、「大学院」が 15.9%、「高専、短大、専門学校等」が 15.5%と続いた。

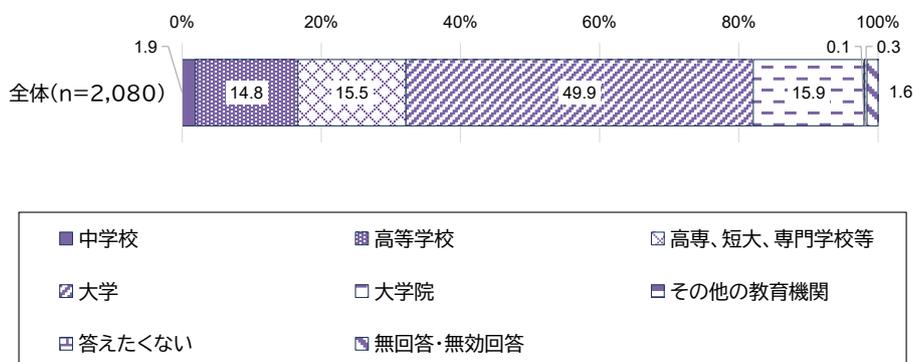
困窮層 (n=43) では、「高等学校」が 46.5%と最も多く、以下、「大学」が 23.3%、「高専、短大、専門学校等」が 18.6%と続いた。

生活満足 低位 (n=153) では、「大学」が 41.8%と最も多く、以下、「高等学校」が 24.8%、「高専、短大、専門学校等」が 19.6%となった。

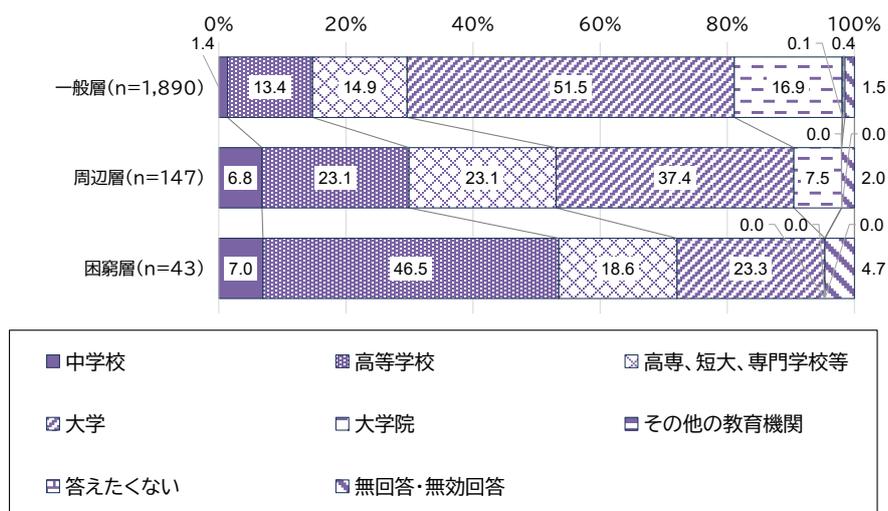
【5 歳児保護者問 34】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 36にお進みください) お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。 ※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 35にお進みください。(単一回答)

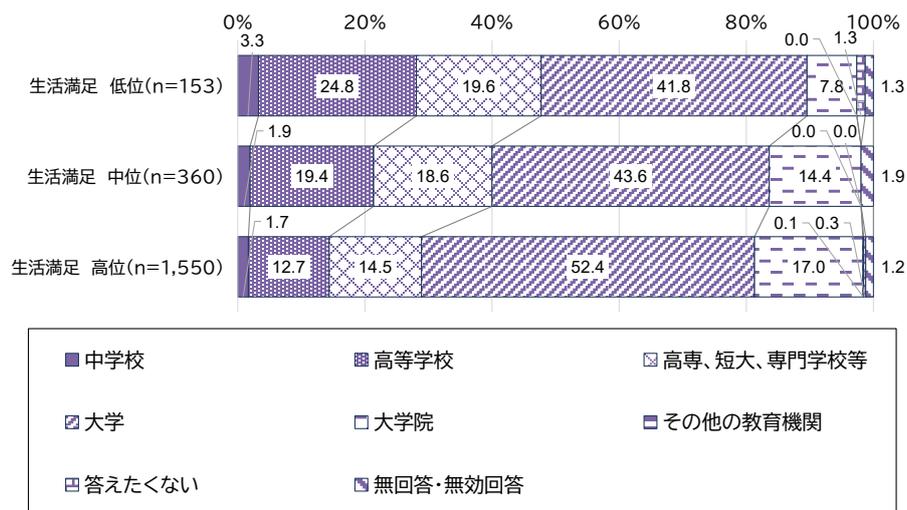
図表 2-189 父親の最後に通った学校（単純集計）



図表 2-190 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 2-191 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 66.2%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 15.6%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 12.9%であった。

前回調査と比較すると、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は、今回調査は 66.2%、前回調査は 73.1%で、6.9 ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 45.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 25.3%と最も多かった。

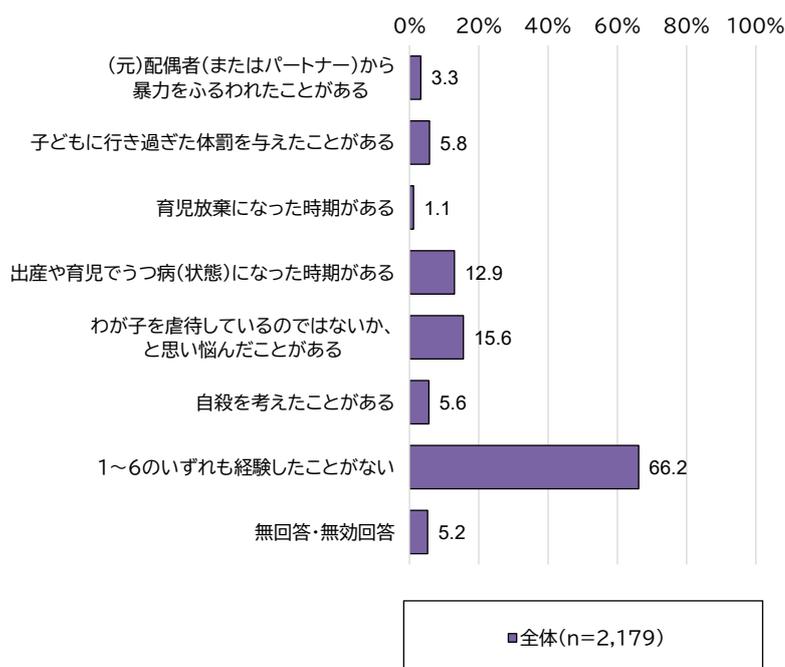
困窮層(n=58)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 37.9%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 34.5%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 25.9%であった。

生活満足 低位(n=180)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 38.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 30.0%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 26.1%であった。

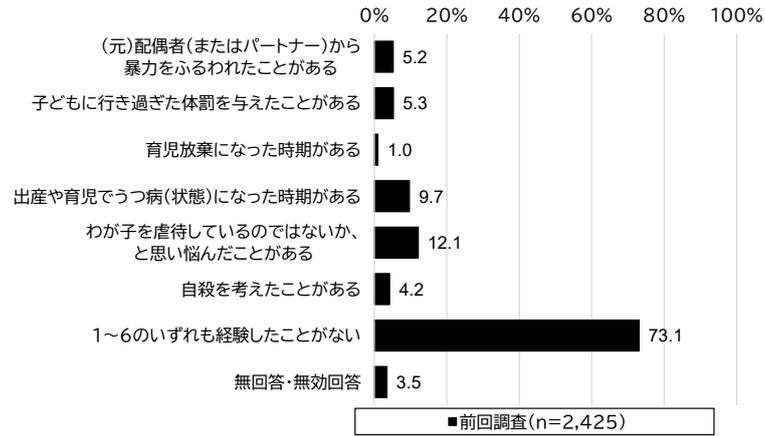
【5 歳児保護者問 35】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 36にお進みください)あなたはお子さんをもってから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

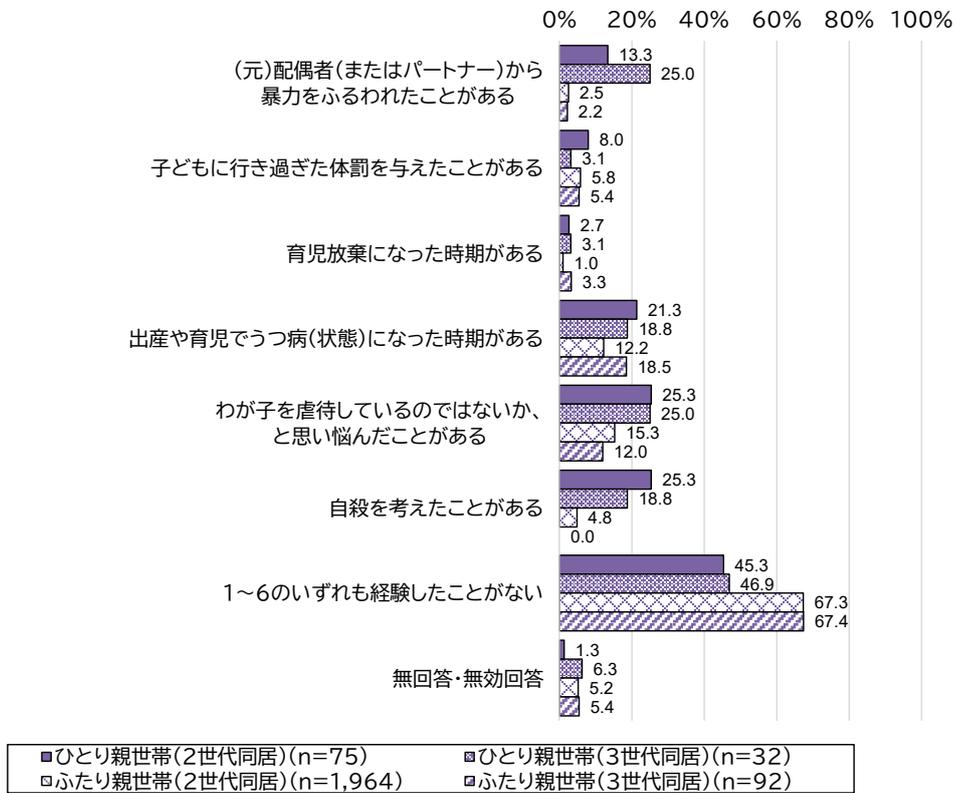
図表 2-192 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)



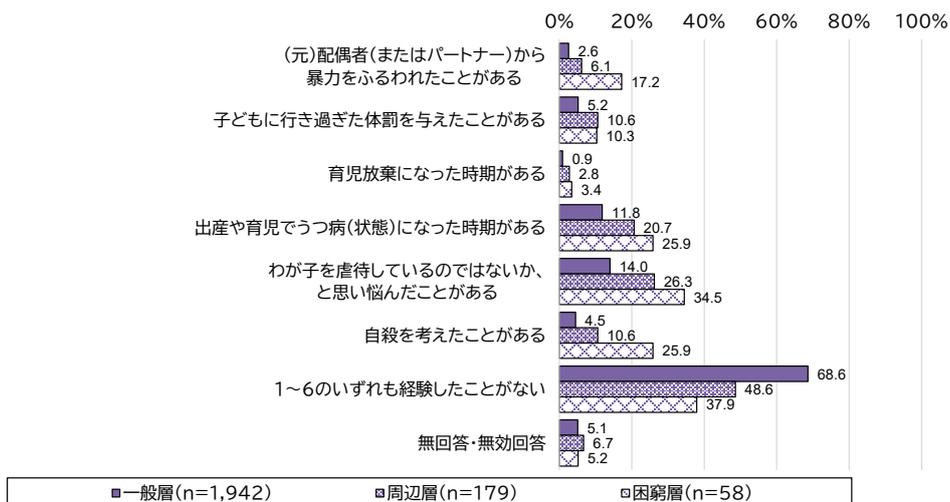
図表 2-193 子どもが生まれてからの経験（前回調査 単純集計）



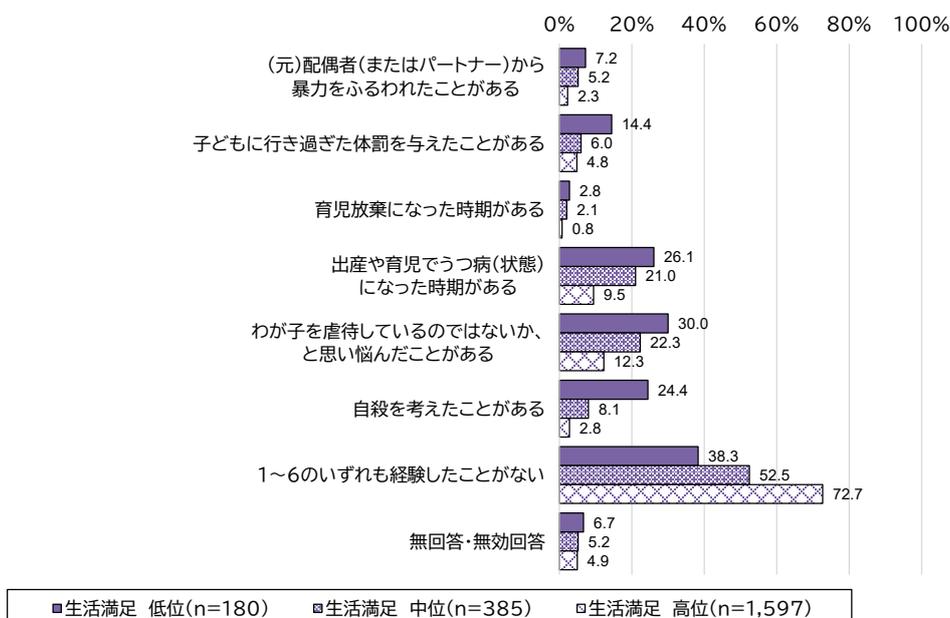
図表 2-194 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-195 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



図表 2-196 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



(7) 子育てへの支援についてうかがいます

ア 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

5歳児の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、957件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援」が最も多かった。また、「一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等の子どもの預け先に関する意見も多く挙げられた。

【5歳児保護者問 36】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 2-197 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	184	19.2%
2	一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)	176	18.4%
3	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	165	17.2%
4	子育てに関する相談・講座・仲間作り・子育て支援センター	146	15.3%
5	学童・放課後児童クラブに関する要望	139	14.5%
6	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	109	11.4%
7	保育所等の充実・改善(待機児童を含む)	74	7.7%
8	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	71	7.4%
9	長期休暇・休日の子どもの居場所	64	6.7%
10	医療・医療費助成・健診	62	6.5%
11	幼児期の教育・保育の無償化、保育料	57	6.0%
12	小1の壁、小学校への接続に関する悩み、支援	56	5.9%
13	子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)	51	5.3%
14	子育てに関する情報提供、広報、手続きの電子化・効率化	48	5.0%
15	給食・給食費、昼食サービス	47	4.9%
16	教育制度、学校のルール(学区・制服・指定用品、PTA など含む)	41	4.3%
16	学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放	41	4.3%
18	公園・スポーツ施設・遊び場	35	3.7%
19	防犯・交通安全・登下校の安全確保、不審者対策等	33	3.4%
20	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	28	2.9%
21	DV、虐待、家族の悩み、近隣の気になる家庭	27	2.8%
22	学校教育の充実(相談・SC、施設、設備含む)	22	2.3%
23	教職員に関すること(教員、人員配置、授業内容など含む)	18	1.9%
24	幼稚園の充実・改善	13	1.4%
25	いじめ・登校しぶり・不登校に関する悩み・支援	11	1.1%
その他			
-	その他の子育てに関する悩み	36	3.8%
-	その他、市の教育・子育て支援	29	3.0%
-	アンケート調査	20	2.1%
-	その他、特になし	15	1.6%
合計(意見を提出した人数 957件)		1818	—

子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

1位 保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援

- 小学校になってからの習い事の送迎。フルタイムで働きたいと思うが、遠方(歩いて行けない距離)での習い事の送迎ができなくなるので難しい。
- まだまだ母親が働きやすい環境とはいえないように思う。保育園へもなかなか入れずという声を聞く。下の子が小さいので、私は現在、まだ仕事はしていないが、例えば、3歳になった時点ですぐ入園できる幼稚園がもっと増えたらいいと思った。少しでも預け先の確保ができると、色々な面でお母さんたちも助かると思う。
- 日々、時間がなく(帰宅してから就寝まで)、子どもたちにお手伝いや自由に遊ぶ時間を作ってもらえないこと。自分に余裕がなく「待つ」ことができない。「早くして!!」が口癖になっていて、子どもたちの自己効力感を阻害してしまっているように感じる。
- 育児休暇など社会の制度は整備されつつあるが、育休をとると、職場の方々に迷惑がかかり、人員をすぐに補充してくれることもない。業務負担が増えるだけ。精神的に辛いことがある。当事者以外の周囲の方々にも配慮される環境整備があると、もっと気持ちよく仕事ができると思う。もちろん自分は他人が育休を取得する場合は協力したい。ただ、「子どもがいない」「仕事をしていなかった」人にとっては、わざわざ育休をとって仕事を続けるのかという考えなのだそう。
- どうしようもないことだが、フルタイムで働きながら子ども3人を育てていくのが忙しく、余ゆがない。アンケートに答えながら“ゆたか”というワードがあったが、経済的にはゆたかに値するのかもしれないが、それは寝る時間を削ったからであって、気もちの“ゆたかさ”には直結していない。でも育てていくために働く。本当はもっと余裕をもって学校行事や保育園行事、休日の習い事、遊びに全力で取り組みたいのになというジレンマを常に抱えている。
- 現在、うつ病により休職状態になっている。そのため生活がかなり厳しく、子どもに我慢させることが多く、罪悪感が出る。また、妻も体調不良になったりすると全部自分が家事育児をしないといけなくなり、体力も精神面も辛くなっている。仕事に復帰しても妻が体調不良になったら自分が全部やらないといけなくなるので、やっていけるか不安である。

2位 一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)

- 父・母の両親が共に高齢&遠方住まいのため何かあった時に子どもの預け先がない。たまに下の子(2歳)の一時預かりを利用することもあるが、予約がとりづらい&回数制限もあり、もっと気軽に、直前でも預けられるようなサービスを作ってほしい。
- 共働きで土曜日の預け先が、幼稚園に行かせているためにない。高齢な義父母に見てもらっている。
- 一時保育の、受け入れ条件が1人で食事できるなど、1歳児でできるわけないのに受け入れ条件が入っている事がなぜ?と思う。もう少し考えてほしい。

- 身内が近くにいないので一時預かりがもっと便利に使えるようになってほしかったと思う。小学校、幼稚園、未就園の3人兄妹なので下校の時間がかぶってしまったり、参観、面談、病院さえ行けなかったりする。小学校にも放課後一時預かりのようなサポートがあれば本当に助かる。
- 平日以外で子育てサポートの申し込みや面接ができるの良い。ファミサポや子育てサポートの申し込みをしたいが、平日のため、なかなか時間がとれず、ふみきれない。
- 子どもの体調が悪い時にあずけ先がない。
- 一時保育の利用が藤沢市は1歳からで、0歳の時には預かってもらえないことが不便に感じた。母親の急な受診などの時に預かってもらえる場が0歳の子から受け入れ可能だとありがたいと思う。

3位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 私は子どもが4人いるため年収は低くないが、子どもにかかるお金も多いため、年収などで給付金の基準を区切られてしまうともうすることができない。なので家族の人数を考慮した上で決定して頂けたらと思う。
- 両親、義両親が近くに住んでいたり、金銭的な事など子育て全般の周りの人たちとの格差がものすごく気になる。今これだけ差があるのなら、今後、私が働いてももう経験格差などを埋められることがないのだなと漠然と不安になることがよくある。共働き前提の子育て社会だと親が遠方に住んでいてサポートも受けられないし、仕事に家事に育児にと体力的にも無理だし、やる事が多すぎてパンクしそうだし、圧倒的に不利だなと感じる。
- 経済的な援助が増えてほしい。貯蓄を取り崩して生活しているので大変である。
- シングルマザーでまだ子どもが小学校入学前で、就労時間が短いため、金銭的余裕がない。
- 産後1ヵ月間、家事代行を低価格で依頼できるサービスの利用がしたい。体が回復するまで、心身、経済的負担がない形で、所得に関わらず子どもが欲しい家庭にはしっかり出産直後の支援は公的扶助で補っていただけると助かる。特に2人目、3人目と子どもを産みたい家庭が増えると思う。
- 引っ越しをできる余裕もなく、季節によって光熱費が高くて支払が追い付かず、貯蓄ができない。子どもが小さいと極端な節約も限られてできない。
- 児童手当の所得制限をなくして欲しい。

4位 子育てに関する相談・講座・仲間作り・子育て支援センター

- いわゆるママ友ができそうと感じても、どのように距離を縮められるのかわからない。コロナ禍で疎遠になった友人も多く、孤独とは言わないが寂しく思うことがある。子育てについて気軽に相談できる場所が欲しい。
- 第1子出産時には3回産後うつテストを受けるように指導があったが、第2子出産時には1回あったかなかったか程度であった。しかし第2子出産後の育児中に、上の子のかんしゃくもあり、下の子の後追いが苦しく追いつめられた。たまたま通っていた心療内科を受診することができた

が、保育園を通じてカウンセラーや心療内科とつながることができるようになったらいいなと思う。

- 託児つきの公民館等での講座がもっとたくさんあったら利用したい。今はとても少なく感じている。
- 新生児～生後4ヶ月ごろ、ハローベビー訪問があるが、その時、状況によって悩みがあるため、その時期だけではなく、3歳児4歳児、5歳児とか定期的な訪問があれば良いと感じた。どこに悩みを相談して良いのかわからない。就学しているところ(保育園、幼稚園)にも相談できないことがある。
- 幼稚園や保育園での個別相談会開催(子どもの発達状況を専門家の目線で見ると相談に乗る機会を作って欲しい)。
- 子育てをしていて、自分の感情のコントロール(怒り)が難しく感じる事がある。今後の子どもの成長(人格や性格)に影響が出るのではないかと不安である。周りのお母さん達は穏やかに子育てをしているように見えてしまうが、同じ悩みを持っている人同士が交流できるサポートがあるといいと思う。
- 行政の行う子育て関連の講座や事業は平日に実施が多く、参加できないことがあるため、土日等の休日の実施をご検討頂けると参加しやすいと思う。

5位 学童・放課後児童クラブに関する要望

- 日曜・祝日もやっている学童を作って欲しい。学童の時間をもう少し延長して欲しい。
- 小学校に入り、学童に入れなかもしれないと聞き、本当に入れなかった場合どうしようか迷っている。枠をもっと増やしてほしい
- 学童サービスが使いづらい。単発でも使えるようにしていただけたら、もっと使いやすくなり、働きやすくなると思う。
- 学童の費用が高すぎるので、考えて欲しい。長く(できれば高学年まで)利用したいが、月々の利用料が高すぎる。
- 学童保育(公的な)で、もうすこし塾のような、学習面のサポートがあると良い。
- 収入(納税)の額で公立学童に入れることはなさそうなのだが(数も少ないため)、民間学童は非常に高く、困っている。そのためのサポート、補助金がほしい。
- 共働きが多くなってきている状態。近年ではコロナもあって在宅勤務が主になったが、学童に通う事ができる年齢の上限が小学校低学年までである事に不満と不安を感じている。藤沢市の人口も保育園等も増えてきているため、学童も増やしてほしい。

6位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 15、10、5歳の子が3人いる。3人とも学習グレーである。私立高校助成金など補助金類はもらえないが、教育費3人分は余裕があるわけではなく心配である。

- 昨今の度重なる増税、物価高により、以前より日常での食費や光熱費など当たり前に支払う額が大きくなり、生活にゆとりが少なくなっているように感じる。子どもには沢山投資したいし、習いごとも多くさせてあげたいが、躊躇してしまう。子育て世帯にメリットがあるような税金の使い方をしてほしい。できれば大学まで教育費の無償化を実施してほしい。藤沢市が子育てがしやすい自治体として日本一の市になることを期待している。
- 子どもが3人いるため、教育費が不安。子どもたちが望めば大学まで行かせてあげたいが、塾代や学費が高すぎて叶えてあげられないのではないかと不安である。子どもにお金をかけすぎると自分たちの老後資金にも影響があるため、教育面と経済面等のサポートがほしい。
- 子どもの勉強(上の子)を見たいのですが、時間がない。
- 高校の義務教育 or 無償化
- どのような環境にある子どもも等しく高等教育が受けられる行政のサポートをお願いしたい。親が急に病気で働けなくなってしまった場合など、支援を必要としている家庭に寄り沿った行政であってほしい。
- 現在3人の子育てをしているが(0歳、5歳、7歳)、これから先中学・高校・大学と3人それぞれがやりたいこと、好きなことを叶えてあげられたらと思うが、十分な教育費を準備してあげられるのか自信はない。4人目も欲しい気持ちはあるが、躊躇してしまう。私立や大学の無償化などが実現され、藤沢・神奈川・日本に暮らす全ての子どもたちが平等に、広い選択肢の中で学びを受けられることを心から願う。金銭的不安理由で、2人目、3人目を悩んでいる友人も多い。

7位 保育所等の充実・改善(待機児童を含む)

- 母親が求職中で子どもを保育園に入れた際、2ヶ月以内に就職しないと退園させられてしまうということで、ずいぶん焦った。3、4ヶ月の猶予があると嬉しい。
- 保育園に入れない。兄弟・姉妹で同じ園に入れないと仕事ができない。朝の出勤に間に合わない。
- 自宅近くの保育園に入りやすくしてほしい。
- 子どもは、親の前と他人の前では態度が違う事もあるので、保育園でのおむかえ時など「今日も元気でした！」と報告は受けるが、もっと詳しく伝えてくれると親の知らない部分を知る事ができるので助かる。子どもから「今日はこんな事があった」と本人から伝えてくれる事もあるが、言いにくい部分もあったりするので、大人からみて伝えてくれると親としては安心する。
- 保育園を利用していますが、急な早出勤や残業等で、申請時間外(特に朝)を利用すると、保育園に詰問される。もう少し保育サポートの面から受け入れていただきたい。子どもが早起きできたので少し早めに登園しても、先生が子どもに「早起きしたからって早く来ていいってもんじゃないんだよ」と言っているのを聞いて、耳を疑った。保育士不足で、受け入れていただいているだけ感謝しなければいけないのかもしれないが、とても保育士さん達に保育について相談できる環境ではない。

8位 障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育

- 藤沢市には全ての小学校に支援級がない事に困っている。発達グレーな子どもは増えているように感じるが、支えてくれる人も場所も足りていないと思う。
- 発達相談をうたいながら、時間を見つけて相談に行っても既定のボーダーラインが決まっており、一人一人の困りごとに寄り沿うことはしないことが非常に不満。もっと一人一人に寄り沿ってみてはどうか。
- 発達障害のために、しつけがなっていない、親の甘やかしとよく言われたり、理解してもらえなくて悩む事がある。「障害者理解」という学びが学校、地域、会社などでもっと広がるといいなあと思った。
- 今は放課後デイがずいぶん増えたが、信頼して預けたいと思える事業者はごく一部である。子どもの将来がとても心配である。安心して子どもが暮らせるような、お願いできるような事業者が増えることを願う。
- 子どもは言語聴覚士(ST)さんの指導を週1程度の頻度で必要としているが、そのような指導が受けられる市の施設が藤沢市にはない(受けられても月1程度と言われた)。高額な指導料(約8000円/回)を払って民間の施設に通うか、幼稚園を休ませて遠方の医療機関に通うしか手がなく、また ST 指導を受けられる施設の情報もなかなかないため、先が見えずに不安ばかりであった。横浜市には手厚くサポートしてくれる施設(例:横浜市総合リハビリテーションセンター)があるそうで引っ越しも考えたが、家庭の都合もあるためそれはできなかった。周りでも ST さんを必要としている方が数人いる。同じように困っている人もたくさんいると思う。なので、藤沢市でもそのような施設、または情報提供等のサポートの拡充を切に願う。
- 現在悩んでいることはないが、上の子(発達障害)を育てている時は悩みが多く、どのような支援があるのかもわからず、とても不安だった。行政の方から、「このような支援がある」等具体的な話がなく、全体的に自分で調べることが多く、ただでさえ発達障害児の育児で手いっぱいだったので、もう少しどういった支援があるのか、その支援を受けるにはどこへ行ったら良いか等「話を聞く」や「このようにしたらどうか?」という支援だけではなく、より具体的な話がきけたら良かったなと思う。
- 発達障がい、5歳児、知的なし、ASD の男の子を育てている。藤沢市の支援級は知的ありがベースになっていて、息子のような情緒相当の子どもの適切な支援を受けられる場所がない。インクルーシブとは名ばかりで、普通級へ行っても特別な支援があるわけでもなく驚いている。そんな子どもや(グレーな子もしい)親が安心して子育てをできる市になれば良いなと日ごろから思っている。

9位 長期休暇・休日の子どもの居場所

- 子ども長期休みの際に、預けられるところがあると良い。普段、学童に入っていないけれど、長期休みは親がいない時間が長くなるので心配。

- 長期間の休みの時だけ、子どもを預かってくれる場所が欲しい。学童は日頃から入っていないと枠が足りたりずに入れないと聞いている。
- 子どもの長期休みの間、親の方が心身ともに疲れ果ててしまう。子どもを預けられる場所・人があると助かる。
- 小学校高学年の子どもが受けられるサマースクールの受け皿がもっと増えるといいなと思う。
- 学童保育終了後(高学年)の居場所があるとよい
- 夏休みなど高額でなく預けられる学童保育などができたら働きやすいと思う。

10位 医療・医療費助成・健診

- 家族全員がもう1人欲しいと願ってくれているので妊活をしているが、保険適用になったとはいえ体外受精の金額や出費が多いため、妊活に対しての制度をもっと見なおし、対応して欲しい。少子化をストップすべく、妊活を頑張っている人たちにもっと市や県や国がサポート&応援すべきだと思う。
- 小児医療費助成制度の補助について(めがね、コルセットなど)。一度全額支払い、申請した後、数ヶ月後に口座に振り込まれるが、一度購入時に全額支払う事がとても難しい世帯もあるかと思う。購入時に相殺され支払う額を少しでも最小限にできないのだろうか。市が7割負担するのであれば3割だけの支払いで済むようにしてほしい。
- 予防接種の予診票を各家庭に送った方が良いと思う。その年に受ける注射の種類が分かるし、(嫌がる)子どもを連れて医療機関に行き、副反応の注意事項を読み、予診票をその場で書くのは大変！！子どもが複数人いる人は尚更だと思う。転勤で他の地域に住んだ事があるが、予診票が送られて来ない事は、初めてである。
- 予防接種の無償化(特にインフルエンザ)。
- 小児科の増設(急な発熱時等に診察予約がとれない)。コロナの影響もあり、どこも予約診療であるし、新規は断わられる場合もある。

